Panasonic

取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-EH66

大事なお知らせ 4ページ～12ページ
ご使用になる前に必ずお読みください。

詳しいもくじは、2～3ページをご覧ください。

2つの番組を同時に録れる
どっちも録り
32ページ

画面から番組を選んでカンタン予約
番組表(Gガイド)から録画!
37ページ

野球中継延長などで録画予約番組の放送時刻がずれても対応!
「野球延長対応機能」、「番組追従機能」
41ページ

録りためた映像を
ディスクに残そう!
58ページ

ダビング使い分け
●かんたん操作で「おまかせダビング」 60ページ
●1つの番組だけなら「ワンタッチダビング」 61ページ
●いろいろな番組をまとめて「ダビングリスト」 62ページ
●ビデオテープからダビング 66ページ
●ビデオカメラからダビング 66ページ

海外ドラマなどの二重放送を録画したいときは
「二重放送の録画とダビングについて」
12ページ

DVD-Rなどを他の機器で再生できるようにする
「他のDVD機器再生(ファイナライズ)」
72ページ

保証書別添付

上手に使って上手に節電

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。インターネットでの登録が可能です。詳しくは、同梱の「ご愛用者カード」をご覧ください。

このたびはパナソニック DVD レコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」(➜90～91)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD 関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/
詳しい使い方説明は、「ディーガ使い方ナビゲーション」をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/

RQT8220-S

もくじ

ご確認と接続・設定

大事なお知らせ

さあ

使ってみよう

録る

困ったとき

必要なとき

準備

見る/聞く

編集

残す

便利機能

HDD と本機で使えるディスク・カード

お使いになる前に

テレビ番組の録画には制約があります。

本機は下図のようにテレビ番組を録画できるディスクとできないディスクがあります。直接録画できないディスクは一度HDD に録画してからダビングして記録してください。

録画

HDD DVD-RAM

テレビ番組を直接録画できます

直接録画できません

DVD-R　DVD-R DL
DVD-RW　+R

一度 HDD に録画してから
ダビングして記録して
ください

記録方式は２種類あります。

本機は、使用ディスクにより、VR 方式と DVD-Video 方式のどちらかの記録方式で記録します。それぞれには以下のような特徴があります。
用途に合わせて使い分けてください。

VR（ビデオレコーディング）方式

テレビ放送などを記録、編集するために作られた記録方式です。

対応ディスク

HDD　DVD-RAM　DVD-R※

- デジタル放送の「１回だけ録画可能」な番組を記録できます。
  本機では HDD または CPRM 対応の DVD-RAM、DVD-R に記録できます。
- DVD プレーヤーなどでの再生はそれぞれのディスクの VR 方式に対応した機器でのみ可能です。
  さらに本機で DVD-R に記録した番組はファイナライズ(➜ **下記**)が必要な場合があります。(ファイナライズしても再生できない場合もあります。)
- 編集することができます。[DVD-R(VR 方式)の場合は、ファイナライズ前のディスクのみ]

※DVD-R の VR 方式について

VR 方式で記録するには、記録前にフォーマット(➜ **下記**)が必要です。フォーマットしないで記録すると、DVD-Video 方式で記録されます。(１度フォーマットすると DVD-Video 方式で記録できません。)

DVD-Video（DVD ビデオ）方式

市販されている DVD ビデオと同じ記録方式です。

対応ディスク

DVD-R　DVD-R DL
DVD-RW

- デジタル放送の「１回だけ録画可能」な番組は記録できません。
- ファイナライズ(➜ **下記**)をしたあと、DVD プレーヤーなどで再生できます。
- ファイナライズ(➜ **下記**)する前に編集することができます。

ファイナライズとは

記録したディスクを他の DVD 機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。**(操作方法は ➜72)**

フォーマットとは

記録前のディスクを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。**(操作方法は ➜71)**

記録、再生ができるディスク

ディスクの種類		内蔵 HDD	DVD-RAM	DVD-R (VR 方式)	DVD-R (DVD-Video 方式)	DVD-R DL (片面 2 層)※1	DVD-RW (DVD-Video 方式)	+R
本書での表示		HDD	RAM	-R(VR)	ファイナライズ前 -R(V) ファイナライズ後 DVD-V	ファイナライズ前 -R DL ファイナライズ後 DVD-V	ファイナライズ前 -RW(V) ファイナライズ後 DVD-V	ファイナライズ前 +R ファイナライズ後 DVD-V
ロゴ		—	DVD RAM RAM4.7	DVD R R4.7		—	DVD RW	—
特徴	最大記録時間	355 時間	約 8 時間 (4.7GB ディスク) (両面ディスクで約 16 時間※2)	約 8 時間 (4.7GB ディスク)	約 8 時間 (4.7GB ディスク)	約 14 時間 20 分	約 8 時間	約 8 時間
	記録できるもの	ビデオ、写真 (デジタルカメラなどの写真)	ビデオ、写真 (デジタルカメラなどの写真)	ビデオ	ビデオ	ビデオ	ビデオ	ビデオ
	繰り返し記録	○	○	×	×	×	○	×
本機でできること	番組を直接録画	○	○	×	×	×	×	×
	追っかけ再生	○	○	×	×	×	×	×
	1 回だけ録画可能のデジタル放送を記録	○	○ [CPRM 対応ディスク(➜92)のみ]	○ [CPRM 対応ディスク(➜92)のみ]	×	×	×	×
	二重放送の主 / 副音声を両方記録	○※3	○※3	○	×※4	×※4	×※4	×※4
	16:9 映像をそのまま記録 (16 / 9)	○※3	○※3	○	× (4:3 映像で記録)	× (4:3 映像で記録)	× (4:3 映像で記録)	× (4:3 映像で記録)
	番組名入力	○	○	○※5	○※5	○※5	○※5	○※5
	番組消去	○	○	○※5 (残量は増えません)	○※5 (残量は増えません)	○※5 (残量は増えません)	○※5 (最後に録画した番組を消去したときのみ残量が増えます)	○※5 (残量は増えません)
	プレイリストの作成・編集	○	○	○※5	×	×	×	×
互換性	他の DVD 機器で再生	—	DVD-RAM 対応機器でのみ可能※6 (ファイナライズは不要です。)	DVD-R(VR 方式) 対応機器でのみ可能※6 (ファイナライズが必要な場合があります。)	ファイナライズ後に可能	ファイナライズ後に DVD-R DL 対応機器でのみ可能※6	ファイナライズ後に可能	ファイナライズ後に可能

●DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R は、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。
ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

※ 1 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。(➜44)
※ 2 両面への連続録画、再生はできません。
※ 3 **初期設定**「高速ダビング用録画」が「切」の場合のみ(➜75)
※ 4 ダビング前に**初期設定**「二重放送音声記録」で音声を選択(➜76)
※ 5 ファイナライズ前のみ可能です。
※ 6 DVD-RAM: 当社製の DVD レコーダーや DVD-RAM 対応の DVD プレーヤーでは再生できます。(2005 年 9 月現在)
DVD-R(VR 方式):2005 年 7 月以降に発売された当社製 DVD レコーダーで再生できます。(2005 年 9 月現在)
DVD-R DL:DVD-R DL は 2005 年 2 月に DVD フォーラムで定められた新規格です。このディスクを使用するときは、DVD-R DL に対応した機器を使用してください。

HDD と本機で使えるディスク・カード(つづき)

再生のみできるディスク

ディスクの種類	DVD ビデオ	DVD オーディオ	DVD-RW (VR 方式)
本書での表示	DVD-V	DVD-A	-RW(VR)
ロゴ			
特徴	映画や音楽など、高画質の市販ソフト。 ●本機では下記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 「2」または「ALL」を含むもの 例) 2 ALL 1 2 4 • 番号は国により違います。	高音質の音楽用市販ソフト ●本機では2チャンネルで再生されます。ただし、マルチチャンネルDVDオーディオには、制作者の意図によりダウンミックス(➜92)が禁止されているものがあります。	他の DVD レコーダーの VR 方式で録画された DVD-RW ●CPRM対応ディスクに録画された「1 回だけ録画可能」な番組の再生もできます。 ●フォーマット(➜71)すると、本機では DVD-Video 方式で録画できます。 ●本機以外で録画されたディスクの中には、録画した機器でファイナライズ(➜92)を行わないと再生できないものがあります。

ディスクの種類	+RW	CD	ビデオ CD
本書での表示	DVD-V	CD	VCD
ロゴ	—		
特徴	他の DVD レコーダーで録画された +RW ●録画した機器でファイナライズ(➜92)を行わないと再生できないものがあります。	●音楽や音声が記録された市販ソフト(CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む※) ●MP3圧縮形式(➜7)で音楽が記録されたCD-RやCD-RW※ ●写真(JPEGやTIFF)が記録されたCD-RやCD-RW※	音楽や映像が記録された市販ソフト(ビデオ CD 形式で記録したCD-RやCD-RWを含む※)

※記録状態によって再生できない場合があります。
●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

本機で使えないディスク

●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜92)されていないDVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R
●PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオの音声は再生できます)
●リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
●ブルーレイディスク
●DVD-ROM ●+R DL ●+R(8cm) ●CD-ROM
● CDV ●CD-G ●Photo-CD ●CVD
●SVCD ●SACD ●MV-Disc ●PD など

本機で使えるカード

カードの種類	SD メモリーカード miniSD™ カード※ マルチメディアカード
本書での表示	SD
特徴	●デジタルカメラなどで撮った写真の再生(➜48)やダビング(➜68)ができます。 ●写真のプリント枚数の設定(DPOF設定)ができます。(➜57) ●SD マルチカメラなどで撮影したMPEG2 動画を HDD や DVD-RAM、DVD-R(VR 方式) にダビングできます。[ダビング先では通常の番組(ビデオ)になります。](➜62) ●MPEG2動画をSDカードから直接再生することはできません。

※ miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ アダプターに装着してご使用ください。

使用可能な SD メモリーカードについて

本機では以下の容量(8MB ～ 2GB まで)の SD メモリーカードが使用できます。

8MB、	16MB、	32MB、	64MB、128MB、
256MB、	512MB、	1GB、	2GB まで

●使用可能領域は表示容量より少なくなります。
●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/dvd/
●SD メモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜71)
●本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカードに対応しています。

本機で再生できる MP3 や写真(JPEG/TIFF)について

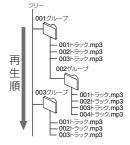
CD

CDに記録されているMP3や写真(JPEG/TIFF)について

●使用できるフォーマット:ISO9660 level1 とlevel2(拡張フォーマットは除く)、Joliet
●フォルダ数(グループ数):ディスク上にルートを含む最大99フォルダ(グループ)まで表示されます。
●ファイル数(トラック数):ディスク上の最大999個のファイル(トラック)が再生できます。
●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
●ファイル数(トラック数)やフォルダ数(グループ数)が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS第一水準、JIS第二水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
●本機画面とパソコン画面では表示順が異なることがあります。
●ディスクの作り方(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。
●パケットライト方式には対応してません。
●記録状態によっては再生できないものがあります。

MP3 について

●ファイル形式:MP3
※ファイル名の拡張子に「mp3」、「MP3」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●ビットレート:32kbps～320kbpsまで
●サンプリング周波数:
16kHz/22.05kHz/24kHz/32kHz/44.1kHz/48kHz
●ID3タグには対応していません。
●再生したい順番を指定する場合は、下図のように桁数を揃えた数字を付けたフォルダ構成にしてください。

MP3のフォルダ構成

写真(JPEG/TIFF)について

●ファイル形式:JPEG、TIFF[非圧縮RGB(点順次)方式]
※ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●画素数:34 × 34 ～ 6144 × 4096
(サブサンプリングは、4 : 2 : 2 または 4 : 2 : 0)
●TIFF形式の写真を表示する場合、動作に時間がかかることがあります。
●MOTION JPEGには対応していません。

HDD RAM SD

HDD、DVD-RAM、SD カードに記録されている写真(JPEG/TIFF) について

●使用できるフォーマット:DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)
DCF:Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格]
●ファイル形式:JPEG、TIFF[非圧縮RGB(点順次)方式]
※ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
●画素数:34×34～6144×4096
(サブサンプリングは、4:2:2 または 4:2:0)
●最大300フォルダ(上位フォルダ含む)と最大3000ファイルに対応しています。
●TIFF形式の写真を表示する場合、動作に時間がかかることがあります。
●MOTION JPEG には対応していません。

DVD-RAM、CD、SD カードに記録されている写真(JPEG、TIFF)のフォルダ構成については(➜92)

大事なお知らせ

HDD の取り扱い

HDD は記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。大切な映像の保存のためにも、DVD ディスクへのダビングを前提の上でお使いください。

HDD は振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です
設置環境や取扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などが起こると、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDD は一時的な保管場所です
HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。あくまでも一度見るまで、または編集や DVD ディスクにダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…
HDD 内に不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD 全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかに DVD ディスクにダビングし、修理をご依頼ください。HDD が故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

表示窓に「HDD SLP」が表示されたときは (SLP: スリープ)
HDD が自動的に休止状態になっています。(通電中、HDD は高速で回転しています。HDD の寿命を延ばすため、ディスクトレイにディスクを入れていない状態で約 30 分以上操作しないと HDD の回転を止め、休止します。) HDD を休止状態にするために、お使いにならないときはディスクを取り出しておくことをおすすめします。
●起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。**(「クイックスタート」(➜22)が「入」になっていても同様です。)**

本機から HDD の動作音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません
HDD の品質を維持させるため、本機では、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
●HDDが休止状態になるとき[本体表示窓に「HDD SLP」が表示(**➜上記**)]
●電源切/入時
●番組表(Gガイド)データを受信中
●昼の12時ごろに時刻の誤差を自動修正中
●予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を自動的に再起動しているとき

重要なお願い

設置時
●後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない
●水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する
●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない

●温度変化が起こりやすい場所に設置しない
●「つゆつき」が発生しにくい場所に設置する
つゆつきとは…温度差が激しいため、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象。

「つゆつき」が発生しやすい状況
●急激な温度変化が起きたとき(暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど)
●部屋の湿度が高いとき(湯気が立ち込めるなど)
●梅雨の時期

上記の場合は、部屋の温度になじむまで、**電源を切ったままにしておいてください。**(約 2 ～ 3 時間)

たばこの煙など
たばこの煙、くん煙殺虫剤(煙をたくタイプの殺虫剤)などが機器内部に入ると故障の原因になります。

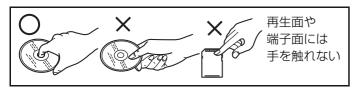
動作中
●振動や衝撃を与えない(HDDが破損することがあります。)
●電源プラグを抜いたり、設置した場所の電源ブレーカーを切ったりしない
通電中、HDD は高速回転しています。回転による音や振動は故障ではありません。

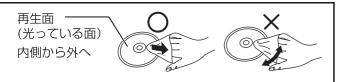
移動させるとき
① 電源を切る(表示窓から「BYE」が消える)
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ 完全に回転が止まってから(2 分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています。)

録画内容の補償に関する免責事項について
何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合(HDD 以外の修理を行った場合も)においても同様です。あらかじめご了承ください。

ディスク・カードの取り扱い

使用上のお願い

持ちかた

汚れたときや、つゆがついたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

カートリッジ付き DVD-RAM の取り扱いについて

ディスクを損傷から保護し、性能を維持するため、シャッターを無理に開けないでください

取扱上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ●ディスクにシールやラベルを貼らない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。)
- ●ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う
  ボールペンなど先のとがった硬いものは使わない
- ●レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- ●傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- ●カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない
- ●ディスクを落としたり、重ねたり、物をのせたり、衝撃を与えたりしない
- ●以下のディスクを使わない
  - －シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルディスクなどのディスク
  - －そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  - －ハート型など、特殊な形のディスク

- ●次のような場所に置かない
  - －直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  - －湿気やほこりの多いところ
  - －温度差の激しいところ(結露が発生します)
  - －静電気や電磁波が発生するところ
- ●使用後はケースまたはカートリッジに収める

お手入れ

録画 / 再生用レンズが汚れたとき

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や回数にもよりますが、約1年に一度、
レンズクリーナー(➔21)でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。

- ●クリーニング中に音がすることがありますが故障ではありません。

本体が汚いとき

柔らかい布でふいてください。

- ●アルコールやシンナーは使わないでください。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

デジタル放送のお知らせ

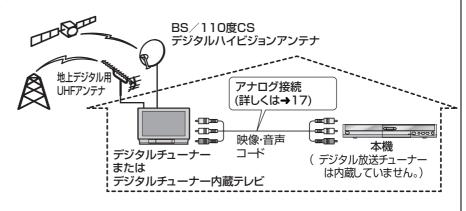
2003 年 12 月から地上デジタル放送が始まっています。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本機でデジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、本機を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。
ただし、デジタルハイビジョン画質ではありません。
番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

●上記内容はJEITA（社団法人電子情報技術産業協会）の規定に基づくものです。

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1 回だけ録画可能」※1 のコピー制御信号が加えられています。
※ 1「デジタル 1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。 （2004 年 4 月から）

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/
社団法人　BS デジタル放送推進協会　http://www.bpa.or.jp/

デジタル放送と記録ディスクについて

「1 回だけ録画可能」な番組は、CPRM※2という著作権保護技術に対応した録画機器とディスクでのみ記録できます。
予約録画時は、挿入されているディスクにご注意ください。

内蔵 HDD	DVD-RAM、DVD-R (VR 方式)※3 (CPRM※2対応)	DVD-RAM、DVD-R (VR 方式) (CPRM※2非対応)	DVD-R (DVD-Video 方式)、DVD-R DL 、DVD-RW、+R

●8cm の DVD-RAM には記録できません。

●CPRM※2対応のディスクであっても、記録できません。

※2　一回だけ録画が許可された番組を記録することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。
※3　本機では、CPRM 対応の DVD-R (VR 方式) に直接録画することはできません。
DVD-R (VR 方式) に番組を保存したいときは、まず HDD に録画してから、DVD-R (VR 方式) にダビング (移動) してください。

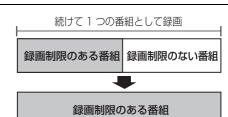
デジタル放送のダビングについて

録画したディスクから他のディスクへのダビング（複製※4）はできません。

●録画した番組は、HDD から CPRM※2対応の DVD-RAM、DVD-R (VR 方式) へ移動※4 のみできます。
●DVD-R(VR 方式) にダビング（移動）する場合は、当社製の DVD-R (CPRM 対応) のご使用をおすすめします。
●ビデオテープへダビングする場合でも、コピーガードにより正常に複製できない場合があります。

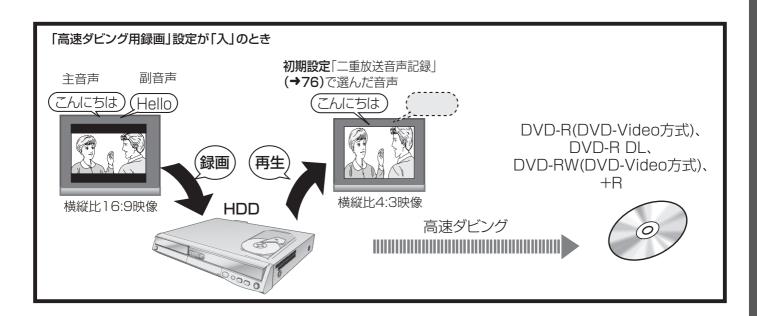
※4　複製と移動の違いについて

お知らせ

●右図のように録画された番組は、録画制限のない番組でも録画制限のある番組として扱われます。番組分割などの編集を行っても、録画制限情報は残ります。
●本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合
－DVD-RAM：CPRM対応機器でのみ再生可能［当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応の DVD プレーヤーでは、再生できます。（2005 年 9 月現在）］
－DVD-R（VR方式）：VR方式で記録したDVD-Rを再生できるCPRM対応機器でのみ再生可能（2005 年 7 月以降に発売された当社製 DVD レコーダーでは再生できます。）

「高速ダビング用録画」について

高速ダビング用録画とは

HDDに**初期設定**「高速ダビング用録画」(**➜75**)を「入」にして録画すると、録画後、番組をHDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへ高速でダビングすることができます。設定の「入」、「切」によって以下のような違いがありますので、目的に合わせた設定を行ってください。

	「高速ダビング用録画」の設定 **「入」の場合** お買い上げ時は「入」に設定されています。		「高速ダビング用録画」の設定 **「切」の場合**	
短時間でダビング したい	○	高速ダビングができます。(例: LPモードで録画した1時間番組を8×高速記録対応のDVD-R(DVD-Video方式)に、約1.9分でダビングできます。)	×	録画した番組の時間分のダビング時間またはそれ以上の時間がかかります。(例: どのモードで録画した1時間番組もDVD–R(DVD-Videoo方式)にダビングするのに1時間かかります。)
画質を変えずにダビングしたい	○	画質を変えずにダビングできます。	×	録画モードを選択してダビングします。
放送受信中の二重放送音声(主音声、副音声、主/副音声)の切り換えがしたい	×	音声の切り換えができません。**初期設定**「二重放送音声記録」(**➜76**)で選んだ音声が聞こえます。	○	**[音声]**ボタンで切り換えができます。
二重放送音声を両方記録したい	×	二重放送音声を両方記録できません。**初期設定**「二重放送音声記録」(**➜76**)で選んだ音声のみ記録します。	○	主音声、副音声を両方記録します。
ワイド放送などの画面サイズが16:9映像の番組をそのまま録画したい	×	4：3映像で録画されます。テレビ側の画面モードを変更して画面サイズを調整できる場合があります。	○	16：9映像のまま録画できます。

お知らせ

- HDDとDVD-RAM、DVD-R(VR方式)間のダビングは、「高速ダビング用録画」設定の「入」「切」にかかわらず高速で ダビングできます。

大事なお知らせ

二重放送の録画とダビングについて

海外ドラマやスポーツ中継などの主音声と副音声を含む放送を「二重放送」と言います。
二重放送を録画、ダビングするときは設定やディスクにより記録される音声が異なります。以下の表を参考にして正しく記録してください。

■録画

対象	初期設定	記録	録画方法	設定
HDD DVD-RAM	＋ 初期設定「高速ダビング用録画」(➜75) **入** (お買い上げ時)	主音声か副音声どちらか一方のみ記録	本機チューナーで受信した番組を録画	➜ 録画前に**初期設定**「二重放送音声記録」で選択(➜76)
			ビデオや各種チューナーなど外部入力に接続した機器から録画(➜43)	➜ 録画前に接続した機器側で記録したい音声を出力するように設定

対象	初期設定	記録	録画方法	設定
HDD DVD-RAM	＋ 初期設定「高速ダビング用録画」(➜75) **切**	主音声･副音声を両方記録	本機チューナーで受信した番組を録画	(録画後、再生時に[**音声**]ボタンで音声の切り換えができます)
			ビデオや各種チューナーなど外部入力に接続した機器から録画(➜43)	➜録画前に接続した機器側で「主/副」両音声を出力するように設定(録画後、再生時に[**音声**]ボタンで音声の切り換えができます) ● HDDに録画後、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングする予定のときは、HDD録画前に、接続した機器側で「主」または「副」音声のどちらかを出力するように設定してください。「主/副」両音声を出力するように設定すると、ダビング後再生したとき、主、副両音声が同時に聞こえます。

HDDからDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへのダビング

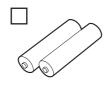
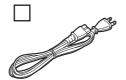
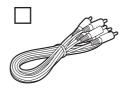
(お知らせ)

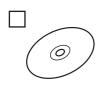
HDDとDVD-RAM、DVD-R(VR方式)間のダビングは、主音声、副音声を両方記録した番組を両音声とも記録でき、再生時に「**音声**」ボタンで音声の切り換えができます。

付属品

付属品をご確認ください。

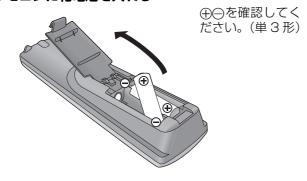
●品番は、2005年9月現在のものです。変更されることがあります。
●買い替えは、乾電池以外はサービスルート扱いです。以下の品番でご注文ください。
●電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

リモコン
【EUR7655Y30】

リモコン用乾電池☆
（単3形 :2 本）

電源コード
（1 本、本機専用）
【K2CA2DA00009】

映像･音声コード
（1本）
【K2KA6BA00003】

75Ω同軸ケーブル
（1本）
【K2KZ2BA00001】

CD-ROM(ラベルマイティ for DIGA)☆
（1 枚）

付属品は、販売店および松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけます。
http://www.sense.panasonic.co.jp/
TEL 06-6907-9144
パナセンスカスタマーセンター
☆印以外は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

リモコンに乾電池を入れる

⊕⊖を確認してください。（単 3 形）

(お知らせ)

●不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

各部のはたらき

本体

レコーダー1、2で録画中点灯
レコーダー1、2を選択中点灯
ディスクトレイ
ディスクトレイを開閉する
SDカードを入れる(➜下記)
HDD/DVD/SDカードを切り換える
リモコン受信部(➜13)
本体表示窓(➜下記)
電源
デジタルビデオ(DV)カメラなどを接続する
ビデオカメラなどを接続する
接続した機器と連動して録画する(➜43)
チャンネルを順に選ぶ
停止する
再生する
録画する

ディスクの入れ方

(カートリッジなし)
ラベルを上に

(カートリッジあり)
つめを合わせる
矢印を奥に

本体の [▲ 開 / 閉] を押してトレイを開き、ディスクを入れる
(もう一度押すと、トレイが閉まります。)

- 8 cm DVD-RAM やDVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側のラベル面を上にして入れてください。両面にまたがって記録、再生することはできませんので、もう一方の面を使用するときは、いったんディスクを取り出し、裏返してください。

SDカードの入れ方

本体表示窓右側の "SD"(➜ 下記) 点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

- miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ アダプターに装着し、アダプターごと出し入れしてください。 例)

入れかた

❶ スロットのふたを開ける
❷ カードを奥までまっすぐ差し込む
ラベル面を上に
角がカットされた側を右に
❸ スロットのふたを閉じる

出しかた

❶ スロットのふたを開ける
❷ カードの中央部を押してロックを外し、まっすぐ引き出す
❸ スロットのふたを閉じる

自動ドライブ切換機能

- RAM [誤消去防止(➜70「カートリッジ付きDVD−RAMやカードの場合」)を設定したディスクのみ] DVD-V DVD-A VCD CD
  停止中またはHDDに録画中、ディスクを入れると自動的にDVDドライブに切り換わります。ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めると自動的にHDDドライブが選ばれます。
- 停止中、SDカードをスロットに入れると、「SDカードの操作」画面が表示されます。そのとき画面操作(➜48右欄、68左欄)を行うと、SDドライブに切り換わります。

本体表示窓

リモコン

本機の電源

HDD/DVD/SDカードを切り換える

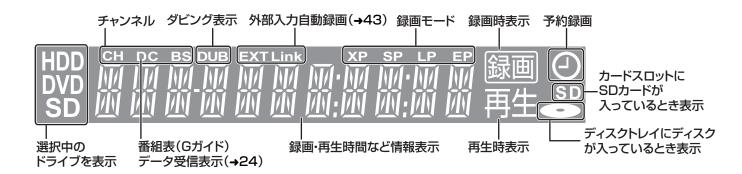
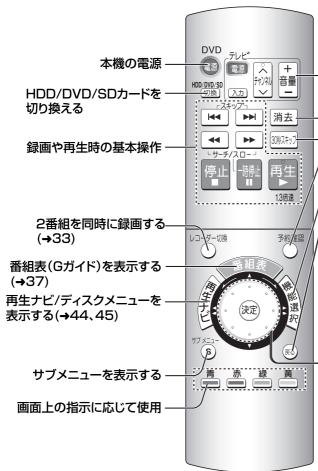
録画や再生時の基本操作

2番組を同時に録画する(➜33)

番組表(Gガイド)を表示する(➜37)

再生ナビ/ディスクメニューを表示する(➜44、45)

サブメニューを表示する

画面上の指示に応じて使用

テレビを操作する(➜26)

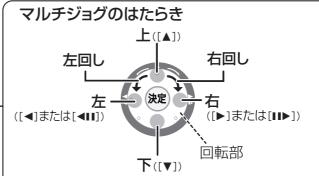
消去する(➜51)

約30秒飛びこす(➜47)

予約一覧画面を表示する(➜42)

機能選択メニューを表示する

メニュー画面で前の画面に戻る
[市販のDVDビデオやDVDオーディオで使用する「リターン」もこのボタンで操作します。(詳しくはディスクの説明書をご覧ください。)]

マルチジョグのはたらき

- コマ送り/コマ戻し：(一時停止中) 左右([◀II] [II▶])を押す
- 早送り/早戻し：(再生中) 右(送り)または左(戻し)に回す
- スロー再生:(一時停止中) 右(送り)または左(戻し)に回す
- メニュー画面での選択/決定:
  選択: 上下左右([▲] [▼] [◀] [▶])を押す
  (左右に回して選ぶこともできます。)
  決定: (決定) を押す

お願い

誤操作を避けるために以下のことに気をつけてください。
- マルチジョグを回すときはあまり強く押さないでください。
- (決定) を押すときは周囲の回転部を一緒に押さないように指を立てて、軽く押してください。(➜下図)

ふたを開ける

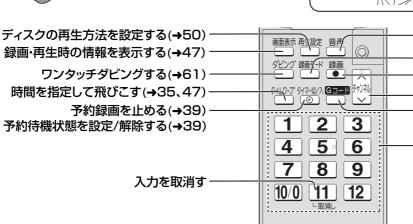
ディスクの再生方法を設定する(➜50)

録画・再生時の情報を表示する(➜47)

ワンタッチダビングする(➜61)

時間を指定して飛びこす(➜35、47)

予約録画を止める(➜39)
予約待機状態を設定/解除する(➜39)

入力を取消す

音声を切り換える(➜47)

録画モードを選ぶ(➜33)

録画する(➜33)

チャンネルを順に選ぶ(➜33)

Gコード予約(➜38)

チャンネルや番組などを番号で選ぶ/番号を入力する

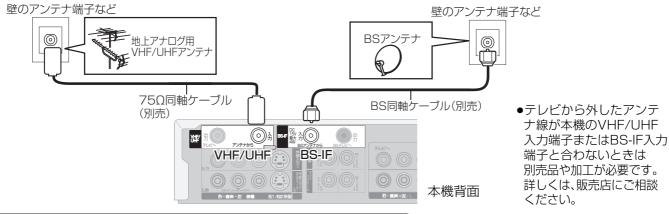
＜準備 1＞接続する(テレビ、ビデオと接続)

準備 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
各機器の取扱説明書もご覧ください。

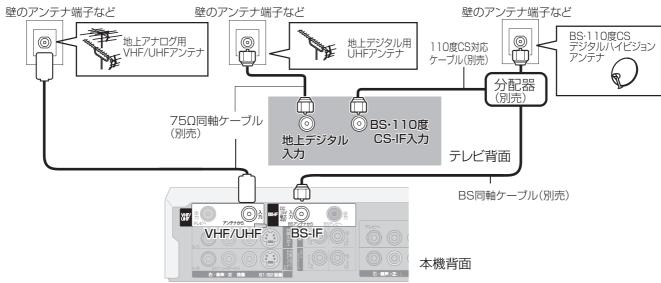
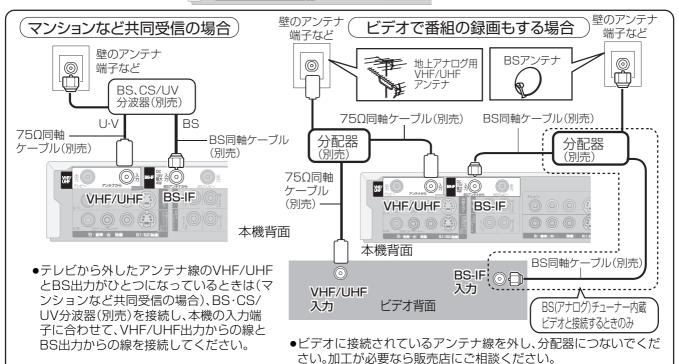
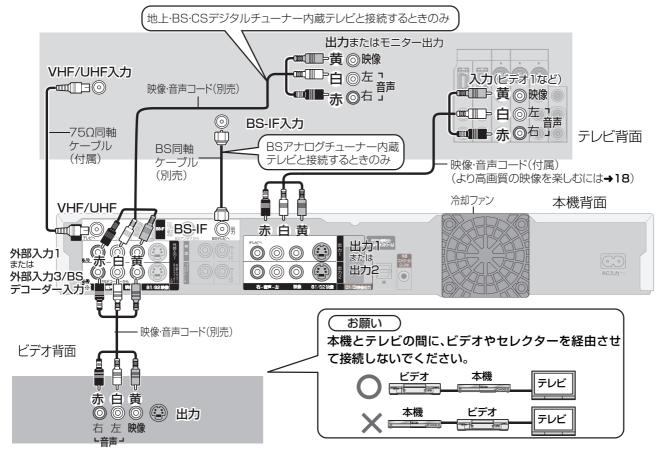
CATV をご利用になっている場合(➔19)

1 アンテナを接続

テレビに接続しているケーブルなどがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。

●テレビから外したアンテナ線が本機のVHF/UHF入力端子またはBS-IF入力端子と合わないときは別売品や加工が必要です。詳しくは、販売店にご相談ください。

地上･BS･CSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する場合

●テレビから外したアンテナ線のVHF/UHFとBS出力がひとつになっているときは(マンションなど共同受信の場合)、BS･CS/UV分波器(別売)を接続し、本機の入力端子に合わせて、VHF/UHF出力からの線とBS出力からの線を接続してください。

●ビデオに接続されているアンテナ線を外し、分配器につないでください。加工が必要なら販売店にご相談ください。

2 テレビ、ビデオと接続

※外部入力3/BSデコーダー入力に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。(➜76)

●**ビデオを見るには**

1. テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える(ビデオ 1 など)
2. **[DVD 電源]**を押して本機の電源を「入」にする
3. 本機のリモコンのふたの内側の [∧∨ **チャンネル**] を押して「L1」または「L3」を選ぶ
4. ビデオを再生する

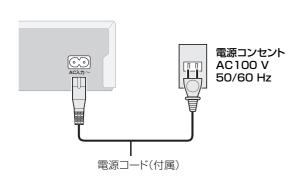
●**ビデオ内蔵テレビと接続するとき**

「ビデオ側入力端子」と「テレビ側入力端子」がある場合には、テレビ側入力端子に接続してください。

3 その他の機器と接続する

地上·ＢＳ·ＣＳ デジタルチューナーと接続する(➜20)
ＢＳ(アナログ)デコーダーと接続する(➜20)
アンプと接続する(➜21)

4 電源コードを接続

電源コード(付属)

長期間使用しないときは

節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

<u>電源「切」時の消費電力</u>

クイックスタート(➜22)	時刻表示点灯時	時刻表示消灯時
「切」時	約 3.3 W	約 0.9 W※
「入」時	約 12.4 W	約 11.4 W※

※FL ディマー (➜76) を「オート」に設定した場合

より高画質の映像を楽しむには

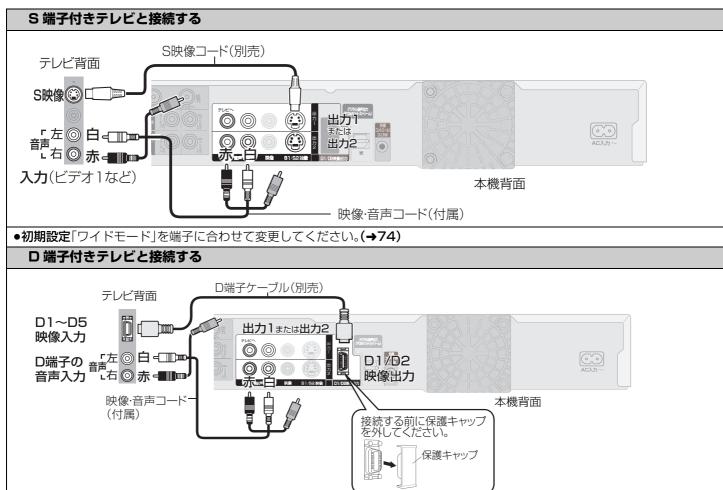
本機は S 端子、D 端子を持ったテレビとの接続に対応しています。17 ページ「2 テレビ、ビデオと接続」で本機の出力端子とテレビの入力端子をつなぐ映像·音声コードの映像プラグの代わりに、以下のような接続をすると高画質の映像を楽しむことができます。

S 端子付きテレビと接続する

テレビ背面
S映像コード（別売）
S映像
音声 左 白
音声 右 赤
入力（ビデオ1など）
出力1 または 出力2
赤 白
本機背面
映像·音声コード（付属）

●**初期設定**「ワイドモード」を端子に合わせて変更してください。**(➜74)**

D 端子付きテレビと接続する

テレビ背面
D端子ケーブル（別売）
D1～D5 映像入力
D端子の 音声入力
音声 左 白
音声 右 赤
出力1または出力2
赤 白
D1/D2 映像出力
本機背面
映像·音声コード（付属）
接続する前に保護キャップを外してください。
保護キャップ

●テレビ側がコンポーネント入力端子の場合は、D端子ピンケーブル（別売）**(➜21)**をお使いください。
●テレビの入力端子がD2～D5であれば、プログレッシブ映像で再生できます。**初期設定**「接続するTV」をテレビに合わせて変更してください。**(➜26)**
●テレビの入力端子がD1のときは、プログレッシブ出力で映像を楽しむことはできませんが、S映像より高画質です。（インターレース映像**(➜26)**のみの出力となります）

外部コントロール /G-LINK端子について

外部コントロール

ブロードバンドレシーバー（別売）**(➜21)**を接続すると、外出先からパソコンや携帯電話で予約録画できます。（インターネットの常時接続環境が必要です）
詳しくはサポートページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bbr/
接続·操作方法はブロードバンドレシーバーの説明書をご覧ください。

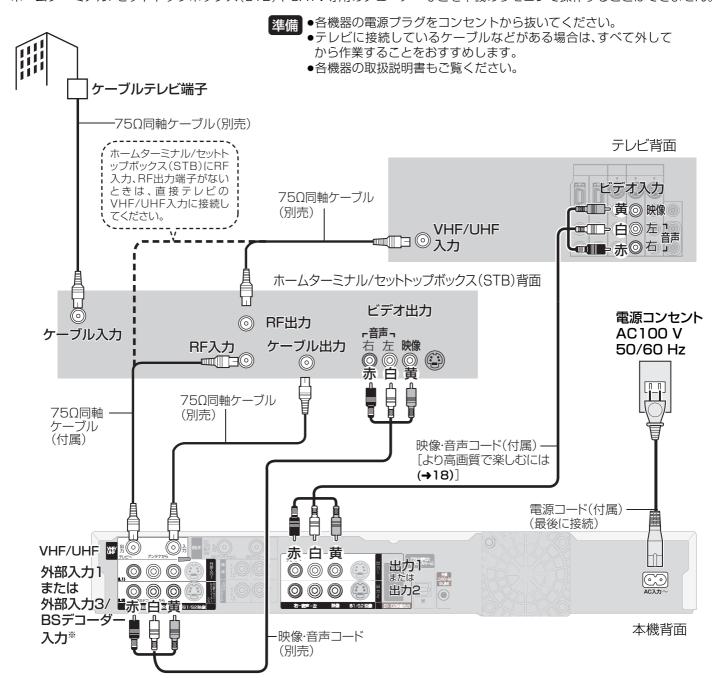
G-LINK（Gガイドのユーザー調査用端子）

●お客様の任意で同意された方のみ、調査用機器を接続することがあります。（Gガイドのユーザー調査については、当社では一切関知いたしません）

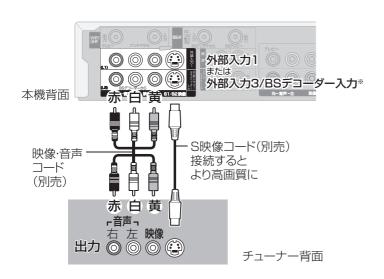
<準備1>接続する(CATVの接続)

CATV[ホームターミナル/セットトップボックス(STB)]、テレビと接続する

●ホームターミナル/セットトップボックス(STB)との接続については、CATV会社にご相談ください。(受信契約が必要です。)
●ホームターミナル/セットトップボックス(STB)やCATV専用のチューナーなどを本機のリモコンで操作することはできません。

準備 ●各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
●テレビに接続しているケーブルなどがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
●各機器の取扱説明書もご覧ください。

※外部入力3/BSデコーダー入力に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。**(➜76)**

ビデオと接続するには(➜17)

地上･ＢＳ･ＣＳ デジタルチューナーと接続する

※外部入力3/BSデコーダー入力に接続した場合は、**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。(➜76)

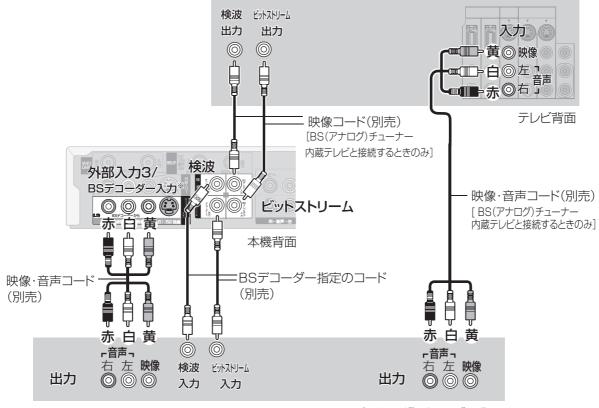
デジタル放送を記録するときは、HDD または CPRM 対応の DVD-RAM、DVD-R(VR 方式) を使用してください。ただし、DVD-R(VR 方式)には直接録画できません。HDD に録画してから、ダビングしてください。DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式) や＋ R には記録できません。**(詳しくは ➜10)**

- 本機のBS-IF入力･BS-IF出力は、110度CSデジタル放送には対応していません。
- 接続する機器や方法は、販売店にご相談ください。BSやCS放送を見るには、放送会社との受信契約が必要な場合があります。
- Irシステムを使って録画するには(➜43)

16､17 ページの接続もしてください。電源コードは最後に接続してください。

ＢＳ（アナログ）デコーダーと接続する

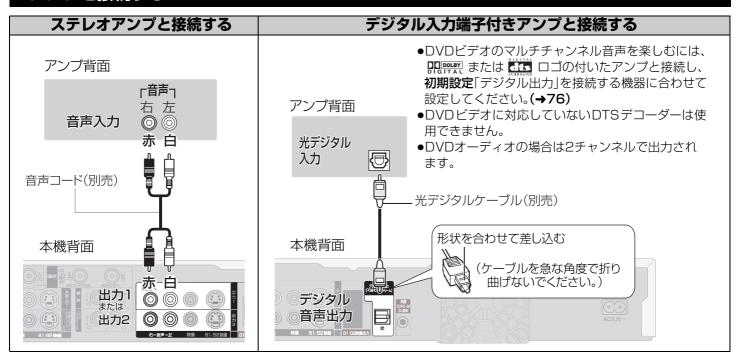
[WOWOW（アナログ）を見るとき]

WOWOW を見るには、放送会社との受信契約が必要です。

※**初期設定**「外部入力3の端子設定」を「BSデコーダー」に設定してください。(➜76)

16､17 ページの接続もしてください。電源コードは最後に接続してください。

アンプと接続する

ステレオアンプと接続する	デジタル入力端子付きアンプと接続する

●DVDビデオのマルチチャンネル音声を楽しむには、DOLBY DIGITAL または dts ロゴの付いたアンプと接続し、**初期設定**「デジタル出力」を接続する機器に合わせて設定してください。(➔76)
●DVDビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。
●DVDオーディオの場合は2チャンネルで出力されます。

別売品のご紹介(2005 年 9 月現在)

※印の付いているものは、サービスルート扱いでご用意しております。お買い上げの販売店にご注文ください。

音声や映像を楽しむには

コード/ケーブル名	長さ	品番
音声コード	(0.5 m)	RP-CAP3G05
	(1.0 m)	RP-CAP3G10
	(1.5 m)	RP-CAP3G15
	(2.0 m)	RP-CAP3G20
	(3.0 m)	RP-CAP3G30
	(5.0 m)	RP-CAP3G50
	(10.0 m)	RP-CAP3G100
光デジタルケーブル	(0.5 m)	RP-CA2005A
	(1.0 m)	RP-CA2010A
	(2.0 m)	RP-CA2020A
	(3.0 m)	RP-CA2030A
映像コード	(0.5 m)	RP-CVP0G05
	(1.0 m)	RP-CVP0G10
	(1.5 m)	RP-CVP0G15
	(2.0 m)	RP-CVP0G20
	(3.0 m)	RP-CVP0G30
	(5.0 m)	RP-CVP0G50
	(10.0 m)	RP-CVP0G100
i.LINKケーブル	(1.5 m)	RP-CDE4G15A
	(3.0 m)	RP-CDE4G30A
S映像コード	(1.0 m)	RP-CVS0G10
	(2.0 m)	RP-CVS0G20
	(3.0 m)	RP-CVS0G30
	(5.0 m)	RP-CVS0G50
D端子ケーブル	(1.5 m)	RP-CVDG15A
	(3.0 m)	RP-CVDG30A
	(5.0 m)	RP-CVDG50A
D端子ピンケーブル	(1.5 m)	RP-CVCDG15
	(3.0 m)	RP-CVCDG30

外出先からパソコンや携帯電話で予約録画するには
(インターネットの常時接続環境が必要です)
●ブロードバンドレシーバー
:DY-NET2

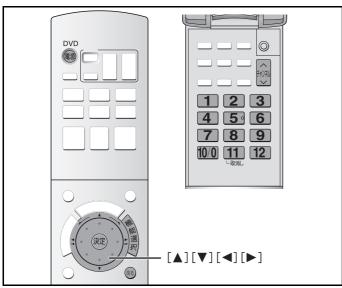
テレビ放送を楽しむには
●75Ω同軸ケーブル
:VUA7051※(1.4 m)
●BS同軸ケーブル:VW-KBS1(2.0 m)
●75Ωアンテナプラグ:VSQ1035※
●アンテナプラグ:VUA7050※
●BS・CS/UV分波器:TY-6S7BCSW

お手入れには
●レンズクリーナー
:RP-CL720
●ブルーレイ/DVDディスククリーナー
:RP-CL750

別売品は、販売店および松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけます。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/
TEL 06-6907-9144
パナセンスカスタマーセンター

<準備2>かんたん設置設定をする

はじめて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。
画面と音声ガイドに従って操作し、本機に必要な以下の設定を行います。
–接続するテレビの種類
–市外局番チャンネル設定
–G ガイド地域［番組表 (G ガイド)の受信に必要です。］
–クイックスタート

(お知らせ)
「かんたん設置設定」を開始すると、途中で終了することはできません。必ず最後まで設定を行ってください。

準備 準備 1 で接続を行う(➜16 ～ 21)

1 テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える(ビデオ 1 など)

2 DVD 電源 を押す

3

[◀][▶]で「開始」を選び、決定 を押す
- 「中止」を選んで[決定]を押すと手順**9**へ進みます。そのまま[決定]を押して「かんたん設置設定」を中止すると、次回電源を入れたときに再び、上記画面が出ますので、必ず「開始」を選んで、「かんたん設置設定」を行ってください。

接続するテレビの種類の設定

4

[▲][▼]で接続するテレビの種類を選び、決定 を押す

標準テレビ: 横縦比 4:3の標準テレビに接続しているとき
ワイドテレビ: 横縦比 16:9 のワイドテレビに接続しているとき

市外局番チャンネル設定

お使いになる地域の市外局番を使って、受信チャンネルを設定し、「G ガイド地域」も設定します。

5

ふたを開けて 1 ～ 10/0 でお住まいの地域の市外局番を入力し、決定 を押す

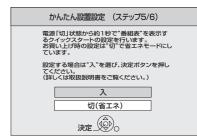
入力された市外局番の番号で、チャンネルが設定されます。

番号を間違えたときは➡ 11 (取消し) を押す

6

メッセージを確認し、決定 を押す

クイックスタートの設定

7

[▲][▼]で「入」または「切(省エネ)」を選び、決定 を押す

クイックスタートとは
電源「切」状態から、以下の操作がすばやく行えるようになる設定です。
–**[番組表]** を押して約 1 秒後に、番組表(G ガイド)を表示します。[番組表(G ガイド)は、お買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。(**詳しくは ➜24**)]
–**[DVD電源]**を押して約 1 秒で、HDD、DVD-RAMへの録画を開始することができます。
そのほかの操作は、電源を入れてから数十秒かかります。
- 「クイックスタート」を「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。
  –待機時消費電力が増えます。(設置環境や、周囲の温度により、本機の上部が熱くなることがありますが、故障ではありません。)
  –本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前 4 時ごろ(1 週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に "PLEASE WAIT" と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブや HDD から動作音がしますが、故障ではありません。)

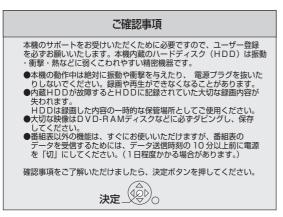
「かんたん設置設定」を終了する

8

設定内容を確認し、(決定)を押す

「番組表データの送信局(ホスト局)の自動設定に失敗しました。」と表示された場合は

➡ (決定)を押して手順 **9** に進み、「かんたん設置設定」を終了後、「番組表設定」で、「G ガイド地域」と「ホスト局」を正しく設定してください。**(➜29「G ガイド地域、ホスト局を変更したいとき」)**

9

確認事項を確認し、(決定)を押す

- リモコンのふたの内側の[∧ ∨ **チャンネル**]や[1]~[12]を押して、チャンネルがすべてきれいに受信できているか確かめてください。

ご希望のチャンネルが表示されない場合は

➡ マニュアルチャンネル設定でチャンネルを設定する **(➜28)**

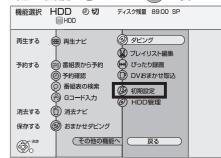
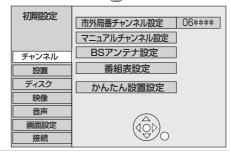
前の画面に戻るには➡ (戻る) を押す

設定をやり直すには (引越しをした場合など)

準備 準備 1 で接続を行う**(➜16 ~ 21)**

1 停止中に (機能選択) を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、(決定)を押す

4 [▲][▼]で「チャンネル」を選び、[▶] を押す

5 [▲][▼]で「かんたん設置設定」を選び、(決定)を押す

6 [▲][▼]で「する」を選び、(決定)を押す

7 画面に従って 22 ページ手順 **3** から行う

- 音声ガイドが働きます。

前の画面に戻るには➡ (戻る) を押す

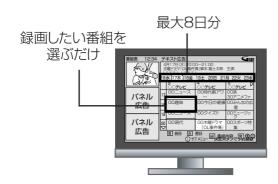
音声ガイドを止めるには

➡ **初期設定**「音声ガイドの出力」を「切」にする**(➜74)**

番組表(Gガイド)を受信する

番組表(Gガイド)とは?

放送局(ホスト局)から送られるテレビ番組の情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。
番組表(G ガイド)を利用すれば、一覧表から番組を選ぶだけで簡単に予約録画することができます。**(➜37)**
本機は**アナログ放送の番組表(G ガイド)**を最大8日先まで画面に表示できます。
お買い上げ後すぐ番組表(G ガイド)を表示させることはできません。「かんたん設置設定」(➜22)と番組表(G ガイド)データの受信(➜ 下記)が必要です。

ホスト局(番組表(Gガイド)データを送信する放送局)

番組表(G ガイド)を受信する

「かんたん設置設定」を行ったあと(➜22、23)
データ送信時刻(➜ 右記)の10分以上前に

DVD
 を押して本機の電源を切る

10:50

時刻が正しく設定されているか確かめてください。
(時刻を合わせ直すには ➜27)

"D"
EPG 11:05

データ送信時刻になると"EPG"が点灯します。実際にデータ受信が始まると"D"が点灯します。

11:35

"EPG"表示が消えたら受信完了です。通常数十分で終了します。

- "EPG"表示中に電源を入れた場合は、データを受信できません。
- 本機を設置した時間帯によっては、番組表(Gガイド)を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。
- データ受信中は冷却ファンが回り、本機からHDDの動作音が聞こえます。

番組表データを受信する時間帯の変更

番組表(G ガイド)データ受信中は冷却ファンが回り、HDD が起動しますので、動作音がします。気になる場合などに**初期設定**「データ受信の時間帯設定」でデータ受信の時間帯**(➜ 下記「番組表(G ガイド)データ送信時刻」)**を変更できます。お買い上げ時は、「昼間のみ受信」に設定されています。

1 **停止中に 機能選択 を押す**
2 **[▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**
3 **[▲][▼]で「初期設定」を選び、決定 を押す**
4 **[▲][▼] で「チャンネル」を選び、[▶] を押す**
5 **[▲][▼] で「番組表設定」を選び、決定 を押す**
6 **[▲][▼] で「データ受信の時間帯設定」を選び、決定 を押す**
7 **[▲][▼] で受信したい時間帯を選び、決定 を押す**

すべて受信(時間帯制限なし):データ送信時刻(**➜ 下記**)のすべての送信時刻のデータを受信
昼間のみ受信:データ送信時刻(**➜ 下記**)の「昼間」の送信時刻のデータを受信
夜間・早朝のみ受信:データ送信時刻(**➜ 下記**)の「夜間・早朝」の送信時刻のデータを受信

番組表(G ガイド)データ送信時刻

ホスト局	データ送信時刻	
	夜間・早朝	昼間
HBC テレビ	0:30,7:05	11:05.15:05,17:05
秋田テレビ、東北放送、中国放送、大分放送	0:30,5:05	11:05,14:35,17:05
新潟放送	0:30,5:05	11:05,14:35,17:35
TBS テレビ	0:30,5:05	11:05,14:30,18:30
CBC テレビ	0:30,5:35	11:05,14:35,17:00
毎日放送	1:45,6:05	11:05,14:35,17:35
山陽放送	0:30,5:05	11:05,14:35,17:00
RKB 毎日放送	0:30,6:05	11:05,14:35,17:00
その他	0:30,6:05	11:05,14:35,17:05

- ホスト局や送信時刻、回数は変更されることがあります。最新の送信時刻については、(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページをご覧ください。
http://www.ipg.co.jp/

番組表(G ガイド)データの更新

一度番組表(Gガイド)データを受信した後も、内容更新のためにデータ受信が必要です。
データ送信時刻に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に受信します。("EPG"表示中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、前回受信したデータが残ります。)

データ送信時刻に本機の電源が「入」状態だったら?

本機は電源が「入」でもデータ送信時刻になると番組表(G ガイド)データを取得します。ただし、録画中は取得できません。

データの受信が始まると、本体表示窓に"D"が点灯します。"D"が消えて 3 分経過すれば受信完了です。

- "D"表示中に、操作を行った場合は、データを受信できません。
また、データ受信後、一度も本機の電源を切らないまま、停電や電源コードを抜くなどで本機の電源が切れると、受信したデータはなくなります。(前回受信したデータが残ります。)

番組表(Gガイド)データを正しく受信できないときは

以下の項目をお確かめください。

データ送信時刻に本機の電源を「切」にしていますか?

データ送信時刻の 10 分以上前に本機の電源を切ってください。(電源コードは抜かないでください。電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。)

- 本機では、電源を「入」にしていても番組表(Gガイド)データを受信できますが(➜24)、確実に受信するためには、電源「切」状態で受信することをおすすめします。

「G ガイド地域」「ホスト局」が正しく設定されていますか?

「Gガイド地域」と「ホスト局」がお住まいの地域に合っていないと番組表データを受信することができません。下記の操作で確認してください。

1 停止中に を押す
2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す
3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、決定 を押す
4 [▲][▼] で「チャンネル」を選び、[▶] を押す
5 [▲][▼] で「番組表設定」を選び、決定 を押す

データ受信時刻
お買い上げ時は「自動」に設定されています。
通常は変更の必要はありません。
(詳しくは➜29)

お住まいの地域に合った設定になっているか、「Gガイド地域・ホスト局一覧」(➜88)でご確認ください。

- **設定を変更するには(➜29「Gガイド地域、ホスト局を変更したいとき」)**
- どちらか一方でも「－－－」の場合は、データを受信できません。
- ホスト局が受信できない(映らない)場合は、データを受信できません。近隣の地域のホスト局が受信できるときは、「ホスト局」をその局に変更すると、データを受信できます。その場合、「Gガイド地域」も変更後のホスト局に対応した地域に変更してください。

時刻設定は合っていますか?

1 停止中に を押す
2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す
3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、決定 を押す
4 [▲][▼] で「設置」を選び、[▶] を押す
5 [▲][▼] で「時刻合わせ」を選び、決定 を押す

年・月・日・時・分の設定をご確認ください。

- **設定を変更するには(➜27「時刻を合わせ直す」の手順6)**

番組表(Gガイド)についてよくあるご質問

番組表に表示されない放送局がある。

番組表(Gガイド)が表示される放送局は、地域ごとに決められています。設定した「Gガイド地域」に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表(Gガイド)には表示されません。「Gガイド地域・ホスト局一覧」(➜88)でご確認ください。

G ガイド地域で登録されている放送局が表示されない場合は…

➡ **「マニュアルチャンネル設定」でチャンネルを設定してください。(➜28 「チャンネルの追加、表示チャンネルの変更をしたいとき」)**

CATV で番組表(G ガイド)は使えるか?

ご契約されているCATVが番組表(Gガイド)のデータ送信に対応していれば、地上アナログ・BSアナログ放送の番組表(Gガイド)が表示できます。(CATV独自の放送には対応していません。)CATV会社にデータ送信の有無とホスト局をご確認ください。
データ送信に対応している場合は、通常と同様に「かんたん設置設定」を行い(➜22)、手順に従って番組表(Gガイド)データを受信してください。[CATV会社で確認したホスト局と自動設定されたホスト局が異なる場合は、**初期設定**「番組表設定」でCATV会社で確認したホスト局に合わせ直してください。
[➜29「番組表(Gガイド)の設定を変える」]

対応している放送局の番組表が表示されない場合は…

(CATV 会社の放送方式によってはチャンネルを設定して、映像を受信することができても番組表を表示できない放送局があります。)

➡ **「マニュアルチャンネル設定」でその放送局をチャンネルが設定されていないVHF/UHFチャンネル一覧の「チャンネルポジション(Po)」に設定してください。(➜28 「チャンネルの追加、表示チャンネルの変更をしたいとき」)**
- 「CH」には「C13」などCATV会社が割り当てた受信チャンネルを設定してください。(手順 *7*)
- 「放送局名」には「衛星第一」など「受信チャンネル(CH)」に対応した放送局名を設定してください。(手順 *9*)

BS デジタル、CS や地上デジタルの番組表(G ガイド)は表示できるか?

本機では番組表(Gガイド)は、地上アナログ、BSアナログ放送のみ表示できます。BSデジタル、CS、地上デジタル放送には対応していません。

数日経っても番組表(G ガイド)が受信できない。一部の放送局が受信できない。

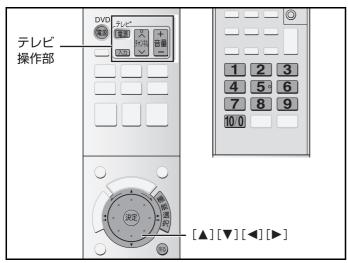
左記の「番組表(Gガイド)データを正しく受信できないときは」をご参照ください。
お住まいの地域の受信状態に問題(ゴーストや電波状態が弱いなど)がある場合には、正常に受信できないことがあります。

野球放送やドラマなどの延長に対応しているか?

本機には、スポーツ中継が延長された場合にも番組を最後まで録画できるよう、予約録画時に自動的に最大延長時間を足して録画する機能があります。**(➜41「野球延長対応機能」)**
またドラマの最終回などで、通常より放送時間が長くなっても、自動的に放送時間に対応して録画します。**(➜41「番組追従機能」)**

電源「切」状態中、表示窓に"EPG"が表示されている間は使えないのか?

使えます。ただし、データ受信は中止されます。(前回受信したデータが残ります。)

その他の設定

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- [DVD 電源]を押して、本機の電源を入れる。

テレビのタイプを設定する 接続するTV

プログレッシブ(➜ 下記)対応テレビと接続したとき、または接続するテレビを「かんたん設置設定」で選んだテレビタイプ(標準 / ワイド)から変えたときなどに、以下の操作が必要です。接続するテレビタイプに合わせて設定してください。

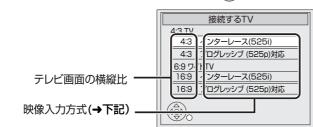
1 停止中に [機能選択] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼]で [接続] を選び、[▶] を押す

初期設定	接続するTV	4:3(525i)
	TVアスペクト(4:3)設定	
チャンネル	DVD-Video	パン&スキャン
設置	DVD-RAM	レターボックス

5 [▲][▼]で「接続するTV」を選び、[決定] を押す

6 [▲][▼] で接続したテレビに合わせて選び、[決定] を押す

- **インターレース:**
  従来の映像信号で、525i(i:インターレース=飛び越し走査)と呼ばれます。従来のテレビに接続する場合や、お使いのテレビがどちらであるかわからないときに選んでください。
- **プログレッシブ:**
  インターレースの倍の走査線をもつ映像信号です。525p(p:プログレッシブ=順次走査)と呼ばれます。本機のD1/D2映像出力端子から出力されます。

前の画面に戻るには➜ [戻る] を押す

設定を終了するには➜ [戻る] を数回押す

本機のリモコンでテレビを操作する

設定すると、リモコンのテレビ操作部(➜ **左記**)でテレビの操作ができます。

リモコンをテレビに向け、[戻る] を押しながら、

[1] ～[10/0] でテレビのメーカー番号を入力する

- メーカー番号は、2けたで入力してください。

例) 01の場合…[10/0]、[1] の順に押す
　　10の場合…[1]、[10/0] の順に押す

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	01, 10, 22, 23	パイオニア	13
アイワ	18	ビクター	14
NEC	06, 15	日立	05, 20
三洋	07, 16	富士通ゼネラル	09
シャープ	02, 11, 21	フナイ	19
ソニー	03, 17	三菱	08, 12
東芝	04		

- テレビの電源入/切が働くか確認してください。

お知らせ

- 同じメーカーで複数の番号がある場合は、正しく操作できる方の番号に合わせてください。
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- リモコンの[1]～[12]を使ってテレビのチャンネルは選べません。テレビ操作部の[∧∨ **チャンネル**]をお使いください。

2台以上の当社製 DVD レコーダーなどを使うとき リモコンモード

- 当社製機器のほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作をすると、本機以外の別の機器にも影響してしまいます。このときは、リモコンモードを変えてください。
- 当社製機器が本機しかないときなど、通常は変更の必要はありません。

本体側のモードを変える

1 停止中に [機能選択] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼]で「設置」を選び、[▶] を押す

初期設定	自動電源 [切]	6H
	リモコンモード	リモコン1
	ワイドモード	S1/S2
チャンネル	時刻合わせ	
設置		
ディスク	音声ガイドの出力	入

5 [▲][▼]で「リモコンモード」を選び、[決定] を押す

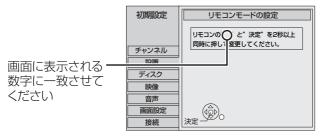
初期設定	リモコンモードの設定
	リモコン1
チャンネル	リモコン2
設置	リモコン3
ディスク	

6 [▲][▼]で「リモコン2」または「リモコン3」を選び、[決定] を押す

(次ページへつづく)

リモコン側のモードを変える

7 **2** または **3** を押しながら、決定 を 2秒以上押したままにする

お願い

決定 を押すとき、周囲の回転部を一緒に押してしまうと設定できません。必ず 決定 のみ押してください。(➜15)

8 決定 **を押す**

●手順*4*の画面に戻ります。

前の画面に戻るには

➡ 戻る を押す

設定を終了するには

➡ 戻る を数回押す

本体表示窓に"U30"が表示されたら

➡ リモコンの設定が本体の設定と合っていません。

リモコン操作で、この数字のボタンと [決定] を同時に2秒以上押したままにしてください

お知らせ

チューナーなどのIrシステム(➜43)を使用する場合は、本機で設定したリモコンモードにIrシステムのリモコンモードを合わせてください。詳しくは、チューナーなどの説明書をご覧ください。

時刻を合わせ直す

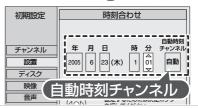
昼の12時に本機が電源「切」状態であれば、NHK教育テレビの時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正します。ただし、誤差が2分以上あるときは、自動修正が働きません。以下の操作で時刻を合わせ直してください。

1 停止中に 機能選択 を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、 を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]で「設置」を選び、[▶] を押す

5 [▲][▼] で「時刻合わせ」を選び、決定 を押す

6 [◀][▶] で各項目を選び、[▲][▼]を押して修正する

● "時刻" は24時間表示です。
● "年" は西暦1988～2087年までです。

自動時刻チャンネルの設定について

●「自動」にすると、自動的に「NHK教育テレビ」を探しますが、探し出すまでに時間がかかることがありますので、「NHK教育テレビ」のチャンネルに合わせておくことをおすすめします。
●以下の場合は働きません。
–設定が「- -」(解除)になっているとき
–時報が放送されなかったとき

7 決定 **を押す**

●手順*4*の画面に戻り、時計が動き始めます。

前の画面に戻るには➡ 戻る を押す

設定を終了するには➡ 戻る を数回押す

お知らせ

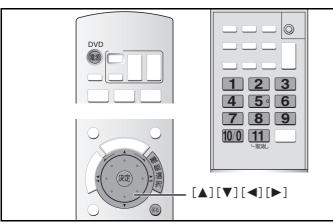
時刻の誤差を自動修正中は、本機の HDD から音がします。

準備

その他の設定

著作権など

●ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されます。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。
●Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における登録商標です。
Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●Gコード(またはG-CODE)は、ジェムスター社の登録商標です。Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●「DTS」および「DTS 2.0＋Digital Out」はDTS 社の商標です。
●MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS およびTHOMSON multimedia からライセンスを受けています。
●SD ロゴは商標です。
●Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
●あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録画補償金が含まれております。
お問い合わせ先：(社)私的録画補償金管理協会
☎ 03-3560-3107(代)

うまくチャンネル設定できなかったとき

準備 ●テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
●[DVD 電源]を押して、本機の電源を入れる。

自分でチャンネルを合わせる

マニュアルチャンネル設定

以下の場合などに設定してください。
–「かんたん設置設定」(➜22)でチャンネルが正しく設定されないとき
–きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき
–選局の順番を入れ換えたいとき

1 停止中に [機能選択] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼]で「チャンネル」を選び、[▶]を押す

初期設定
チャンネル / 設置 / ディスク
市外局番チャンネル設定 06****
マニュアルチャンネル設定
BSアンテナ設定
番組表設定
かんたん設置設定

5 [▲][▼]で「マニュアルチャンネル設定」を選び、[決定] を押す

例)VHF/UHF

マニュアルチャンネル設定　VHF/UHFチャンネル　1/11

Po	CH	表示	放送局名	ガイド
1	--	--	--	--
2	2	2	NHK総合大阪	80
3	19	19	テレビ大阪	19

Po　:チャンネルポジション(変更できません。)
「1」~「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。
CH　:受信チャンネル
新聞のテレビ欄などと同じチャンネルです。
表示　:表示チャンネル
テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。
放送局名:番組表(G ガイド)で表示させるためには、正しい放送局名が必要です。
ガイド　:ガイドチャンネル
Gコード予約に必要な番号です。「--」の場合は、ガイド CH を入力してください。
(➜ 右記の手順 *10*)
BSシステム:独立音声の放送を楽しむときに設定。
(詳しくは ➜30「BS システム」)
通常は「デコーダー(自動)」にしてください。
入力　:外部入力チャンネル(L1、L2、L3 ※)
※**初期設定**「外部入力 3 の端子設定」(**➜76**)を「ライン」に設定したときに表示。

前の画面に戻るには➡ [戻る] を押す
設定を終了するには➡ [戻る] を数回押す

チャンネルの追加、表示チャンネルの変更をしたいとき

左記の手順 *5* のあと

6 [▲][▼]で追加または変更したい「Po※」を選ぶ
●追加の場合は、受信チャンネルが設定されていない「Po」を選びます。
●[▼]を押して次ページへ移っていくごとに VHF/UHF➡BS➡CATV➡外部入力➡拡張チャンネルの順に変わります。(拡張チャンネルは将来のシステムに対応するので、現在は使用しません。)
※BS·CATV は「CH」、外部入力は「入力」を選ぶ

7 (VHF/UHF チャンネルのみ)
[▶]で「CH」の欄に移動し、[▲][▼] を押して、受信したいチャンネルを設定する

8 **[▶]で「表示」の欄に移動し、[▲][▼] で表示したい番号を設定する**

9 (VHF/UHF チャンネル、BS チャンネルのみ)
[▶]で「放送局名」の欄に移動し、[▲][▼] で放送局名を設定する
●「市外局番チャンネル設定一覧」(**➜86**)を参照して、受信チャンネルに対応した放送局名を選びます。

放送局コード(➜89)を使って設定するときは
➡ 1　[決定]を押す
2　[1]~[10/0]を押して、放送局コードを入力する
3　[決定]を押す

10 (VHF/UHF チャンネル、CATV チャンネルのみ)
[▶]で「ガイド」の欄に移動し、[▲][▼] でガイドチャンネルを設定する
●「市外局番チャンネル設定一覧」(**➜86**)を参照して、受信チャンネルに対応したガイドCHを選びます。
●続けてチャンネルを追加·変更するには、[◀]を押して[Po※]まで戻り、手順*6*から*10*を繰り返します。
※BS·CATV は「CH」、外部入力は「入力」まで戻る

11 [戻る] **を押す**
●左記の手順*4*の画面に戻り、チャンネルが確定します。

CATVでBSアナログ放送を受信するときのガイドチャンネル

放送局	ガイド CH	放送局	ガイド CH
BS1	71	BS9(ハイビジョン放送※)	75
BS3	72	BS11(NHK 衛星第二)	76
BS5(WOWOW)	73	BS13	77
BS7(NHK 衛星第一)	74	BS15	78

※本機ではハイビジョン放送は見られません。

映りの悪いチャンネルを微調整したいとき

BS·拡張·外部入力チャンネルは調整できません。
左記の手順 *5* のあと

6 **[▲][▼] で微調整したい「Po」**(CATV は「CH」) **を選び、[決定] を3秒以上押したままにする**

7 **[◀][▶]で「入」を選び、[◀][▶] を数回押して調整する**
●色が付いていないとき…[▶]
●しま模様が出るとき……[◀]
("0"にすると、元の状態に戻ります)

微調整
微調　入
微調整　0

●受信状態によっては、調整しきれないことがあります。

8 [戻る] **を押す**
●左記の手順*5*の画面に戻り、微調整が確定します。

不要なチャンネルを削除したいとき

同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されているときは、映りの悪い方のチャンネルを削除してください。

28 ページの手順 ***5*** のあと

6 [▲][▼]で削除したい「Po※」を選ぶ
※BS･CATV は「CH」、外部入力は「入力」を選ぶ

7 [11 取消し] を押す
VHF/UHF:「CH」「表示」「放送局名」「ガイド」が「 - - 」表示に変わります。
BS:「表示」「放送局名」が「 - - 」表示に変わります。
CATV:「表示」「ガイド」が「 - - 」表示に変わります。
外部入力:「表示」が「 - - 」表示に変わります。
- 続けて削除するには、手順***6***､***7***を繰り返します。

8 [戻る] を押す
- 28ページの手順 ***4***の画面に戻り、チャンネルが削除されます。

番組表(G ガイド)の設定を変える

番組表設定

かんたん設置設定で､「Gガイド地域」や「ホスト局」が正しく設定されなかったときに操作します。

1 停止中に [機能選択] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼]で「チャンネル」を選び、[▶] を押す

5 [▲][▼]で「番組表設定」を選び、[決定] を押す

初期設定 ／ 番組表設定

番組表設定	
Gガイド地域	大阪
ホスト局	毎日放送
データ受信時刻	自動
データ受信の時間帯設定	昼間のみ

番組表データを受信するため、1日に数回自動的に起動します。この時、本体に「EPG」と表示されHDDやファンが起動します。この起動音が気になる場合は、データ受信の時間帯設定を変更してください。

チャンネル／設置／ディスク／映像／音声／画面設定／接続　決定

前の画面に戻るには➡ [戻る] を押す
設定を終了するには➡ [戻る] を数回押す

Gガイド地域、ホスト局を変更したいとき (Gガイド地域 / ホスト局)

Gガイド地域
上記の「番組表(Gガイド)の設定を変える」手順***5***のあと

6 [▲][▼]で「G ガイド地域」を選び、[決定] を押す

7 [▲][▼][◀][▶]でお住まいの地域を選び、 を押す

ホスト局
左記の「番組表(G ガイド)の設定を変える」手順***5*** のあと

6 [▲][▼]で「ホスト局」を選び、[決定] を押す

7 [▲][▼][◀][▶]でホスト局(➜88 「G ガイド地域･ホスト局一覧」)を選び、[決定] を押す
- 画面にはホスト局以外の放送局も表示されます。「Gガイド地域･ホスト局一覧」(➜88)に従って、正しく選んでください。

お知らせ
- 「－－－」を選ぶと、番組表(Gガイド)データを受信できません。
- ホスト局が受信できない(映らない)場合は、データを受信できません。近隣の地域のホスト局が受信できるときは、その局を「ホスト局」に設定すると、データを受信できます。「ホスト局」を変更した場合は、「Gガイド地域」も変更後のホスト局に対応した地域に変更してください。

番組表(Gガイド)データの受信時刻を変更したいとき (データ受信時刻)

通常は「自動」のまま、変更する必要はありません。 1 日に数回あるデータ送信時刻(➜24)の一部が変更になった場合でも、その他の時刻に送信されるデータの受信時に、自動的に受信時刻が再設定されます。ただし、いずれのデータ送信時刻にも受信できない場合は、ホスト局がすべての送信時刻を一度に変更した可能性があります。その場合のみデータ受信時刻設定が必要です。(株)インタラクティブ･プログラム･ガイドのホームページ(http://www.ipg.co.jp/)で最新の送信時刻を確認し、設定してください。

左記の「番組表(G ガイド)の設定を変える」手順 ***5*** のあと

6 [▲][▼] で「データ受信時刻」を選び、[決定] を押す

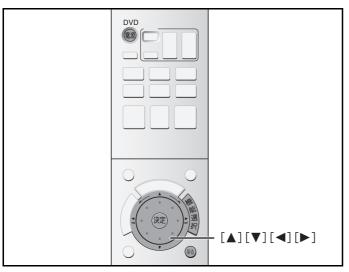
7 [◀]で「設定」を選び、[決定] を押す

8 [▲][▼]で「時」を設定する

9 [◀][▶] で「分」を選び、[▲][▼] で設定する

10 [決定] を押す

お知らせ
- データ受信時刻設定を行うと、ホスト局のデータ送信時刻(➜24)に加えて、設定した時刻にもデータ受信の準備を行います。(実際にその時刻に放送局からデータが送信されなければデータ受信は行いません。)
- いったんデータを受信すると、受信時刻が自動的に設定されるため、以降は変更の必要はありません。データ受信後は、設定は「自動」に戻ります。

うまくチャンネル設定できなかったとき(つづき)

準備 ●テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 1 など)
●[DVD 電源] を押して、本機の電源を入れる。

BS アンテナを設定する

BS アンテナ設定

「かんたん設置設定」(➜22)を行ったあと、BS チャンネルが映らない場合や、BS チャンネルの受信状態が悪い場合などに以下の BS アンテナ設定を行ってください。BS(アナログ)放送を見ない場合は、この設定は不要です。

1 停止中に 機能選択 を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

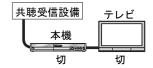
3 [▲][▼] で「初期設定」を選び、決定 を押す

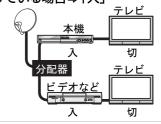
4 [▲][▼] で「チャンネル」を選び、[▶] を押す

5 [▲][▼] で「BS アンテナ設定」を選び、決定 を押す

BS 電源:BS アンテナの電源を設定する
ウェザーポジション:画面上の細かいノイズをおさえる
BS チャンネル:別の BS チャンネルに切り換える
BS システム:独立音声※の放送を楽しむときに設定
アンテナレベル:受信状態が悪いときなどに確認する

6 [▲][▼] で「BS 電源」を選び、[◀][▶] で BS 電源を設定する

●**共聴受信(マンション)などの場合➜「切」**
共聴受信設備で電源が供給されているため、本機からの電源供給は不要です。

●**BS アンテナを本機に直接接続している場合➜「連動」**
本機で BS チャンネルを選んだときや、テレビからアンテナ電源が供給されている場合のみ、本機から電源を供給します。

●**分配器などで電波を分けている場合➜「入」**
常に、本機からの電源供給が必要です。

7 アンテナレベルを確認する

●レベルは“40”以上をめやすにし、最も高い値(MAX)に近付けるようにアンテナの向きを調節してください。
●レベルが“0”のときはBSアンテナの接続を確認してください。

別のチャンネルのアンテナレベルを確認する
➜ [▲][▼] で「BS チャンネル」を選び、[◀][▶] でチャンネルを変更する

設定後、もう一度「かんたん設置設定」をやり直すか(➜23)、「マニュアルチャンネル設定」(➜28)でチャンネルを設定し直してください。

その他の設定について

左記の手順 5 のあと

6 [▲][▼] で設定する項目を選び、[◀][▶] で設定する

ウェザーポジション
画面上に細かいノイズが現れた場合、「オン」にするとノイズをおさえます。

BS システム
通常は「デコーダー(自動)」にしてください。
独立音声※の放送(有料)を楽しむ場合は、「デコーダー(入)」に設定し、デコーダー側で音声を切り換えてください。
※ BS 放送の音声には、テレビ音声と独立音声の2つからなる A モードと、音楽番組などで使われる高音質のテレビ音声のみの B モード [受信時、情報表示画面(➜47)に“B”と表示] があります。独立音声放送は、A モードを使った音声のみの放送です。

前の画面に戻るには➜ を押す
設定を終了するには➜ 戻る を数回押す

録画について

録画するディスクについて

- **本機では、HDDまたはDVD-RAM以外のディスクに直接録画することはできません。DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、＋Rは、HDDに録画した番組をダビングする際にご使用ください。**
- ディスクに残量があるかぎり、自動的に未記録の部分に記録を行いますので、ビデオテープのように未記録部分を探す必要がありません。上書きは行いませんので、不要な番組がある場合は消去(➜51)してください。

デジタル放送を録画するときは

HDD、または CPRM 対応の DVD-RAM を使用してください。録画後は、HDD から、CPRM 対応の DVD-RAM または DVD-R(VR 方式)へ移動のみできます。**(詳しくは ➜10)**

1枚のディスクに記録できる番組数
HDD 最大500番組
（長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます。）
RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) 最大99番組
+R 最大49番組

録画
HDD DVD-RAM

テレビ番組を直接録画できます

直接録画できません
DVD-R DVD-R DL
DVD-RW +R

一度 HDD に録画してからダビングして記録してください

録画の画質と時間について(録画モード)

録画モード ＼ ディスク	HDD (内蔵) (200GB)	DVD-RAM 片面 (4.7GB)	DVD-RAM 両面※1 (9.4GB)	DVD-R※3/DVD-RW※3/+R※3 (4.7GB)	DVD-R DL※3 (8.5GB)
XP (高画質)	約 44 時間	約 1 時間	約 2 時間	約 1 時間	約 1 時間 45 分
SP (標準)	約 89 時間	約 2 時間	約 4 時間	約 2 時間	約 3 時間 35 分
LP (長時間)	約 177 時間	約 4 時間	約 8 時間	約 4 時間	約 7 時間 10 分
EP (長時間)	約 355 時間 (約 266 時間※2)	約 8 時間 (約 6 時間※2)	約 16 時間 (約 12 時間※2)	約 8 時間 (約 6 時間※2)	約 14 時間 20 分 (約 10 時間 45 分※2)
FR (自動調整)	最大 約 355 時間	最大 約 8 時間	片面あたり 最大 約 8 時間	最大 約 8 時間	最大 約 14 時間 20 分

左記の表の数値はめやすです。
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式：VBR)を採用しているため、残量表示と実際に録画できる時間が異なることがあります。(HDD と DVD-R DL では、特にその差が著しくなります。)残量に余裕がある状態で録画してください。

※1 両面の連続再生･録画はできません。
※2 **初期設定**「EP時の記録時間」(➜75)で設定できます。
- EPモードの音質は「EP(6H)モード」の方が高音質です。
- RAM EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6H)モードで録画してください。

※3 DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R に直接録画することはできません。表はダビングでの記録時間です。

XP(高画質録画)～EP(長時間録画)

録画モードを高画質にするほど、録画番組の画質は向上しますが、ディスクの容量を多く使い、記録できる時間は少なくなります。

例） 1時間番組を 4.7GB ディスクに録画した場合

FR（フレキシブルレコーディング）

ディスクの残量に合わせて XP ～ EP(8H)の間で画質を自動調整します。HDD 録画時に選ぶと、4.7 GBのディスクにぴったりダビングができるように調整します。

例）使いかけのディスクに 1 時間番組を FR 録画すると…

ぴったり録画や予約録画、ダビング時にのみ設定できます。

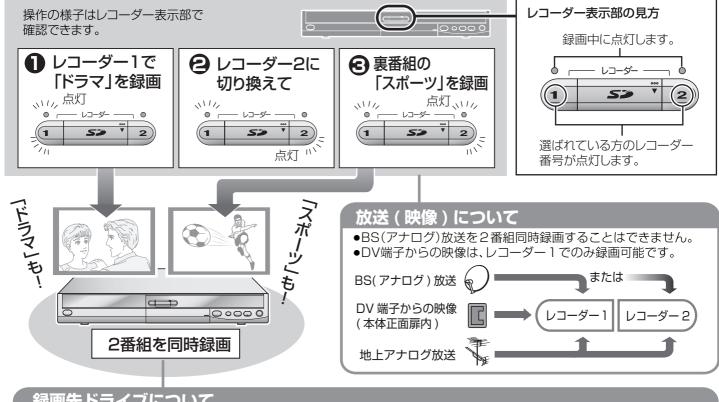
録画について（つづき）

どっちも録りについて

本機では、「レコーダー１」と「レコーダー２」を使って２番組を同時に録画することができます。(➜92「レコーダー１、レコーダー２」)

2 番組同時録画の例

放送（映像）について

- BS(アナログ)放送を２番組同時録画することはできません。
- DV端子からの映像は、レコーダー１でのみ録画可能です。

録画先ドライブについて

HDD に 2 番組、あるいは HDD に 1 番組、DVD-RAM に 1 番組を録画することができます。

- DVD-RAMに2番組を同時に録画することはできません。
- **HDDまたはDVD-RAM以外のディスクに直接録画することはできません。(➜31)**

高速ダビング中は 1 番組のみ録画可能です。(ただし、おまかせダビング、ファイナライズを含むダビングの場合は録画できません。)
1 倍速でのダビングを実行中は、録画できません。

番組にかかる制限について

HDD RAM

16:9 映像の番組

➡ 4：3 映像で記録します。

海外ドラマなどの二重放送

➡ ● **本機内蔵チューナーで録画する場合**
主、副音声のどちらか一方のみ記録します。
初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」または「副音声」を選ぶ(➜76)

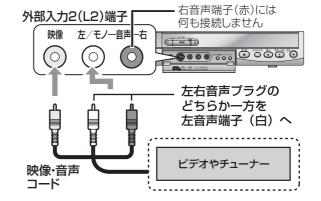
● **デジタルチューナーなど外部機器から録画する場合**
主、副音声のどちらか一方のみ記録してください。両音声を記録すると、再生時、音声が混ざって聞こえます。
接続した機器側で「主音声」または「副音声」を選ぶ(選べない場合は ➜ 右記)

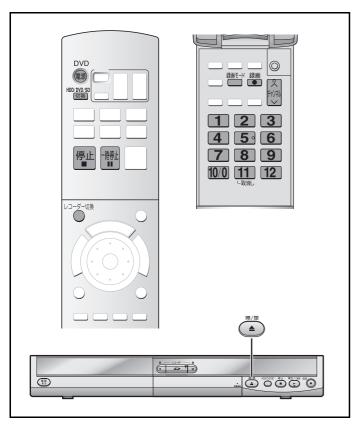
上記の制限をかけずに録画するには※

➡ **初期設定「高速ダビング用録画」を「切」に設定する(➜75)**
二重放送を外部機器から録画する場合、接続した機器で「主／副音声」が両方出力されるように設定してください。(本機内蔵チューナーで録画する場合は操作の必要はありません。)
主、副音声が両方記録され、再生時に選ぶことができます。

※ 録画後、DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、＋ R にダビングする予定の場合、この操作は行わないことをおすすめします。
– 高速でダビングできなくなります。(1 倍速でダビング)
– **(外部機器からの録画の場合)主、副両音声を記録した番組をダビングすると、ディスクに両音声とも記録され、ディスク再生時、両方の音声が聞こえます。**

接続した機器側で「主音声」「副音声」を選べない場合は

➡ **ビデオや各種チューナーからの映像・音声プラグを本機前面の L2 端子へ接続しなおす**

- 左右の音声プラグからそれぞれ主または副音声が出力されます。接続後、記録したい音声が出るか確認してください。
- L2端子以外の端子で上記接続を行うと、再生時、片方のスピーカーからしか音声が出ません。

録画する

HDD RAM

見ている番組を録画する

準備 ●テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
●[DVD 電源] を押して、本機の電源を入れる。

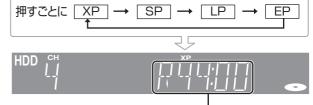
1 HDD/DVD/SD 切換 を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ

選択された ドライブ名が本体表示窓に点灯します。
例) HDD

「DVD」を選んだとき
➡ **本体の[▲開/閉]を押してトレイを開き、DVD-RAM ディスクを入れる(➜14)**
もう一度押すとトレイが閉まります。
フォーマット確認画面が表示されたら(➜71)

2 チャンネル (ふた内部)または 1 ～ 12 を押して 録画したいチャンネルを選ぶ

- [1]～[12]は、市外局番チャンネル設定一覧(➜86)に記載されているチャンネルポジション1～12の放送局を選ぶことができます。
- BS(アナログ)チャンネルは [∧∨ **チャンネル**] (ふた内部)を押して選んでください。

3 録画モード を押して録画モードを選ぶ

残量(「R」: Remain、「44:00」: 44時間)

- 録画モードを「XP」で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。(➜76「記録音声モードの設定[XP時]」)
- 「DVD」選択時に表示される残量は本機におけるものです。他の機器では表示が異なることがあります。

4 録画 を押して録画を始める

- 本体表示窓に経過時間が表示されます。
- 録画中にチャンネルや録画モードを変えることはできません。(一時停止中は変えることができますが、別番組として録画されます。)
- 番組表(Gガイド)(➜37)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。(3分以上録画した番組のみ)

一時停止するには

➡ 一時停止 を押す

もう一度押すと録画を続けます。[**録画●**] を押しても再開できます。(番組は分割されません。)

録画を止めるには

➡ 停止 を押す

停止した位置までが1番組になります。

2番組を同時に録画する

一方のレコーダーで録画中に、

レコーダー切換 を押してレコーダーを切り換える

例) レコーダー1で録画中に、レコーダー2に切り換え

点灯

以下、左記「見ている番組を録画する」の手順を行ってください。

一時停止するには

➡ 1. レコーダー切換 で録画中のレコーダーを選び、HDD/DVD/SD 切換 で録画先ドライブを選ぶ

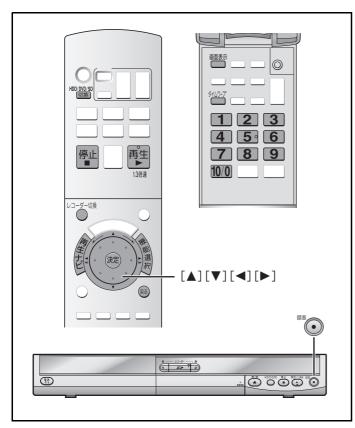
2. 一時停止 を押す

録画を止めるには

➡ 1. レコーダー切換 で録画中のレコーダーを選び、HDD/DVD/SD 切換 で録画先ドライブを選ぶ

2. 停止 を押す

録る

録画について(つづき)/録画する

HDD RAM

録画の終了時刻を指定する(終了時刻予約録画)

1 [レコーダー切換] で録画中のレコーダーを選び、[HDD/DVD/SD 切換] で録画先ドライブを選ぶ

2 本体の [録画] を押す

押すごとに30分単位で録画終了時刻が変わります。
OFF--:--→30 分後 →60 分後 →90 分後 →120 分後

録画を止めるには

➡ 1. [レコーダー切換] で録画中のレコーダーを選び、[HDD/DVD/SD 切換] で録画先ドライブを選ぶ

2. [停止■] を押す

お知らせ

- リモコンの[録画●]では働きません。
- ぴったり録画中(➜右記)や予約録画中は指定できません。
- 終了時刻の設定を取消すには、"OFF--:--"を選びます。(録画は続きます。)
- 録画を一時停止し、チャンネルや録画モードを変更すると、録画終了時刻の設定は解除されます。
- 録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源が切れます。

ディスクの残量に合わせて録画する

ぴったり録画

設定した時間に合わせて自動的に最適な画質(➜31「FR(フレキシブルレコーディング)」)で録画できます。

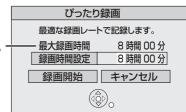
- 1番組を録画中に、もう一方のレコーダーでぴったり録画はできません。(ぴったり録画中に2番組目を録画することはできます。ただし両方をHDDに録画する場合、HDDの残量が少ないと、ぴったり録画は指定した時間まで録画されないことがあります。)
- 外部入力自動録画(➜43)には働きません。

準備
- [HDD/DVD/SD 切換] を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ。
- 録画したいチャンネルまたは外部入力を選ぶ。
- DVDに録画する場合は、DVD-RAM ディスクを入れる。(フォーマット確認画面が表示されたら ➜71)

1 停止中に、[機能選択] を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼] で「ぴったり録画」を選び、(決定) を押す

最大録画時間
EP(8H)モードで計算した残量時間です。

4 [◀][▶] で"時間"または"分"を選び、[▲][▼] で録画時間を設定する

- [1]～[10/0] も使えます。
- 8時間を超えて設定することはできません。

5 [▲][▼][◀][▶] で「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で (決定) を押す

すべて点灯

録画せずに画面を消すには➡ (戻る) を押す

録画を止めるには

➡ 1. [レコーダー切換] で録画中のレコーダーを選び、[HDD/DVD/SD 切換] で録画先ドライブを選ぶ

2. [停止■] を押す

録画の残り時間を確認するには

➡ 1. [レコーダー切換] で録画中のレコーダーを選び、[HDD/DVD/SD 切換] で録画先ドライブを選ぶ

2. [画面表示] を押す

例) HDD

録画の残り時間

録画しながら再生する

HDD RAM

本機では、録画を続けながら、録画中の番組や録画済の番組を再生することができます。
再生中は、レコーダーを切り換えることはできません。

録画中の番組を頭から見る(追っかけ再生)

録画を続けながら、番組の先頭から再生します。

1 レコーダー切換 で録画中のレコーダーを選び、HDD/DVD/SD 切換 で、録画先ドライブを選ぶ

2 再生▶ 1.3倍速 を押す

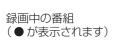
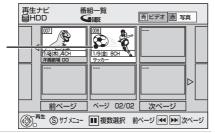
録画中に他の録画済みの番組を見る(同時録画再生)

録画を続けながら、すでに録画してある別番組を再生します。

1 HDD/DVD/SD 切換 を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

2 を押す

録画中の番組
(● が表示されます)

3 [▲][▼][◀][▶]で番組を選び、決定 を押す

番組一覧を消すには

➡ 再生ナビ を押す

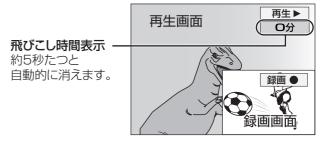
録画中の番組を戻して見る(タイムワープ)

録画を続けながら、録画中や録画済みの番組を2画面で見ることができます。さらに、見たい場面を指定することができます。

1 レコーダー切換 で録画中のレコーダーを選び、HDD/DVD/SD 切換 で録画先ドライブを選ぶ

2 タイムワープ を押す

- 録画中の番組の30秒前の映像を再生します。
- 音声は再生画面のものです。

飛びこし時間表示
約5秒たつと
自動的に消えます。

3 [▲][▼]で飛びこす時間を設定し、決定 を押す

[▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)送り[▲]、戻し[▼]します。

録画中の画面(子画面)を入/切するには

➡ タイムワープ を押す

再生を止めるには

➡ 停止 ■ を押す

録画を止めるには

➡ 再生停止後、約2秒待って
1. (ドライブを切り換えて再生していた場合)
HDD/DVD/SD 切換 を押して、
録画中のドライブ(「HDD」または「DVD」)を選ぶ。
2. 停止 ■ を押す

予約録画を止めるには(➜39)

予約録画する

予約録画について

1ヶ月以内の番組を64番組まで予約できます。[毎日·毎週予約(➜ **下記**)は1番組として数えます。]

3通りの予約方法があります

番組表(Gガイド)を使って予約(➜37)

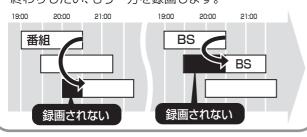
Gコード®を使って予約(➜38)

録画時間を指定して予約(➜39)
録画日、録画時間などを手動で設定する予約方法です。

2番組同時録画(どっちも録り)が可能です

予約時にレコーダー1、2 を指定する必要はありません。本機が自動的に振り分けて録画します。
ただし、BS放送を2番組同時に録画することはできません。**(どっちも録りについて詳しくは ➜32)**

予約の重複について

- 同じ時間帯に3番組以上予約されている場合、開始時刻の早い2番組が録画されます。一方の録画が終わりしだい、3番組目が途中から録画されます。
- BS放送の予約が重複している場合は、一方の録画が終わりしだい、もう一方を録画します。

録画先ドライブは自動的にHDDが選ばれます

以下のような場合、録画先が「DVD」の予約番組は、自動的に録画先を「HDD」に変更して録画されます。

– ディスク残量が足りない場合(トレイにディスクがない場合や録画できないディスクが入っている場合も含む)
– 高速ダビング中に予約録画が実行された場合
– 番組の予約時間が2つ重なっている場合(開始時刻の遅い番組がHDDへ録画先変更)

- リリーフ録画された番組には、「HDD」の再生ナビ画面(➜44)で"↱"が表示されます。
- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

予約録画の便利機能

毎日·毎週録画と自動更新(オートリニューアル)録画について

連続ドラマなどを予約するとき、**毎日·毎週予約を設定**※すると、次回からの放送を自動的に録画することができます。このとき、次回放送分を前回放送分に上書きする設定が、**自動更新(オートリニューアル)録画**です。自動更新(オートリニューアル)録画は、HDDに録画する場合のみ設定できます。

※番組表(Gガイド)での予約は37ページ手順**3**で設定
Gコード®やマニュアル予約は38、39ページ手順**3**で設定

例)連続ドラマを毎週予約しておくと…
第二回、三回と、自動的に録画されていきます。

さらに自動更新(オートリニューアル)録画を設定しておくと…
常に最新のドラマだけが残り、その都度消去する手間が省けるとともに、HDDの容量を効率よく使えます。

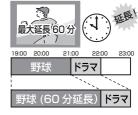
第二回録画時に第一回に上書きします　　第三回録画時に第二回に上書きします

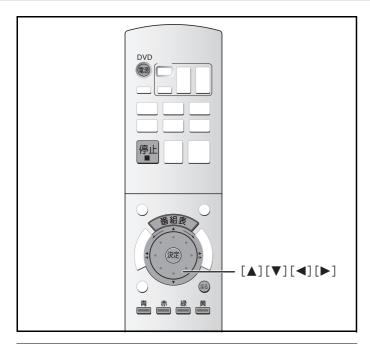
予約番組の放送時間変更に対応(番組追従と野球延長)

本機では、予約時の放送時間と、実際の放送時間が違ったときでも、自動的に録画時間を修正します。
放送時間変更の理由により、以下の2通りの機能があります。

番組追従機能(➜41)

ドラマを毎週予約していたが、時間変更や、最終回だけ30分拡張版だった場合などに働きます。

野球延長対応機能(➜41)

スポーツ中継が延長された。またはそれによって、後続の番組の開始時間が遅れた場合などに働きます。

- 予約録画待機中でも、再生や録画をお楽しみいただけます。予約時刻になると、予約録画が実行されます。
- 高速ダビング中は1番組のみ予約録画が可能です。(ただし、ファイナライズを含むダビングの場合は予約録画できません。)
1倍速でのダビングを実行中は、予約録画できません。
- 電源の切/入にかかわらず予約録画は実行されます。
- 電源が入った状態で予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。予約録画中に電源を切ることはできます。予約録画に影響はありません。
- 複数の予約が連続しているときは、番組の始まりが数十秒録画されないことがあります。

番組表(G ガイド)を使って予約録画する

HDD RAM

予約したい番組を、番組表(G ガイド)から選ぶだけで予約できます。また、毎週予約もワンタッチで設定することができます。

番組表(Gガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。**(詳しくは➜24)**

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 1 など)
- **[DVD 電源]** を押して、本機の電源を入れる。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(**➜27「時刻を合わせ直す」**)
- DVDに録画する場合は、DVD-RAM ディスクを入れる。**(フォーマット確認画面が表示されたら ➜71)**

1 番組表 を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で予約したい番組を選び、決定 を押す

予約内容を確認してください。

- 番組名には"GG"(Gガイド)が付きます。
  [N (ニュース)などの特殊な文字は入りません。]
- 「録画先」は自動的に「HDD」が選ばれます。
- 録画モードは操作前に選ばれていたモードに設定されます。ただし、「XP」に設定していた場合は、残量不足による録画の失敗を防ぐために、録画モードは自動で「FR」に設定されます。「XP」で録画する場合は、録画モードを変更してください。**(➜手順 *3*「予約内容を変更するには」)**

3 [◀][▶] で「予約登録」または「毎週予約」を選び、決定 を押す

「毎週予約」を選ぶと、予約番組を毎週録画することができます。

予約内容を変更するには

➡ 1 **[▲][▼][◀][▶]で「詳細設定」を選び、[決定]を押す**

2 **[◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で予約内容を設定する**
毎日·毎週予約、自動更新(オートリニューアル)録画の設定の仕方や、詳しい操作は39ページ「録画時間を指定して予約録画する」の手順 ***3*** をご覧ください。

3 **設定が終了したら、[決定]を押す**

- 番組表(Gガイド)上で、予約した番組に"予"が表示され、予約待機状態になります。

- 続けて予約する場合は手順 **2** へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます。)

番組表(G ガイド)上でのワンタッチ操作

別の日の番組表(G ガイド)を見る

➡ 青 (前日)または 赤 (翌日)を押す

一画面に表示されるチャンネル数を変更する

➡ 黄 を押す
押すごとに3、5、7チャンネル表示に変わります。

番組の詳しい内容を見る

➡ 番組を選び、緑 (番組内容)を押す

選んだチャンネルに切り換えてテレビを見る

➡ 停止 を押す
録画中は、録画チャンネル以外に切り換えることはできません。

前の画面に戻るには➡ 戻る を押す

番組表(G ガイド)を消すには➡ を押す

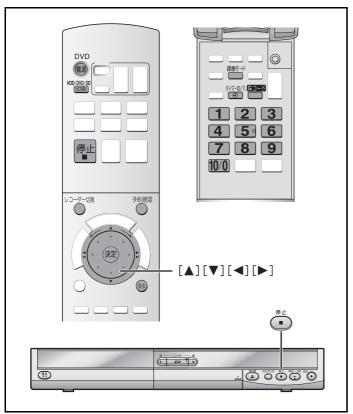
予約録画を止めるには(➜39)

予約を取消すには

➡ 1 番組表(G ガイド)上で、**[▲][▼][◀][▶]**で"予"が付いている番組を選び、決定 を押す

2 **[◀][▶]**で「予約取消し」を選び、決定 を押す
"予"が消えます。

予約の確認、修正をするには(➜42)

録る

予約録画する

HDD RAM

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- [DVD 電源] を押して、本機の電源を入れる。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(**➜27「時刻を合わせ直す」**)
- DVDに録画する場合は、DVD-RAM ディスクを入れる。(**フォーマット確認画面が表示されたら ➜71**)

G コード® を使って予約録画する

テレビ番組欄に記載されている数字を入力するだけで予約できます。

1 [Gコード] を押す

2 [1] ～ [10/0] で G コード® を入力する

G コード® を間違えたときは

➡ [◀] で戻り、再度入力する

3 [決定] を押す

予約内容を確認してください。

- 「録画先」は自動的に「HDD」が選ばれます。
- 録画モードは操作前に選ばれていたモードに設定されます。ただし、「XP」に設定していた場合は、残量不足による録画の失敗を防ぐために、録画モードは自動で「FR」に設定されます。「XP」で録画する場合は、録画モードを変更してください。(**➜下記「予約内容を変更するには」**)

「CH」の項目が「G −−」となっているときは

➡ **ガイドチャンネルが正しく設定されていません。[▲][▼] で予約したいチャンネルに合わせてください。(➜86)**
予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。

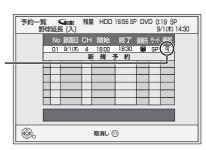
番組名を入力するには

➡ **[◀][▶] で「番組名入力」を選び、[決定] を押す**
- 文字入力については(**➜73**)
- 入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を3分以上録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。

予約内容を変更するには

➡ **[◀][▶] で項目を選び、[▲][▼] で予約内容を設定する**
毎日·毎週予約、自動更新(オートリニューアル)録画の設定の仕方や、詳しい操作は 39 ページ「録画時間を指定して予約録画する」の手順 *3* をご覧ください。

4 [決定] を押す

「可」が表示されていないときは
ディスクの残量などを確認してください。
(**➜42**)

続けて予約する場合は手順 *1* へ戻ります。

5 [タイマー切/入] を押す

予約待機状態になります。

点灯

本体表示窓

SP 19:00

画面を消すには➡ [戻る] を数回押す

予約録画を止めるには(**➜39**)

予約の確認、取消し、修正をするには(**➜42**)

録画時間を指定して予約録画する（マニュアル予約）

予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

1 予約確認 を押す

2 [▲][▼]で「新規予約」を選び、決定 を押す

残量: 録画先が"DVD"で残量が足りない場合は、自動的にHDDに録画されます。[リリーフ(代替)録画➔36]

3 [◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で予約内容を設定する

[1] ～ [10/0] でも選べます

「開始」「終了」は [▲] または [▼] を押したままにすると 30 分単位で変更できます。

[HDD/DVD/SD 切換] でも選べます

[録画モード] でも選べます

毎日･毎週予約を設定すると表示されます。(➔ 下記)

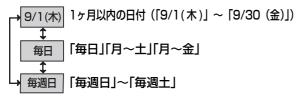
番組名を入力するには

➡ [◀][▶] で「番組名入力」を選び、[決定] を押す

- 文字入力については(➔73)
- 入力しなくても、番組表(Gガイド)に放送内容がある番組を3分以上録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。

録画を毎日･毎週予約(➔36)するには

➡ [◀][▶] で「録画日」を選び、[▲][▼] で「毎日」または「毎週」に設定する

([▲][▼] を押すたびに)

録画を自動更新(オートリニューアル)(➔36)するには HDD (「毎日」･「毎週」予約の場合のみ)

➡ [◀][▶] で「更新」を選び、[▲][▼] で「入」に設定する

- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中やダビング中は上書きされません。(別番組として録画され、次回からそれが上書きされます。)
- 番組が上書きされると、元の番組から作られたプレイリスト(➔54)も消去されます。
- HDDの残量が少ないと番組の最後まで上書きされないことがあります。

4 決定 を押す

「可」が表示されていないときはディスクの残量などを確認してください。(➔42)

続けて予約する場合は手順 **2** へ戻ります。

5 タイマー切/入 を押す

予約待機状態になります。

前の画面に戻るには➡ 戻る を押す

画面を消すには➡ 戻る を数回押す

予約録画を止めるには(➔ 下記)

予約の確認、取消し、修正をするには(➔42)

予約録画を止める

1 番組を録画中の場合 / 2 番組を同時録画中に、両方の録画を止める場合

タイマー切/入 を押す

または本体の 停止 を 3 秒以上押したままにする

本体表示窓の"⏲"が消灯します。

- 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[⏲**タイマー切/入**]を押すと予約録画が再開されます。
- "⏲"が消灯した状態では予約録画は始まりません。

2 番組を同時録画中に、一方のみを止める場合

1 レコーダー切換 で録画中のレコーダーを選び、HDD/DVD/SD 切換 で録画先ドライブを選ぶ

2 停止 を押す

3 [◀][▶]で「はい」を選び、決定 を押す

録画を止めるとともに、予約を消去します。(毎日・毎週予約は残り、次回から予約録画が実行されます。)

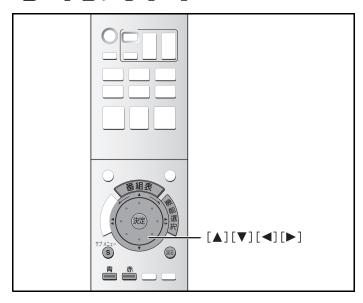
予約待機を解除する

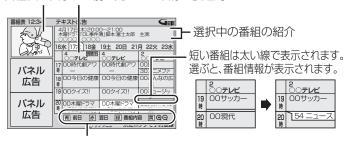
タイマー切/入 を押す

または本体の 停止 を 3 秒以上押したままにする

本体表示窓の"⏲"が消灯します。

- もう一度[⏲**タイマー切/入**]を押すと予約録画の待機状態に戻ります。("⏲"が表示)
- 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。

予約録画する(つづき)

番組表(G ガイド)の見方と便利な機能

番組表を表示する前に見ていた映像と放送局※

リモコンボタンの働き
(詳しくは➜37「番組表(Gガイド)上でのワンタッチ操作」)

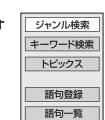
※番組表を表示する前に見ていた放送局は、一番左に追加表示されます。そのため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。

ジャンル / キーワードで番組を探して予約する / トピックス(映画・音楽・スポーツなどのかんたんな情報)を見る

ジャンル検索:「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルから番組を検索します。

キーワード検索:登録した語句(最大登録数:8)で番組を検索します。

トピックス:今夜の見所など、番組に関する情報を見ます。トピックスから番組予約はできません。

1 番組表(G ガイド)上で、サブ メニュー Ⓢ を押す

ジャンル検索
キーワード検索
トピックス
語句登録
語句一覧

2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す

例) ジャンル検索

3 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す

「ジャンル検索」の場合は、さらに [▲][▼]で項目を選び [決定] を押します。

「キーワード検索」の「新規登録」を選んだ場合は
➡ 73 ページ「文字入力」に進み、キーワードを入力する

番組の検索結果が表示されます。
例)ジャンル検索結果

別の日の検索結果を表示するには
➡ [青](前日)または [赤](翌日)を押す

4 [▲][▼]で予約したい番組を選び、決定 を押す
(➜37 手順 *3* へ)

機能選択画面から行うこともできます

➡ 停止中に 機能選択 を押したあと、[▲][▼]で「番組表の検索」を選び、決定 を押す
(➜ 左記の手順 *2* へ)

ジャンル検索
キーワード検索
トピックス

前の画面に戻るには

➡ 戻る を押す

番組表(G ガイド)を消すには

➡ 番組表 を押す

語句を登録する / 登録語句を消去する

番組表(Gガイド)上の語句を語句一覧に登録しておくと、文字入力やキーワード検索のときに呼び出すことができ、便利です。

語句を登録するには

1 番組表(Gガイド)上で、[▲][▼][◀][▶]で登録したい語句が表示されている番組を選び、サブ メニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で「語句登録」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼][◀][▶] で登録開始文字を選び、決定 を押す

4 [▲][▼][◀][▶] で登録終了文字を選び、決定 を押す

5 [◀] で「登録」を選び、決定 を押す

登録できる語句数:20 個まで
登録できる文字数(1 個あたり)
半角: 登録開始文字から 20 文字
その他: 登録開始文字から 10 文字

登録語句を消去するには

1 番組表上で、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で「語句一覧」を選び、(決定)を押す
登録語句が一覧表示されます。

3 [▲][▼][◀][▶]で消去したい語句を選び、サブメニュー(S)を押す

4 「語句消去」を選び、(決定)を押す

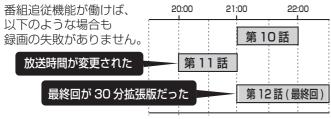
5 [◀]で「消去」を選び、(決定)を押す

前の画面に戻るには➡ (戻る) を押す
番組表(G ガイド)を消すには➡ (番組表) を押す

番組追従機能

番組表から予約した番組にのみ働きます。

予約後に番組の放送時間が変わっても、録画開始までにその変更が反映されている番組表データを受信すれば、番組追従機能が働き、録画の失敗を防ぎます。
番組追従機能は、予約時の番組名をもとに番組を検索し、録画時間を自動的に変更します。

この機能は、番組を毎日·毎週予約した場合など特に便利です。
例)上記のドラマを毎週予約した場合

予約番組が番組追従されるかどうか確認するには

➡ 予約一覧画面で確認してください。番組追従機能の対象番組には、番組名欄に[追従]が表示されます。(➜42)

番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は

➡ 変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。(➜36「予約の重複について」)

お知らせ

- 「CH」「開始」「終了」を変更した番組、または「番組名」をすべて消去した番組には働きません。
- 「番組名」を著しく変更した場合、変更後の番組名で番組を検索しますので、正しく働かない場合があります。
- 放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。
- 番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては正しく働かない場合があります。

番組追従機能を無効にするには

➡ **初期設定**「番組追従」を「切」に設定する(➜75)
「切」にした場合、すでに予約した番組に対しても番組追従は働きません。(予約登録時の設定ではなく、予約録画開始時点での設定が有効になります。)

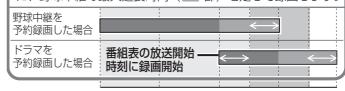
野球延長対応機能

番組表から予約した番組だけでなく、Gコードやマニュアルで予約した番組に対しても働きます。[マニュアル予約の場合、予約時間内に対象番組(またはその一部)が含まれている場合に働きます。]

「スポーツ中継の延長によって予約番組の放送開始時間が遅れ、最後まで録画できなかった。」野球延長対応機能は、自動的に録画時間を延長することで、このような録画の失敗を防ぎます。
この機能は番組表のデータを読み取り、延長情報(「最大22時まで延長」などの延長に関係する言葉)を検出することで実現しています。

野球延長対応機能が働く条件

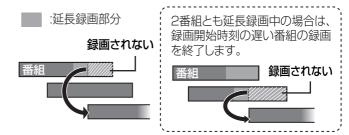
19時から21時までの間に放送される野球やサッカーなどのスポーツ番組が番組表に延長情報を含む場合、同じチャンネルの翌朝5時までの番組を自動的に延長録画します。

例)延長情報を含む野球中継、または同じチャンネルのドラマを予約録画すると…

(←→部は、この場合不要な録画部分となります。)

予約番組が延長録画されるかどうか確認するには

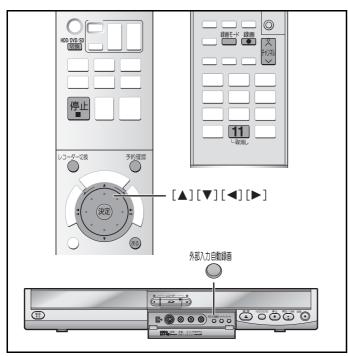
➡ 予約一覧画面で確認してください。野球延長対応機能の対象番組には 延 が表示されます。(➜42)

延長録画によって3番組の予約録画が重なった場合は

➡ 延長録画よりも新たに始まる予約録画を優先します。延長録画は途中で終了します。

お知らせ

- 最大で120分、録画時間を延長します。それ以上の放送延長部分は録画されません。
- 野球延長対応機能が働くと、録画後の番組に不要な録画部分が含まれる場合があります(➜上図)。編集機能でこの箇所を消去できます。(➜53「部分消去」)
- 延長情報に、最大何時まで延長するかの情報が含まれていない場合(例:試合終了まで放送延長の場合など)は、**初期設定**「延長時間」で設定された時間分、録画時間を延長します。(➜75)
- 本機で検出できない言葉を含んでいる場合など、番組表データの内容によっては、延長情報を含んでいても正しく働かない場合があります。

野球延長対応機能を無効にするには

➡ **初期設定**「野球延長」を「切」に設定する(➜75)
「切」にした場合、すでに予約した番組も延長されません。(予約登録時の設定ではなく、予約録画開始時点での設定が有効になります。)

HDD RAM

予約内容を確認する・取消す・修正する

本体の電源が「切」のときでも操作できます。

1 予約確認 を押す

予約状況が絵文字などで表示されます。(➜ 右記「予約一覧画面の絵表示について」)

お知らせ

実行されなかった予約は灰色で表示され、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。

2 [▲][▼]で取消し・修正したい予約内容を選び、決定 を押す

3 予約を取消すには 11(取消し) を押す

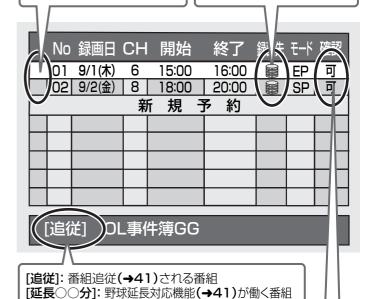
予約を修正するには下記の操作を行う

➡ 1 [◀][▶]で修正したい項目を選び、[▲][▼]で予約内容を修正する
- 予約録画中の番組でも、録画モードが「FR」のときや、延長部分を録画中の場合を除いて、予約終了時刻の変更ができます。
- 毎日・毎週予約、自動更新(オートリニューアル)録画の設定の仕方や、詳しい操作は 39 ページ「録画時間を指定して予約録画する」の手順 *3* をご覧ください。

2 [決定]を押す

前の画面に戻るには➡ 戻る を押す

画面を消すには➡ 戻る を数回押す

予約一覧画面の絵表示について

[追従]: 番組追従(➜41)される番組
[延長○○分]: 野球延長対応機能(➜41)が働く番組
(時間は延長時間)

予約番組が正しく録画されるかどうかは、この欄の表示で確認できます。この欄に何も表示されない予約は、何らかの理由で録画ができない場合があります。

可: 録画が可能な番組
ただし、野球延長対応機能の対象番組は次のような表示になります。
延長可:延長部分を含む録画が可能
本編可:延長部分の一部、または延長部分のすべてが録画されない[HDDの残量が足りない場合や、延長部分の録画時間が他の2つの予約と重複する場合など(➜41)]

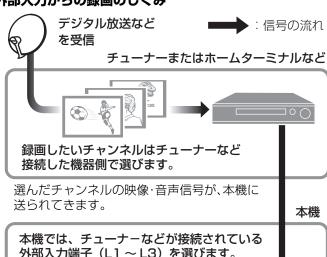
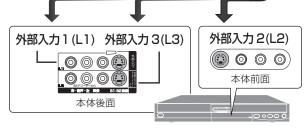
例)19時から21時まで放送の野球中継
(最大延長22時まで)

月/日迄: 毎日・毎週予約で、録画可能な最終日
(最大1ヶ月先まで表示されます。)
代替: HDDにリリーフ(代替)録画(➜36)
重複: 予約時間が3番組以上重複しているため一部録画されない番組
BS重複: BS放送の予約が重複しているため一部録画されない番組

- 録画中は内容が正しく表示されない場合があります。
- 高速ダビング中は、上記の表示がすべて「ー」に置き換わります。ダビング終了後、正しい内容を確認してください。

外部入力からデジタル放送や CATV 放送などを録画する

本機はデジタル放送に対応していません。録画するには、デジタルチューナー内蔵テレビなどと接続してください。(➜16)
●地上･BS･CSデジタルチューナーとの接続は(➜20)
●CATVホームターミナルとの接続は(➜19)

外部入力からの録画のしくみ

これで、外部入力からの映像が本機で受信され、録画することができます。

デジタル放送や CATV 放送を録画する

準備 ●[HDD/DVD/SD切換]を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ。
●本体の外部入力(L1、L3 など)にデジタルチューナー内蔵機器やホームターミナルなどを接続する。(➜16 ～ 20)
●外部入力３(L3)に接続した場合は、**初期設定**「外部入力３の端子設定」(➜76)を「ライン」に設定する。
●DVDに録画する場合は、DVD-RAM ディスクを入れる。(フォーマット確認画面が表示されたら ➜71)

1 [∧∨チャンネル] (ふた内部)で接続した端子 (L1、L3 など) に合わせる

2 [録画モード] で録画モード(➜31)を選ぶ

3 チューナーなど接続した機器側で録画したいチャンネルを選ぶ

4 [録画 ●] を押して録画を始める

録画を止めるには

➡ 1. [レコーダー切換] で録画中のレコーダーを選び、[HDD/DVD/SD 切換] で録画先ドライブを選ぶ

2. を押す

ディスクの残量に合わせて録画するには

➡ ぴったり録画(➜34)

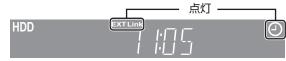
接続した機器と連動して録画する（外部入力自動録画）

HDD RAM

デジタル放送のチューナーなどの予約待機ができる機器を、**外部入力1(L1) に接続する**と、放送と連動させて録画を始めることができます。

準備 ●[HDD/DVD/SD切換]を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ。
●本体の**外部入力1(L1)**に機器を接続する。(➜16～20)
●接続した機器で番組を予約し、待機状態にする。
●DVDに録画する場合は、DVD-RAM ディスクを入れる。(フォーマット確認画面が表示されたら ➜71)

停止中、本体の [外部入力自動録画] を押す

電源が切れ、外部入力自動録画の待機状態になります。接続した機器が予約時間になると、録画が始まります。

●接続した機器の放送開始を検知して録画を開始するため、番組の始まりが最大１分程度録画されないことがあります。
●外部入力自動録画と予約録画は同時に設定できません。
●外部入力自動録画中は、2番組を同時に録画することはできません。
●誤動作防止のため、録画後は本体の[**外部入力自動録画**]を押して設定を解除してください。

外部入力自動録画の待機状態を解除または録画を止めるには

➡ 本体の [外部入力自動録画] をもう一度押す（“EXT Link”と“◷”消灯）

Ir システムを使って録画する

本機は、当社製チューナーまたは、チューナー内蔵テレビの Ir システム(➜93)に対応しています。チューナーなどから予約録画の信号を、本機のリモコン受信部に送ることで、予約録画（連動予約またはタイマー予約）ができます。

Irシステムケーブルの設置例

詳しくはテレビやチューナーなどの説明書をお読みください

1 **本機の外部入力端子(L1、L3など)とチューナーなどの出力端子を接続し、Irシステムケーブルを接続する(➜上記)**
2 **チューナー側でIrシステムの設定を行う**
3 **チューナー側で予約の設定を行う**
4 **予約方法に合わせて、本機の操作と確認を行う**

●連動予約のとき

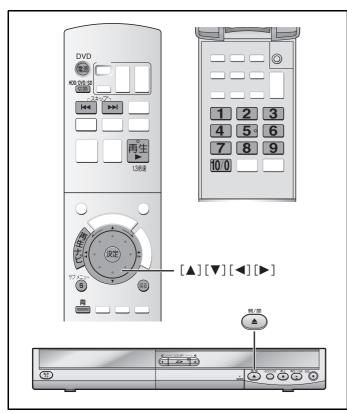
➡ ① 予約待機状態でないことを確認する（表示窓の“◷”消灯）（予約待機状態だと、連動予約が正しく働かない場合があります。）
② [HDD/DVD/SD切換]で録画先ドライブ（「HDD」または「DVD」）を、[**録画モード**] で録画モードを設定する
③ [∧∨**チャンネル**] で接続した外部入力端子(L1、L3)を選び、本機の電源を切る

●タイマー予約のとき

➡ 予約待機状態であることを確認する（表示窓の“◷”点灯）
– 録画先は自動的に「HDD」が選ばれます。
– 録画先･録画モードの変更や、予約内容の確認をするには(➜42)

予約時刻になると録画が実行されます。

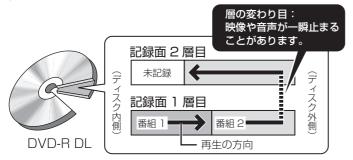
●チューナーなどのIrシステムがDVDレコーダーに対応していることをご確認ください。
● Irシステムの設置、設定操作はチューナーなどの説明書をご覧ください。
●外部入力自動録画待機中はIr予約を受け付けません。

再生する

再生時にレコーダー1，2を指定する必要はありません

どちらで録画したかに関わらず、録画を開始した順に記録されます。

DVD-R DL(片面 2 層)ディスクを再生するとき

DVD-R DL(片面 2 層)ディスクは、下図のように、記録面が片面に 2 層あります。1層目に収まりきらなかった番組は、引き続き 2 層目に記録され、2 つの層にまたがって記録されます。(➜ 下図「番組 2」)

このような番組を再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

お知らせ

- 録画中でも再生できます。(「HDD」または「DVD」ドライブを切り換えて再生することもできます。)
- 誤消去防止(プロテクト)(➜70)を設定しているカートリッジ付きディスクを入れると、自動的に再生が始まります。
- ディスクによっては、メニュー画面や映像·音声が出るまで時間がかかることがあります。
- **映像が縦に引き伸ばされていたら**

以下のように録画した場合、16:9映像は4:3映像で記録されます。

–HDD、DVD-RAM に、**初期設定**「高速ダビング用録画」(➜75)を「入」にして録画した場合(お買い上げ時の設定は「入」です。)

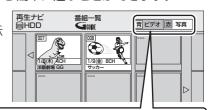
–DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R にダビングした場合

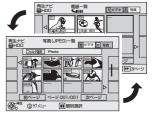
テレビ側の画面モードで変更できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

録画した番組を選んで再生する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

録画した番組を一覧表から簡単に選ぶことができます。

再生ナビ画面
録画した番組が一覧表示されます。

HDD RAM

録画した番組のほかに、SDカードなどからダビングした写真も、再生ナビ画面に別管理されています。
それぞれを再生するには画面の切換が必要です。

写真一覧画面(写真を再生するには ➜48)

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 1 など)
- [DVD 電源] を押して、本機の電源を入れる。

1 HDD/DVD/SD 切換 を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

選択されたドライブ名が本体表示窓に点灯します。

例）HDD

[DVD]を選んだとき

➡ **本体の[▲開/閉]を押してトレイを開き、ディスクを入れる(➜14)**
もう一度押すとトレイが閉まります。

2 再生ナビ を押す

例）HDD

HDD RAM

「写真」一覧が表示されていたら

➡ 青 を押して、「ビデオ」一覧に切り換える
サブメニューを使って切り換えることもできます。
(➜45「他の画像一覧に切り換える」)

3 [▲][▼][◀][▶]で番組を選び、決定 を押す

選んだ番組の再生が始まります。

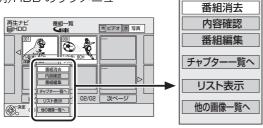
前後のページを表示するには

➡ [|◀◀](前ページ)または [▶▶|](次ページ)を押す

番組一覧を消すには➡ を押す

再生ナビ画面について

再生ナビ画面では、サブメニューを使用して、番組の並べ替えや他の画像への切り換えなどの便利な操作が行えます。

例)HDD のサブメニュー

表示方法を変更する(サムネイル表示 / リスト表示)

➡ 1 再生ナビ画面で サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で「サムネイル表示」または「リスト表示」を選び、決定 を押す

サムネイル表示

リスト表示

項目ごとにリストを並べ替える HDD (リスト表示時のみ)

たくさんの番組の中から再生したい番組を探すときなどに便利です。

➡ 1 再生ナビ画面で サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で「並び替え」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す

- 再生ナビ画面を消したり、「写真」一覧画面に切り換えると取り消されます。
- 「No」以外の項目で並べ替えているときは
  - 選んだ番組の再生が終わると再生ナビ画面に戻ります。(連続再生はできません。)
  - スキップ(➜46)やタイムワープ(➜47)は、再生中の番組内でのみ働きます。

他の画像一覧に切り換える HDD RAM

「ビデオ」または「写真」一覧画面に切り換えることができます。

➡ 1 再生ナビ画面で サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で「他の画像一覧へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「ビデオ」または「写真」を選び、決定 を押す

再生ナビ画面の絵表示について

書き込み禁止(プロテクト)を設定した番組

録画禁止信号により録画できなかった番組(デジタル放送など)

HDD にダビング中の番組やデータが壊れているなど、再生できない番組

録画中の番組

HDD にリリーフ(代替)録画された番組(➜36)

本機で録画した「1 回だけ録画可能」の番組

市販ディスク、または最後に録画した番組を再生する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD CD -RW(VR)

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 1 など)
- [DVD 電源] を押して、本機の電源を入れる。
- [HDD/DVD/SD 切換] を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ。
- 「DVD」を再生する場合は、ディスクを入れる。(➜14)

1.3倍速

で再生を始める

DVD-V DVD-A VCD CD :
ディスクの先頭から再生します。
メニュー画面が表示されたら(➜ 下記)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR) :
最後に録画した番組から再生します。

メニュー画面が表示されたら

➡ 画面表示に従って操作してください。

DVD-V DVD-A
[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、決定 を押す

VCD
1 ~ 10/0 (2ケタ)で項目を選ぶ

例) 5の場合… 10/0 → 5 15の場合… 1 → 5

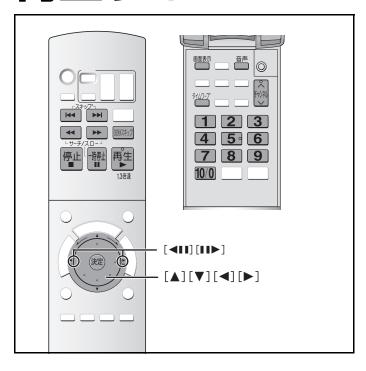
再生の途中でメニュー画面を表示させるには

➡ DVD-V [再生ナビ] または[サブ メニュー] を押す
➡ DVD-A [再生ナビ] を押す
➡ VCD [戻る] を押す

再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作

停止

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD CD -RW(VR)

[停止■]を押す

止めた位置を一時的に記憶します。**(続き再生メモリー機能)**
記憶している間は、本体表示窓の"再生"が点滅します。(再生ナビやプレイリストの画面を表示中は点滅しません。)
"再生"点滅中に **[再生▶]** を押すと、止めた位置から再生します。

- 記憶した位置は、以下の場合解除されます。
  - 数回 **[停止■]** を押す。("再生"の点滅が消えます。)
  - トレイを開ける。(HDD を除く)
  - DVD-A VCD CD 電源を切る。
  - 録画や予約録画を行った場合。("再生"は点滅したままです。)

一時停止(静止画)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD CD -RW(VR)

[一時停止II]を押す

もう一度押す、または **[再生▶]** を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し(サーチ)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD CD -RW(VR)

を押す

- 押すごとに、速度が速くなります(5段階)。
- マルチジョグの左回し / 右回しでも動作します。(CD、ビデオ CD では動作しません。)
- **[再生▶]** で通常再生に戻ります。
- 早送り1速時のみ音声が出ます。[DVDオーディオ(動画部以外)、CD、MP3 ではすべての速度で音声が出ます。]
- ディスクによっては速くならないことがあります。

スキップ

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD CD -RW(VR)

再生中または一時停止中に、[⏮] [⏭](スキップ)を押す

押した回数だけ番組、場面や曲を飛びこして再生します。

ダイレクト再生

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD CD -RW(VR)

[1]〜[10/0]で番組や曲の番号を入力する

停止中(右の画面表示中)のみ働くディスクもあります。

HDDや、MP3、写真(JPEGやTIFF)が入っているディスク:
➡ **3けたで入力** (例:005、015)
DVDオーディオのグループ:
➡ **停止中(上の画面表示中)に1けたで入力**(例:5)
それ以外のディスク、DVDオーディオのトラック:
➡ **2けたで入力**(例:05、15)
プレイバックコントロール(➜93「PBC」)付きビデオCDでは、停止中(上の画面表示中)にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。(本体表示窓の"PBC"が消えます)

早見再生(1.3倍速)

HDD RAM

通常よりも速く再生します。

を約1秒以上押したままにする

- もう一度 **[再生▶]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 早見再生中は、自動 CM 早送り(➜50)は働きません。

スロー再生

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A(動画部) VCD -RW(VR)

一時停止中に、[◀◀] [▶▶](サーチ/スロー)を押す

- 押すごとに、速度が速くなります(5段階)。
- マルチジョグの左回し / 右回しでも動作します。(ビデオ CD では動作しません。)
- **[再生▶]** で通常再生に戻ります。
- ビデオ CD では、送り方向 **[▶▶]** にのみ働きます。
- スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。(DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD は除く)

コマ送り/コマ戻し

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A(動画部) VCD -RW(VR)

一時停止中に、[◀II] [II▶]を押す

- 押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。
- 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。
- **[再生▶]** で通常再生に戻ります。
- ビデオCDは送り方向 **[II▶]** にのみ働きます。

子画面でテレビを見る

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

[タイムワープ]を押す

- 音声は再生画面のものです。
- [**タイムワープ**]をもう一度押すとテレビ画面が消えます。
- [∧∨**チャンネル**](ふた内部)でテレビ画面のチャンネルを切り換えることができます。(録画中は切り換えることができません。)
- 子画面はブルーバック(➜76)にはなりません。

時間を指定して飛びこす(タイムワープ)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

1 [タイムワープ]を押す

2 [▲][▼]で飛びこす時間を設定し、[決定]を押す

[▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)、送り[▲]、戻し[▼]します。

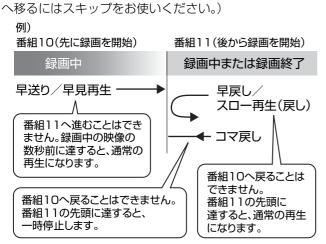
30秒先へスキップする

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

[30秒スキップ]を押す

- 押すごとに、約30秒飛びこして再生します。
- 自動CM早送り(➜50)が働かないときに使うと便利です。

録画しながら再生しているときの早送り、早戻し、早見再生、スロー再生(戻し)、コマ戻しについて HDD

2番組を同時に録画しているとき、先に録画を開始した番組の録画が終了するまで、以下の制約があります。(前後の番組へ移るにはスキップをお使いください。)

音声を切り換える

放送受信時やディスク再生時、二重放送の番組の場合は、自動的に「主」が選ばれます(2カ国語オート再生)。音声を切り換えても、電源を切ると「主」に戻ります。

放送受信時

初期設定「高速ダビング用録画」(➜75)が「入」になっていると、選択しているドライブによっては音声を切り換えることができません。(お買い上げ時の設定は「入」です。)
記録可能なディスクが入っていない状態で「DVD」を選ぶか、「SD」を選んでください。

[音声]を押す

押すたびに、放送の内容によって切り換わります。

例)二重放送 二重L(主)→二重R(副)→二重LR(主+副)

- 次のときは音声を選ぶことができません。
  - 「DVD」選択中、ディスクトレイにDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rが入っているとき
  - 録画モードが「XP」で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」(➜76)が「LPCM」になっているとき
- HDD RAM -R(VR) 録画中に[**音声**]を押しても、記録される音声に影響はありません。

ディスク再生時

HDD RAM -R(VR) DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)

[音声]を押す

押すたびに、収録されている内容によって切り換わります。

HDD RAM -R(VR) VCD -RW(VR)

音声L→音声R→音声LR

DVD-V DVD-A

(➜50「言語」)

音声情報 1日 DD Digital 2/0ch

HDD RAM -R(VR) 二重放送の主、副両音声を録画した場合は、主音声が"L"、副音声が"R"に記録されています。

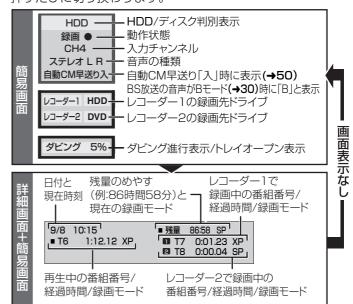
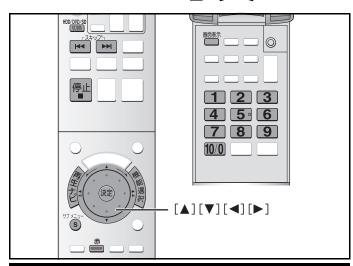
操作の状態を表示する(情報表示)

本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

[画面表示]を押す

押すたびに切り換わります。

見る/聞く

再生する(つづき)

MP3や写真(JPEG/TIFF)を再生する

MP3を再生する

CD

●パソコンなどでMP3を記録したCD-R、CD-RWが再生できます。
●静止画を含むMP3は再生できないことがあります。

準備 ●[HDD/DVD/SD切換]を押して「DVD」を選ぶ。
●ディスクを入れる。(➜14)

MP3と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクを入れると、右図の画面が表示されます。[決定]を押してから、下記手順を行ってください。

1 再生ナビ を押す

G: グループ番号
T: グループ内のトラック番号
トータル: ディスク全体のトラック番号

選んだグループ

フォルダやファイルに付けた名前(S-JIS 第1水準)がそれぞれグループ名、トラック名として表示されます。

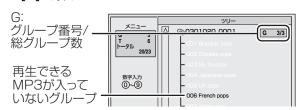
2 [▲][▼]でトラックを選び、決定 を押す

●選んだトラックの再生が始まります。
●[1]~[10/0]でもトラックを選べます。
例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[5]
15の場合…[10/0]→[1]→[5]

前後のページを表示するには
➡ [|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

別のグループを選ぶには
➡ 1 [▶]を押す

G: グループ番号/総グループ数

再生できるMP3が入っていないグループ

2 [▲][▼]でグループを選び、[決定]を押す

停止するには ➡ 停止 を押す

メニュー画面を消すには ➡ 再生ナビ を押す

写真(JPEG/TIFF)を再生する

HDD RAM SD CD

●本機では、8MB~2GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)
●CDは、パソコンなどで写真(JPEG/TIFF)を記録したCD-R、CD-RWが再生可能です。
●録画中やダビング中は写真の再生はできません。

準備 ●[HDD/DVD/SD切換]を押して、再生するドライブを選ぶ。
●必要に応じて、ディスクまたはカードを入れる。(➜14)

CD MP3 と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクを入れると右図の画面が表示されます。[決定]を押すと画面が消えます。下記手順の前に、JPEGメニューを選んでください。
(➜49「JPEG メニューを選ぶ」)

SD カードをスロットに入れると、右記の画面が自動的に表示されます。[▲][▼]で「写真(JPEG)を再生」を選び、[決定]を押すと、下記手順**2**に進むことができます。

SDカードの操作
SDカードが認識されました。
以下の項目を選択してください。
写真(JPEG)を再生
写真(JPEG)をダビング

1 再生ナビ を押す

例) HDD

HDD RAM

「ビデオ」一覧が表示されていたら

➡ 赤 を押して、「写真」一覧に切り換える

サブメニューを使って切り換えることもできます。
(➜45「他の画像一覧に切り換える」)

2 [▲][▼][◀][▶]で写真を選び、決定 を押す

●選んだ写真が画面に表示されます。
●[1] ~ [10/0] でも写真を選べます。
例) 5の場合…[10/0]→[10/0]→[10/0]→[5]
15の場合…[10/0]→[10/0]→[1]→[5]

別のフォルダを選ぶには(➜49)

前後のページを表示するには
➡ [|◀◀](前ページ)または[▶▶|](次ページ)を押す

停止するには ➡ 停止 を押す

●止めた写真位置を一時的に記憶します。
SD CD 電源を切ると記憶した位置は解除されます。

再生中に前後の写真を見るには➡ [◀][▶]を押す

再生ナビ / メニュー画面を消すには➡ 再生ナビ を押す

再生ナビ画面の絵表示について

 書き込み禁止(プロテクト)が設定された写真やフォルダ

 プリント枚数(DPOF)が設定された写真

JPEG メニューを選ぶ

CD

1 停止中に [機能選択] を押す

2 [▲][▼]で「メニュー」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼]で「JPEG メニュー」を選び、(決定) を押す
(➜48「写真(JPEG/TIFF を再生する」手順 2 へ)

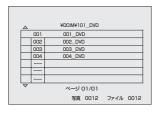
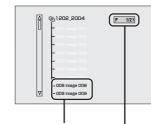
別のフォルダを選ぶには

HDD RAM SD CD

(本機で表示されるフォルダ構造例 ➜92)

1 「写真」一覧画面で、
[▲][▼][◀][▶] で「フォルダ選択」を選び、(決定) を押す

HDD RAM SD

CD

再生できる写真 (JPEG/TIFF) が入っていないフォルダ

F：フォルダ番号 / 総フォルダ数

上位フォルダを切り換えるには RAM SD

(上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ)

➡ 1 **[サブメニュー]**を押す
2 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び、**[決定]** を押す
3 [◀][▶] でフォルダを選び、**[決定]** を押す

2 [▲][▼] でフォルダを選び、(決定) を押す

「公開写真」フォルダについて

ブロードバンドレシーバー(別売:DY-NET2)を接続**(➜18)**し、「写真ポケットサービス」(有料)に登録すると、HDD に自動的に作成されます。パソコンや携帯電話からこの「公開写真」フォルダに写真をインターネット経由で送付したり、また、「公開写真」フォルダ内の写真を外出先からパソコンや携帯電話で閲覧することができます。詳しくは、サポートページをご覧ください。
(http://panasonic.jp/support/bbr/)

写真を連続して再生する(スライドショー)

HDD RAM SD CD

1 「写真」一覧画面で、
[▲][▼][◀][▶]で「フォルダ選択」を選び、サブメニュー (S) を押す

例)HDD

2 [▲][▼] で「スライドショー開始」を選び、(決定) を押す

表示間隔を変えるには

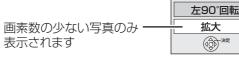
➡ 1 上記手順 **2** で「スライドショーの表示間隔」を選び、(決定) を押す
2 [◀][▶] で表示間隔(0 秒～ 30 秒)を変更し、(決定) を押す

画像を回転、拡大する

HDD RAM SD CD

1 再生中に、サブメニュー (S) を押す

右90°回転
左90°回転
拡大
決定

画素数の少ない写真のみ表示されます

2 [▲][▼] で項目を選び、(決定) を押す

拡大した写真を元に戻すには

➡ サブメニュー (S) を押し、「縮小」を選んで、(決定) を押す

回転を元に戻すには

➡ サブメニュー (S) を押し、逆方向への回転を選んで、(決定) を押す

お知らせ

●回転・拡大の情報は保存されません。
●拡大すると画像の一部が欠ける場合があります。

写真の情報を見る (情報表示)

HDD RAM SD CD

再生中に、[画面表示] を２回押す

例) HDD 撮影日

情報表示を消すには ➡ [画面表示] を押す

再生設定

設定の基本操作

●マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。

1 再生設定 を押す

ディスクにより設定項目は異なります。

2 [▲][▼]で設定したいメニューを選び、[▶]を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で選んで設定する
[決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

設定を終了するには ➡ 再生設定 を押す

ディスク独自の機能を設定する(ディスク)

音声情報※ DVD-V DVD-A
音声や言語を選びます。(➜右記「音声属性/言語」)
● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)
音声属性表示のみ

字幕情報※ DVD-V DVD-A
字幕表示の入 / 切や、言語を選びます。(➜右記「言語」)
● HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)
入/切のみ(字幕の入/切 情報が記録されたディスクのみ。本機では記録していません)

音声チャンネル HDD RAM -R(VR) -RW(VR) VCD
音声(L/R)を切り換えます。

アングル※ DVD-V DVD-A
アングルを選びます。

静止画 DVD-A
静止画の再生方法を選びます。
●スライドショー :決められた順番で再生
●ページ :静止画を選んで再生
・ランダム :順不同に再生
・リターン :決められた静止画を再生

PBC(プレイバックコントロール)(➜93) VCD
PBC付きビデオCDでメニューの入 / 切が確認できます。(変更はできません)

※ディスクに収録されているメニュー画面(➜45)でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法を設定する(再生)

リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
●オール :ディスク全体
●番組 :番組全体
●タイトル :タイトル全体(DVDビデオなど)
●チャプター :チャプター
●プレイリスト :プレイリスト
●グループ :グループ全体
●トラック :トラック

(➜ 右につづく)

自動CM早送り HDD RAM -R(VR) (音声が下記の場合のみ)
CMを飛ばして再生します。

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生 ➜	スキップ	再生 ➜

●早見再生中(➜46)は働きません。
●ビデオからのダビングなど外部入力から録画した番組では働きません。
●設定した内容は電源を切っても保持されます。
●録画内容により、正しく働かないことがあります。
例:上記図のCM部分が5分以上の場合など

お好みの画質を設定する(映像)

画質選択 HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)
映像ディスク再生時の画質を選びます。
●**ノーマル** :標準
●**ソフト**:ざらつきの少ない柔らかな画質
●**ファイン** :輪郭の強調されたくっきりした画質
●**シネマ** :映画鑑賞向け
●**ユーザー** :さらに画質を調整
[▲][▼][◀][▶]で「詳細画質設定」を選び、[決定]を押す
・コントラスト(白黒の強弱)
・ブライトネス(画面全体の明るさ)
・シャープネス(鮮やかさ)
・カラー(色の濃さ)
・ガンマ(暗くて見えにくい映像の輪郭)
・3次元 NR(画面全体のノイズを除去)
・インテグレイティッドDNR(動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正)

MPEG-DNR(画質選択が「ユーザー」以外の場合のみ)
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)
「入」を選ぶと、ノイズや文字周りのもやの補正をします。

プログレッシブ [**初期設定**「接続するTV」で「プログレッシブ(525p)対応」を選んだ場合のみ(➜26)]
プログレッシブ出力を入 / 切します。
●映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード(「プログレッシブ」(➜ 上記)が「入」の場合のみ)
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
●**Auto1** (標準):24コマ/秒のフィルム素材を自動判別
●**Auto2** :Auto1に加えて、30コマ/秒のDVDビデオにも対応
●**Video** :Auto1または Auto2でぶれが生じるとき

外部入力NR(外部入力「L1、L2、L3」を選んでいるときのみ)
テープからのダビング前に設定しておけば、ノイズを減らして高画質で記録します。(ソフトによって映像にぶれが生じることがあります)
●**自動**(標準):テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行うとき
●**入** :テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行うとき
●**切** :映像処理を行わず、入力信号のまま記録するとき

お好みの音声効果を設定する(音声)

サラウンド(アドバンスドサラウンド)
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) (ドルビーデジタル2ch以上の音声のみ)
フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。
●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
●接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
●本機で録音した二重音声には働きません。

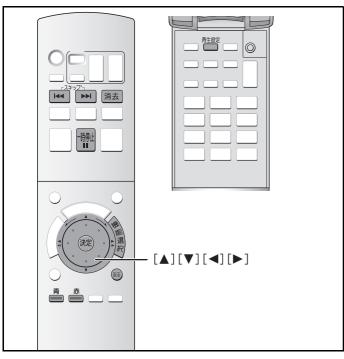
シネマボイス
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) (ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ)
セリフを聞き取りやすくします。

画面表示の位置を設定する(その他)

表示位置
●**1**(標準位置)〜**5**:設定値が大きいほど、画面が下に移動します。

〈音声属性〉
LPCM/PPCM/DDDigital/DTS/MPEG:信号タイプ
ch:チャンネル数 k:サンプリング周波数(kHz) b:ビット数(bit)
〈言語〉

日:日本語	英:英語	仏:フランス語	独:ドイツ語
伊:イタリア語	西:スペイン語	蘭:オランダ語	中:中国語
露:ロシア語	韓:韓国語	＊:その他	

番組や写真を消去する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R SD
(ファイナライズしたディスクではできません。)

消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。
録画中やダビング中は消去できません。

消去後のディスクの残量について

- HDD RAM 記録した番組(または写真)を消去すると、消去した分、ディスク残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます

番組	番組	·····	最後に記録した番組	残量

- -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組	番組	·····	最後に録画した番組	残量

- SD 記録した写真を消去すると、消去した分、カード残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます

写真	写真	·····	最後に記録した写真	残量

- -R(VR) -R(V) -R DL +R 消去しても残量は増えません。

消去ナビを使って消去する

音声ガイドに従って、録画した番組やダビングした写真を、一覧表から簡単に選んで消去することができます。

1 停止中に、機能選択 を押す

2 [▲][▼]で「消去ナビ」を選び、決定 を押す

例)HDD

HDD RAM 他の画像一覧に切り換えるには

➡「ビデオ」一覧を表示するには、青 を押す

「写真」一覧を表示するには、赤 を押す

3 [▲][▼][◀][▶]で、消去する番組または写真を選び、決定 を押す

サブメニューを使って、内容確認などの便利な操作が行えます。
- 「ビデオ」一覧のサブメニュー操作については(➜52手順 3)
- 「写真」一覧のサブメニュー操作については(➜57「写真を編集する」手順 3)

前後のページを表示するには
➡ [|◀◀](前ページ)または [▶▶|](次ページ)を押す

複数の番組または写真をまとめて消去するには
➡ [▲][▼][◀][▶]で番組または写真を選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

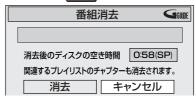
(「写真」一覧のみ)別フォルダの写真を選ぶには(➜49)

4 [◀]で「消去」を選び、決定 を押す

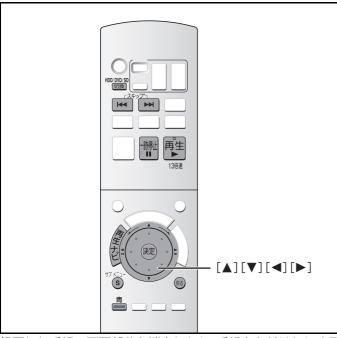
番組または写真が消去されます。

前の画面に戻るには➡ 戻る を押す
画面を消すには➡ 戻る を数回押す
音声ガイドを止めるには
➡ **初期設定**「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜74)

番組または写真を再生中に消去する

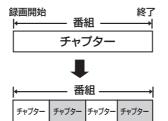
1 番組または写真を再生中に、消去 を押す

2 [◀]で「消去」を選び、決定 を押す

番組または写真が消去されます。

録画した番組を編集する

録画した番組の不要部分を消去したり、番組名を付けたりすることができます。
●ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。ご注意ください。
●録画中やダビング中などは編集できません。

番組 / チャプターについて

番組を録画すると、1 つのチャプターからなる番組として記録されます。

HDD RAM -R(VR)
好みの位置に区切り点を入れることができます。この区切り点で分けられた範囲 1 つ 1 つが 1チャプターとなります。
(➜54「チャプターを作成する」)

最大記録数

番組：

HDD 500

RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) 99

+R 49

チャプター：

HDD (1 番組あたり)約 1000

RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) 約 1000

+R 約 250

(記録状態によって変化します)

●二重放送の番組のCM部分など、自動的に複数のチャプターが作成される場合があります。
● -R(V) -RW(V) +R ファイナライズ(➜72)すると、自動的に約5 分ごとのチャプターが作成されます。
● -R DL ファイナライズしてもチャプターは自動作成されません。高速ダビングした場合のみ、ダビング元のチャプターが複製されます。

DVD-R(VR 方式)の編集について

編集を行うと、その編集情報がディスクに書き込まれます。DVD-R(VR 方式)ディスクでは、一度書き込まれた部分に上書きはされません。編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。
編集は HDD 上で行い、その後 DVD-R(VR 方式)にダビングすることをおすすめします。

番組を編集する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

[ファイナライズしたディスクでは編集できません。ただし、DVD-R(VR 方式)、DVD-RW(VR 方式)は、ファイナライズ後でも、「内容確認」のみできます。]

準備
●[HDD/DVD/SD切換]を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ。
●ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定(プロテクト)(➜70)を解除しておく。

1 再生中または停止中に を押す

例）HDD

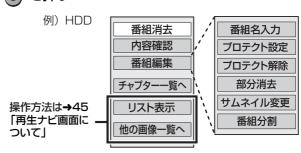
HDD RAM **「写真」一覧が表示されていたら**
➡ 青 を押して「ビデオ」一覧に切り換える

2 [▲][▼][◀][▶] で編集する番組を選ぶ

前後のページを表示するには
➡ [|◀◀](前ページ)または [▶▶|](次ページ)を押す

複数の番組をまとめて編集するには
➡ [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
● が表示されます。もう一度 [一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。

3 サブメニュー S を押す

例）HDD

4 [▲][▼] で編集する項目を選び、決定 を押す

「番組編集」を選んだときは、さらに [▲][▼] で項目を選び、[決定] を押します。

「チャプター一覧へ」を選んだときは
チャプター一覧画面に切り換わります。
➡「チャプターを再生 / 編集する」(➜54)へ

以下、「番組編集項目一覧」(➜53)に進み、それぞれの編集を行ってください。

前の画面に戻るには➡ を押す

画面を消すには➡ を押す

番組編集項目一覧

52 ページ手順 ***4*** のあとに操作します。

番組を消す
番組消去

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

消去すると録画内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀] で「消去」を選び、[決定] を押す

- -R(VR) -R(V) -R DL +R 消去してもディスク残量は増えません。
- -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

内容を確認する
内容確認

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R -RW(VR)

番組名、録画日、チャンネルなどが表示され、確認できます。

- **画面を消すには➡ [決定]** を押す

番組名を付ける
番組名入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

- 文字入力については(**➜73**)

誤消去防止の設定 / 解除
プロテクト設定 / 解除

HDD RAM -R(VR)

大切な録画内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

[◀] で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す

プロテクト設定すると 🔒 が表示されます。解除すると消えます。

番組の不要な部分を消す
部分消去

HDD RAM -R(VR)

録画した番組の消したい部分を指定して消去します。

1 **[▲][▼] で「イン点」を選び、消去する開始点で [決定] を押す**
「編集中の便利な機能」(**➜ 下記**)
2 **[▲][▼] で「アウト点」を選び、消去する終了点で [決定] を押す**
3 **[▼] で「終了」を選び、[決定] を押す**
- **続けて別の不要な部分を消去するとき**
➡「次へ」を選んで **[決定]** を押す

4 **[◀] で「消去」を選び、[決定] を押す**

番組一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する
サムネイル変更

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

1 **[再生 ▶] で再生を始める**
2 **[▲][▼] で「変更」を選び、お好みの場面で [決定] を押す**
- 「編集中の便利な機能」(**➜下記**)
- **選び直すには**
➡ ①[▲][▼] で「変更」を選び、**[再生 ▶]** で再生を始める
② お好みの場面で **[決定]** を押す

3 **[▲][▼] で「終了」を選び、[決定] を押す**

番組を2つに分割する
番組分割

HDD RAM -R(VR)

分割すると元に戻すことができません。分割してよいか確認してから行ってください。

1 **[▲][▼] で「分割」を選び、分割する場面で [決定] を押す**
- 「編集中の便利な機能」(**➜下記**)
- **分割する場面を確認するには**
➡ **[▲][▼]** で「プレビュー」を選び、**[決定]** を押す
分割点の前後 10 秒間が再生されます。
- **分割する場面を選び直すには**
➡ ① **[▲][▼]** で「分割」を選び、**[再生 ▶]** で再生を始める
② 分割する場面で **[決定]** を押す

2 **[▲][▼] で「終了」を選び、[決定] を押す**
3 **[◀] で「分割」を選び、[決定] を押す**

- 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」(**➜上記**)で確認の上、実行してください。
- 番組名(**➜上記**)や録画禁止などの情報は、分割した番組の両方に反映されます。

編集中の便利な機能

- 早送りやスロー再生、タイムワープなど(**➜46、47**)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- スキップを使ってチャプターを飛びこすことで、番組の終わりにも飛ぶことができます。

録画した番組を編集する(つづき)

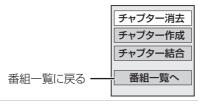
チャプターを再生 / 編集する

HDD RAM -R(VR) (ファイナライズ後は再生のみ)
-RW(VR) (再生のみ)
52 ページ手順 *4* のあとに操作します。

5 [▲][▼][◀][▶] でチャプターを選び、
再生する場合は 決定 を押す
編集する場合は手順 6 に進む

前後のページを表示するには
➡ [|◀◀](前ページ)または [▶▶|](次ページ)を押す

複数のチャプターをまとめて編集するには
➡ [▲][▼][◀][▶] でチャプターを選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度 [一時停止❚❚] を押すと解除されます。

6 サブメニュー S を押す

7 [▲][▼] で編集する項目を選び、決定 を押す

以下、「チャプター編集項目一覧」(➜ 下記)に進み、それぞれの編集を行ってください。

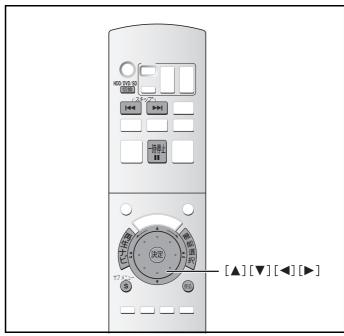
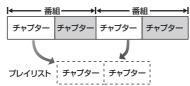
前の画面に戻るには➡ を押す

画面を消すには➡ を押す

チャプター編集項目一覧

上記手順 *7* のあとに操作します。

チャプター部分を消す(部分消去) チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。 **元に戻すことはできませんので、消去してよいか確認してから実行してください。** ●チャプターの区切り点のみ消去したい場合は「チャプター結合」(➜ 下記)を行ってください。(録画内容は消去されません。) **[◀] で「消去」を選び、[決定] を押す**
チャプターを作成する チャプター作成	映像を見ながら区切りたい部分を指定します。 1 **[▲][▼] で「作成」を選び、区切りたい場面で [決定] を押す** ●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜46、47)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。 ●繰り返して複数の位置を指定できます。 2 **[▲][▼] で「終了」を選び、[決定] を押す**
区切り点をなくしてチャプターをつなぐ チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの区切り点をなくして、一つにつなぎます。 **[◀] で「結合」を選び、[決定] を押す**

プレイリスト作成・再生・編集

プレイリストについて
チャプター作成(➜ 左記)で作成した好みのチャプターを集めて、再生したい順に並べたものです。

- ダビングすると、ダビング先では番組になります。(再生時間が８時間を越えるプレイリストはダビングできません。)
- プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスク容量はほとんど使いません。ただし、DVD-R(VR方式)でプレイリスト編集を行う場合は、残量の減少に注意が必要です。(➜下記)
- プレイリストやプレイリストのチャプターは、消したり新たに作成しても元の番組やチャプターには影響しません。
- 録画中やダビング中は、プレイリストの作成、編集はできません。

HDD RAM -R(VR)
最大記録数
プレイリスト: 99
プレイリストのチャプター: 約 1000
(記録状態によって変化します)
- 最大記録数を超えるプレイリスト、チャプターは登録されません。

DVD-R(VR 方式)のプレイリスト編集について
プレイリスト編集を行うと、その編集情報がディスクに書き込まれます。DVD-R(VR 方式)ディスクでは、一度書き込まれた部分に上書きはされません。編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。
編集はHDD上で行い、その後DVD-R(VR方式)にダビングすることをおすすめします。

 準備
- [HDD/DVD/SD切換]を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ。
- ディスクやカートリッジ付きディスクの誤消去防止設定(プロテクト)(➜70)を解除しておく。

プレイリストを作成する

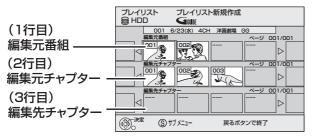
（ファイナライズしたディスクではできません。）

1 停止中に、[機能選択] を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] で「プレイリスト編集」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼][◀][▶] で「新規作成」を選び、[決定] を押す

（1行目）
編集元番組
（2行目）
編集元チャプター
（3行目）
編集先チャプター

1行目、2行目は、録画した番組とそのチャプターの一覧です。これらをお好みの順番で3行目に登録し、プレイリストを作成します。

5 [◀][▶] で、プレイリストに加えたいチャプターの入っている編集元番組を選び、[▼] を押す

（1行目）

編集元番組内の編集元チャプターをすべて選ぶには
➡ 編集元番組を選んで、[決定] を押す（➜ 手順 **7** へ）

6 [◀][▶]でプレイリストに加えたい編集元チャプターを選び、[決定] を押す

（2行目）

編集元チャプターを選び直すには
➡ [▲] を押す
別の編集元番組を選ぶには
➡ [▲] を数回押して編集元番組の行を選び、手順 **5** に戻る。

お知らせ
編集元番組のチャプターを新たに作成することもできます。作成するには、編集元番組や編集元チャプターを選んで、[サブメニュー]を押し、"チャプター作成"を表示させ、[決定]を押します。（➜54「チャプターを作成する」）

7 選んだ編集元チャプターの挿入位置を [◀][▶] で選び、[決定] を押す

（3 行目）

カーソルが移動

続けて編集元チャプターを追加するには
➡ 手順 **6** ～ **7** を繰り返す

8 [戻る] を押して、作成を終了する

プレイリストを再生 / 編集する

[DVD-RW（VR 方式）、ファイナライズした DVD-R（VR 方式）では、再生と「内容確認」のみ可能です。]

1 停止中に、[機能選択] を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] で「プレイリスト編集」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼][◀][▶] でプレイリストを選び、
再生する場合は [決定] を押す
編集する場合は手順 5 に進む

前後のページを表示するには
➡ [|◀◀]（前ページ）または [▶▶|]（次ページ）を押す
複数のプレイリストをまとめて編集するには
➡ [▲][▼][◀][▶] でプレイリストを選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
- が表示されます。もう一度 [一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。

5 [サブメニュー S] を押す

6 [▲][▼] で編集する項目を選び、[決定] を押す
- 「プレイリスト編集」を選んだときは、さらに [▲][▼] で項目を選び、[決定] を押します。

以下、「プレイリスト編集項目一覧」（➜56）に進み、それぞれの編集を行ってください。

「チャプター一覧へ」を選んだときは
チャプター一覧画面に切り換わります。➡ 手順 **7** へ

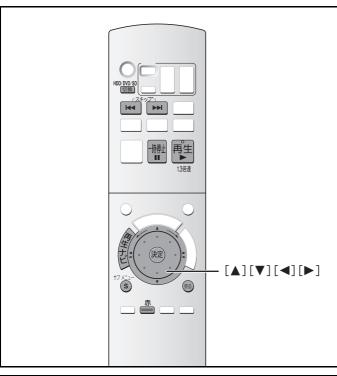
7 [▲][▼][◀][▶] でチャプターを選び、
再生する場合は [決定] を押す
編集する場合は手順 8 に進む

前後のページを表示するには ➡ 上記手順 **4**
複数のチャプターをまとめて編集するには ➡ 上記手順 **4**

8 [サブメニュー S] を押す

9 [▲][▼] で編集する項目を選び、[決定] を押す
以下、「チャプター編集項目一覧」（➜56）に進み、それぞれの編集を行ってください。

前の画面に戻るには ➡ を押す
画面を消すには ➡ [戻る] を数回押す

録画した番組を編集する（つづき）
編集
プレイリスト作成・再生・編集

プレイリストを再生 / 編集する(つづき)

HDD RAM -R(VR)（ファイナライズ後は「内容確認」のみ）
-RW(VR)（「内容確認」のみ）

プレイリスト編集項目一覧

55 ページ「プレイリストを再生 / 編集する」の手順 **6** のあとに操作します。

項目	操作
プレイリストを消す プレイリスト消去	**消去すると、元に戻すことができません。**消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀] で「消去」を選び、[決定] を押す**
内容を確認する 内容確認	作成日などが表示され、確認できます。 ●**画面を消すには➡ [決定]** を押す
プレイリストを新しく作る プレイリスト新規作成	●**操作方法は** ➡ **55 ページ「プレイリストを作成する」の手順 5 へ**
プレイリストを複製する プレイリスト複製	複製されたプレイリストは、最も新しいプレイリストとして登録されます。 **[◀] で「複製」を選び、[決定] を押す**
プレイリスト名を付ける プレイリスト名入力	●文字入力については(➜73)
プレイリスト一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する サムネイル変更	**1 [再生 ▶] で再生を始める** **2 [▲][▼] で「変更」を選び、お好みの場面で [決定] を押す** ●「編集中の便利な機能」(➜右記) ●**選び直すには** ➡① [▲][▼] で「変更」を選び、[再生 ▶] で再生を始める ② お好みの場面で [決定] を押す **3 [▲][▼] で「終了」を選び、[決定] を押す**

チャプター編集項目一覧

55 ページ「プレイリストを再生 / 編集する」の手順 **9** のあとに操作します。

項目	操作
チャプターを追加する チャプター追加	●**操作方法は** ➡ **55 ページ「プレイリストを作成する」の手順 5 へ**
チャプターの順番を変える チャプター移動	**[▲][▼][◀][▶] で移動先を選び、[決定] を押す** カーソルが移動 プレイリスト　チャプター移動　HDD　01 10/27(月) 0:30　001　002　前ページ　01/01　次ページ
チャプターを作成する チャプター作成	映像を見ながら区切りたい部分を指定します。 **1 [▲][▼] で「作成」を選び、作成する場面で [決定] を押す** ●「編集中の便利な機能」(➜下記) ●繰り返して複数の位置を指定できます。 **2 [▲][▼] で「終了」を選び、[決定] を押す**
区切り点をなくしてチャプターをつなぐ チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの区切り点をなくして 1 つにつなぎます。 **[◀] で「結合」を選び、[決定] を押す**
チャプター部分を消す(部分消去) チャプター消去	チャプターをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。 **[◀] で「消去」を選び、[決定] を押す**

編集中の便利な機能
●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜46、47)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
●スキップを使ってチャプターを飛びこすことで、プレイリストの終わりにも飛ぶことができます。

写真を編集する

HDD RAM SD

●写真単位、あるいはフォルダ単位で編集することができます。
●本機では、8MB～2GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)
●CD-R や CD-RW に記録された写真は編集できません。

●[HDD/DVD/SD 切換] を押して、編集したい写真が入っているドライブを選ぶ。
●ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定(プロテクト) を解除しておく。(➜70)

写真を編集する

1 を押す

例)HDD

HDD RAM
「ビデオ」一覧が表示されていたら
➡ 赤 を押して「写真」一覧に切り換える

2 [▲][▼][◀][▶] で編集したい写真を選ぶ

前後のページを表示するには
➡ [|◀◀] (前ページ)または [▶▶|] (次ページ)を押す
複数の写真をまとめて編集するには
➡ [▲][▼][◀][▶] で写真を選び、[**一時停止 ❚❚**] を押す操作を繰り返す
●☑が表示されます。もう一度 [**一時停止 ❚❚**] を押すと解除されます。
別フォルダの写真を選ぶには(➜49)

3 サブメニュー を押す

- 写真の消去
- 写真のプロテクト設定
- 写真のプロテクト解除
- 写真のDPOF設定

例) SD カード

4 [▲][▼] で編集する項目を選び、決定 を押す

以下、「写真編集項目一覧」(➜ 右記) に進み、それぞれの編集を行ってください。

前の画面に戻るには➡ を押す

画面を消すには➡ を押す

フォルダごと編集する

上記手順 *1* のあとに操作します。

2 [▲][▼][◀][▶] で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼] で編集したいフォルダを選ぶ

前後のページを表示するには➡ 上記手順 **2**
複数のフォルダをまとめて編集するには➡ 上記手順 **2**

4 サブメニュー S を押す

- フォルダごと消去
- フォルダ名入力
- フォルダのプロテクト設定
- フォルダのプロテクト解除
- フォルダ内のDPOF設定
- フォルダ選択

RAM SD
上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ表示されます。

上位フォルダを切り換えるには
➡ 1 [▲][▼] で「フォルダ選択」を選び、[**決定**] を押す
2 [◀][▶] でフォルダを選び、[**決定**] を押す

5 [▲][▼] で編集する項目を選び、決定 を押す

以下、「写真編集項目一覧」(➜ 下記) に進み、それぞれの編集を行ってください。

前の画面に戻るには➡ を押す

画面を消すには➡ を押す

写真編集項目一覧

左記「写真を編集する」の手順*4*のあと、または「フォルダごと編集する」の手順 *5* のあとに操作します。

項目	内容
消去する 写真の消去 フォルダごと消去	HDD RAM SD **消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。**消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀] で「消去」を選び、[決定] を押す** フォルダを消去する場合は、フォルダ内の写真以外のファイルも消去されます。(フォルダ内の下位フォルダは除く)
フォルダ名を付ける※ フォルダ名入力	HDD RAM SD ●文字入力については(➜73)
誤消去防止の設定 / 解除※ 写真のプロテクト設定 / 解除 フォルダのプロテクト設定 / 解除	HDD RAM SD **[◀] で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** プロテクト設定すると🔒が表示されます。解除すると消えます。
プリンタや写真店でプリントする枚数を設定する※ 写真の DPOF 設定 フォルダ内の DPOF 設定	SD ●本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。 ●写真やフォルダがDCF規格 (➜7) でない場合や、カードに残量がない場合は設定できません。 **[◀][▶] で枚数(0枚～9枚)を選び、[決定] を押す** DPOF マークが表示されます。(「フォルダ内の DPOF 設定」では設定したフォルダの中の写真に表示されます。) **●設定を解除するには** ➡「0 枚」に設定する

※他の機器では設定が無効になる場合があります。

番組のダビングについて

本機でのダビングの流れ

まず

番組を録画する

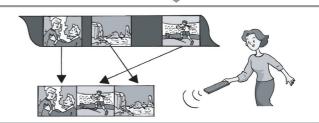
- 番組を録画する（➜33）
- 予約録画する（➜36）

ビデオテープやビデオカメラの映像をHDD にダビングする

- ビデオやビデオカメラからダビングする（➜66）

必要なら

録画した番組を編集する

- 番組名を付ける（➜53「番組名入力」）
- 番組を2つに分割する（➜53「番組分割」）
- 番組の不要な部分を消す（➜53「部分消去」）

さあダビングしよう

HDD にある複数の番組をまとめてDVDにダビングする

HDD にある再生中の番組またはプレイリストのみダビングする

複数の番組やプレイリストをまとめてダビングする

DVD の番組を HDD にダビングする

録画の画質を変更してダビングする

おまかせダビング
自動的にファイナライズを行って再生専用ディスクを作成します※

ワンタッチダビング
ファイナライズも合わせて行うか選択できます※

ダビングリストを作成してダビング
ファイナライズも合わせて行うか選択できます※

※ DVD-R（DVD-Video 方式）、DVD-R DL、DVD-RW（DVD-Video 方式）、+R ダビング時

ファイナライズとは

記録したディスクを他の DVD 機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。

DVD-R DL については「DVD-R DL（片面2層）ディスクを再生するとき」（➜44）をご覧ください。

ダビングの特徴

	おまかせダビング	ワンタッチダビング	ダビングリストを作成してダビング
ダビング方向は?	**HDD** から **DVD** のみ	**HDD** から **DVD** のみ	**HDD** から **DVD** **DVD** から **HDD**
画質（録画モード）の選択はできる?	×	×	○
プレイリストのダビングは?	×	○（ダビング先では番組になります）	○（ダビング先では番組になります）
デジタル放送の番組のダビング	○	×	○（HDD から DVD のみ）
SD カードの MPEG2動画のダビング	×	×	○

ダビングできる方向とダビング速度について

おまかせダビング・ワンタッチダビング

「高速ダビング用録画」を「**入**」にして録画した番組 HDD → 高速 →

-R(V) -R DL -RW(V) +R

「高速ダビング用録画」を「**切**」にして録画した番組 HDD → 1倍速 →

おまかせダビング 録画モードは"FR"

ワンタッチダビング 録画モードは元と同じ[XP ~ EP、FR] プレイリストは"FR"でダビングされます。

おまかせダビングのみ 「高速ダビング用録画」を「入」と「切」にして録画した番組をまとめてダビングすると1倍速になります。(録画モードは"FR"になります)

ダビング先のディスク容量を超える場合は"FR"になります。

ダビングリストを作成してダビング

HDD → 高速 / 1倍速(録画モードを選んだ場合) → RAM -R(VR)

HDD → 高速※1 / 1倍速(録画モードを選んだ場合) → -R(V) -R DL -RW(V) +R

-RW(VR) → 高速 → HDD

DVD-V ファイナライズ後のディスク → 1倍速 → HDD

SD MPEG2 動画 → 高速 → HDD RAM -R(VR)

※1 **DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R への高速ダビングについて**
右記の場合は高速モードではダビングできません。
- 初期設定「高速ダビング用録画」を「切」にして、HDD に録画した番組
- 録画モードが異なる番組から作ったプレイリスト
- 録画モードが FR の複数の番組から作ったプレイリスト
- 音声が混在するプレイリスト(Dolby Digital と LPCM など)
- 部分消去を繰り返した番組
- SD カードの MPEG2 動画を HDD にダビングした番組

録画モードについて

	高速ダビング 画質(録画モード)を変えずにすばやくダビング!	**録画モード(XP ~ EP、FR)を選んでダビング (1 倍速ダビング)** ディスクに記録する時間・画質を調整できます!
ダビングにかかる時間	下記「高速でのダビング所要時間のめやす」	ダビング元の記録時間と同じ時間 ※4
画質	ダビング元の画質	変更できる※5
チャプター / サムネイル変更の保持	できる ※2	できない (1 番組が 1 チャプターとして記録され、サムネイルは先頭の位置になります)
ダビング中の他の操作	HDD での再生または録画ができる ※3	できない
CM をとばす	できない	できる ※6

※2 + R は約 100 チャプターまで保持されます。また、プレイリストを DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVDVideo 方式)、+R にダビングする場合、サムネイルの変更位置が反映されないことがあります。
※3 おまかせダビング中やファイナライズを含むダビング中、SD カードの MPEG2 動画をダビング中はできません。
※4 DVD-R DL にダビングするときは、ダビング元の記録時間より長くかかります。
※5 ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。(劣化防止にはなります)

※6 **自動 CM 早送り**
音声が右記の場合のみ働きます。

番組 モノラル / 二重 (再生) → CM ステレオ (スキップ) → 番組 モノラル / 二重 (再生)

- 5 分以上の CM やプレイリスト内の CM には働きません。
- 番組内容を CM とまちがえて消してしまう場合があります。
デジタル放送などの移動される番組(➜10)では、元に戻すことができません。CM を「部分消去」(➜53)で消してから、「切」(➜63 の手順 7)でダビングすることをおすすめします。

高速でのダビング所要時間のめやす(最高速時 / 管理情報の書き込み時間を除く)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM	8X高速記録対応 DVD-R	2X高速記録対応 DVD-R DL	4X高速記録対応 DVD-RW	8X高速記録対応 +R
XP	1時間	約12分	約8.7分	約30分	約15分	約8.7分
SP		約6分	約3.8分	約15分	約7.5分	約3.8分
LP		約3分	約1.9分	約7.5分	約3.8分	約1.9分
EP(6H)		約2分	約1.3分	約5分	約2.5分	約1.3分
EP(8H)		約1.5分	約56秒	約3.75分	約1.9分	約56秒

録画モードＦＲでのダビング
ダビング先のディスク残量をすべて使い切るように画質を自動で調節して記録します。ただし、何番組かをまとめてダビングする場合、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。

- **ディスクの状態によっては、記録品質を優先するため、速度を落としてダビングすることがあります。**
- ダビング中に録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

デジタル放送のダビングについて

デジタル放送には「1 回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。HDD に録画したデジタル放送の番組をダビングするには CPRM に対応した DVD-RAM または DVD-R※ が必要です。

※VR 方式にフォーマットする必要があります。(➜ 右記)

DVD-R へダビングする前に

本機では DVD-R をフォーマットせずに使用した場合、DVD-Video 方式で記録されます。VR 方式で記録したい場合は、フォーマットを行ってください。(**➜71「DVD-R の記録方式とフォーマットについて」**)

※CPRM 対応ディスクのみ

番組のダビングについて

残す

番組をダビングする

ダビングする前に

主、副両音声を記録した番組を以下のようにダビングするときは

以下の場合、ダビング先には、主、副音声のどちらか一方しか記録されません。
- DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、＋Rにダビングするとき
- 初期設定「記録音声モードの設定[XP時]」(➜76)を「LPCM」にし、XPモードで、1倍速でダビングするとき

ダビング前に記録する音声を選んでください。※
初期設定「二重放送音声記録」で「主音声」または「副音声」を選ぶ(➜76)

※ ビデオや各種チューナーなどの外部機器から録画された番組に、主、副両音声が記録されている場合、ダビング時に記録する音声を選ぶことはできません。主、副両音声が記録されますが、再生時、音声を切り換えることはできません。(両方の音声が同時に聞こえます。)

16:9 映像の番組のダビング

DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R にダビングすると、4:3 映像で記録されます。

DVD-R DL(片面2層)へのダビング

高速モード以外でダビングする場合、1 倍速で番組をHDDに一時的に複製した後、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。以下の場合、DVD-R DLにダビングすることができなくなります。
- HDDの残量が少ない場合(ディスクいっぱいにダビングする場合、HDDの残量が8.5GB以上必要になります。)
- HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超える場合

2層にまたがって記録された番組は、再生時に層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。(➜44)

ダビング実行中にダビングを中止すると

(ファイナライズ中に中止することはできません。)

高速でダビングのとき
ダビングが完了した番組までをダビングします。

1倍速でダビングのとき
中止したところまでをダビングします。ただし「1回だけ録画可能」の番組の場合、ダビングが完了した番組までをディスクに移動し、中止した番組は移動させずに HDD に残します。
- DVD-R DLの場合、ダビングが完了した番組までをダビングします。

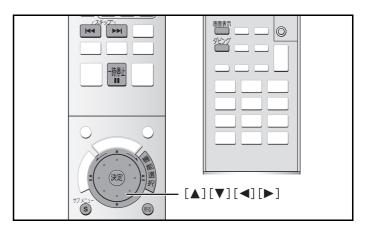
DVD-R、DVD-R DL、＋R は番組がダビングされなくても、ディスクに書き込まれた分の残量は減少します。

ダビング中に予約録画の開始時刻になると

高速でダビングのとき
予約録画は 1 番組のみ実行され、録画先の設定に関わらずHDDに録画されます。(ただし、ファイナライズを含むダビング中は実行されません)

1倍速でダビングのとき
予約録画は実行されません。

ファイナライズを含んだダビングをするときは

「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」は選べません。背景の色や再生方法を設定したい場合は、ダビングする前に、DVD 管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➜72)

おまかせダビング

音声ガイドに従って、HDD に録画された複数の番組を DVD ディスクにダビングすることができます。

DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rの場合、**自動的にファイナライズ(➜92)**を行います。ファイナライズをすると再生専用ディスクとなり、他の DVD 機器でも再生できるようになります。ただし、後から記録や編集をすることができなくなります。

ダビング方向:
HDD ➜ RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません。)

準備
- ダビング可能なディスクを入れる。**(フォーマット確認画面が表示されたら ➜71)**
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

1 停止中に、[機能選択] を押す

2 [▲][▼]で「おまかせダビング」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼]でダビングしたい番組を選び、[決定] を押す

前後のページを表示するには
➜ [|◀◀][▶▶|]で、前ページまたは次ページに切り換える

複数の番組をまとめて登録するには
➜ [▲][▼]で番組を選び、**[一時停止 ❚❚]**を押す操作を繰り返す
- が表示されます。もう一度**[一時停止 ❚❚]**を押すと解除されます。

おまかせダビングの画面表示と便利な機能(➜61)

4 DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R の場合、ダビングを開始するとディスクは再生専用となり、後から記録できなくなります。

[◀][▶] で「ダビング開始」を選び、[決定] を押す
ダビングが開始されます。

前の画面に戻るには➜ [戻る] を押す

ダビングを実行中に中止するには

➜ [戻る] を3秒以上押したままにする
- ファイナライズ中は中止できません。

音声ガイドを止めるには
➜ **初期設定**「音声ガイドの出力」を「切」にする**(➜74)**

おまかせダビングの画面表示と便利な機能

リストの表示について

:DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速でダビングできるもの(➜59)

:本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組(➜10、59「デジタル放送のダビングについて」)

ダビング容量:ダビング先に記録される容量
●管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

番組の内容を確認する/並び替えをするには

➜ 1 [▲][▼]で番組を選び、Ⓢ(サブメニュー)を押す

2 [▲][▼]で「内容確認」または「並び替え」を選び、(決定)を押す

内容確認: 選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどが表示されます。
並び替え: 番組の表示順を変更します。表示順は No、録画日、曜日、CH、開始時刻、番組名が選べます。
(☑が付いている場合はできません)
表示順は、おまかせダビングの画面を閉じると取消されます。

お知らせ
●ダビング中は、録画と再生はできません。
●5×高速記録対応のDVD-RAMまたは8×高速対応のDVD-R、+Rに高速モードでダビングする場合、本機内部の動作音が大きくなります。
●「自動CM早送り」(➜59)はできません。
●「1回だけ録画可能」の番組は、プロテクト(➜70)が設定されているとダビングできません。
●複数の番組を登録すると、登録した順ではなく、画面の上から順にダビングされます。お好みの順にダビングしたい場合は、ダビングリストを作成してダビングしてください。(➜62)

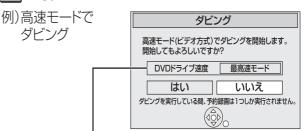
ワンタッチダビング

HDDに録画された1つの番組やプレイリストを再生中に、ディスクにワンタッチ操作でダビングすることができます。再生位置にかかわらず番組やプレイリストの先頭からダビングされます。

ダビング方向:
HDD ➜ RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません。)

準備 ●ダビング可能なディスクを入れる。(**フォーマット確認画面が表示されたら ➜71**)
●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

1 HDDのダビングしたい番組やプレイリストを再生する

2 (ダビング)を押す

例)高速モードでダビング

DVD ドライブ速度(➜ 下記)
(5 ×高速記録対応の DVD-RAM または 8 ×高速対応の DVD-R、+R に高速モードでダビングする場合のみ)

「DVD ドライブ速度」を切り換えるには
➜ 1 [▲][▼][◀][▶]で「最高速モード」か「静音モード」を選ぶ
●「静音モード」を選ぶと本機内部の動作音が「最高速モード」時より小さくなりますが、ダビングの所要時間は約 2 倍になります。
2 [▼] を押す

3 [◀]で「はい」を選び、(決定)を押す

●DVD-RAM、DVD-R(VR方式)にダビングするときは、ダビングが開始されます。

DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R にダビングするときは
[◀][▶]で「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、(決定)を押す
●**「ダビングのみ」**:ダビングのみを行います。
●**「ダビングとファイナライズ」**:ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜92)を行います。
ファイナライズをすると再生専用ディスクとなり、他のDVD機器でも再生できるようになります。ただし、後から記録や編集をすることはできなくなります。

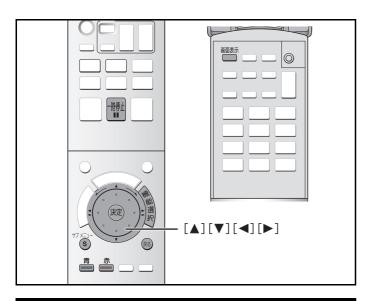
ダビング中に HDD の再生や録画をするには(高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ)
➜ (決定)を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする
●[画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
●ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。
●2 番組同時録画はできません。

ダビングを実行中に中止するには
➜ (戻る)を3秒以上押したままにする
●ファイナライズ中は中止できません。

お知らせ
●「1回だけ録画可能」なデジタル放送の番組や、デジタル放送の番組から作ったプレイリストはダビングできません。
●「自動CM早送り」(➜59)はできません。
●再生時間が8時間を越えるプレイリストはダビングできません。

DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+R を他の機器で再生するには、ファイナライズが必要です。(➜72)

番組をダビングする
残す

番組をダビングする(つづき)

ダビングリストを作成してダビング

複数の番組やプレイリストを組み合わせてダビングします。

ダビング方向: HDD ⇔ RAM -R(VR)
HDD → -R(V) -R DL -RW(V) +R
-RW(VR) → HDD
SD → HDD RAM -R(VR)

(ファイナライズしたディスクにダビングすることはできません。)

準備
- ダビング可能なディスクを入れる。**(フォーマット確認画面が表示されたら ➜71)**
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

SDマルチカメラなどで撮影した動画のダビングについて

SD マルチカメラなどで撮影した MPEG2 の動画を、SD カードからHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)に保存できます。[SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。まず HDD や DVD-RAM、DVD-R(VR 方式)にダビングしてください。] ダビングをするとダビング先では通常の番組(ビデオ)になります。(撮影した日付単位で 1 番組になります。)
- MPEG2動画をダビング中は録画や再生はできません。

※通常の録画番組

MPEG2 の記録内容を確認するには SD

MPEG2 の動画は、リスト作成画面に静止画で表示されます。以下の手順で記録内容(チャプター)を表示することができます。
①63 ページ手順 **6** で、内容を確認したい番組を選び、**[サブメニュー]** を押す(「チャプター一覧へ」が表示されます。)
②**[決定]** を押す

当社製DVD-RAM対応デジタルビデオカメラ(DVDデジカム)で撮影した動画のダビングについて

DVD デジカムで撮影した動画を DVD-RAM から HDD にダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。

1 停止中に、(機能選択) を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼]で「ダビング」を選び、(決定) を押す

4 ダビング方向を設定する
設定を変更しないときは、手順**5** に進んでください。

[▲][▼]で「ダビング方向」を選び、[▶]を押す(➜ 右記へ)

1 [▲][▼]で「ダビング元」を選び、(決定) を押す
2 [▲][▼]で「HDD」か「DVD」か「SD カード」を選び、(決定) を押す
3 [▲][▼]で「ダビング先」を選び、(決定) を押す
4 [▲][▼] で「HDD」か「DVD」を選び、(決定) を押す
- ダビング元とダビング先に同じドライブを選ばないでください。

5 [◀]を押す

HDD / DVD / SDカード

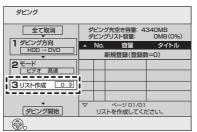
5 録画モードを設定する
設定を変更しないときは、手順**6**に進んでください。

[▲][▼]で「モード」を選び、[▶]を押す(➜ 右記へ)

1 [▲][▼]で「ダビング素材」を選び、(決定) を押す
2 [▲][▼]で「ビデオ」を選び、(決定) を押す
3 [▲][▼]で「録画モード」を選び、(決定) を押す
4 [▲][▼]で録画モードを選び、(決定) を押す
5 [◀]を押す

(次ページへつづく)

6 ダビングする番組やプレイリストを登録する（リスト作成）

登録済みの番組をそのままダビングするときは、手順**7**に進んでください。

[▲][▼]で「リスト作成」を選び、[▶]を押す（➜ 右記へ）

1 [▲][▼]で「新規登録」を選び、（決定）を押す

2 青（ビデオ）または 赤（プレイリスト）を押して、番組またはプレイリスト一覧画面に切り換える

3 [▲][▼][◀][▶]でダビングする番組やプレイリストを選び、（決定）を押す

- DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R に高速モードでダビングする場合は、 表示のあるもののみ登録できます。

複数の番組やプレイリストをまとめて登録するには

➡ [▲][▼][◀][▶]で番組やプレイリストを選び、[一時停止 ▮▮] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。もう一度[**一時停止▮▮**]を押すと解除されます。

ダビングリストの画面表示(➜ 下記)と便利な機能(➜64)

4 [◀]を押す

7 録画モードを「高速」以外に設定したときのみ
自動 CM 早送り(➜59)の入／切を選ぶ

設定を変更しないときは、手順**8**に進んでください。

[▲][▼]で「詳細設定」を選び、[▶]を押す（➜ 右記へ）

1 「自動CM早送り」を選び、（決定）を押す

2 [▲][▼]で「入」または「切」を選び、（決定）を押す

3 [◀]を押す

8 [▲][▼]で「ダビング開始」を選び、（決定）を押す

例）高速モードでダビング

DVD ドライブ速度（➜ 右記）
(5 ×高速記録対応の DVD-RAM または 8 ×高速対応の DVD-R、+R に高速モードでダビングする場合のみ)

「DVD ドライブ速度」を切り換えるには

➡ 1 [▲][▼][◀][▶]で「最高速モード」か「静音モード」を選ぶ

- 「静音モード」を選ぶと本機内部の動作音が「最高速モード」時より小さくなりますが、ダビングの所要時間は約 2 倍になります。

2 [▼] を押す

9 [◀]で「はい」を選び、（決定）を押す

- DVD-RAM、DVD-R(VR方式)にダビングするときは、ダビングが開始されます。
- DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするときは右記 へ

DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R にダビングするときは

[◀][▶]で「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、（決定）を押す

- 「**ダビングのみ**」:ダビングのみを行います。
- 「**ダビングとファイナライズ**」:ダビング終了後、引き続きファイナライズ(➜92)を行います。
  ファイナライズをすると再生専用ディスクとなり、他のDVD機器でも再生できるようになります。ただし、後から記録や編集をすることはできなくなります。

前の画面に戻るには

➡ （戻る）を押す

ダビングを実行中に中止する

➡ （戻る）を3秒以上押したままにする

- ファイナライズ中は中止できません。

ダビング中に HDD の再生や録画をするには（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）

➡ （決定）を押して確認画面を消したあと、再生･録画の操作をする

- [画面表示] を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
- ダビング中は追っかけ再生や編集などはできません。
- デジタル放送などの「移動」される番組(➜10)を含むダビング中は、プレイリストは再生できません。
- 2番組同時録画はできません。

ダビングリストの画面表示

:DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速でダビングできるもの(➜59)

(!) :静止画を含むもの(静止画部分はダビングされません)

:「1回だけ録画可能」なため「移動」されるもの(➜10、59「デジタル放送のダビングについて」)

:本機で録画した「1回だけ録画可能」の番組(➜10、59「デジタル放送のダビングについて」)

ダビングリスト容量:ダビング先に記録される容量

- 1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
- 管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

番組をダビングする(つづき)

ダビングリストの便利な機能

前後のページを表示するには

➡ [|◀◀] [▶▶|] で、前ページまたは次ページに切り換える

まとめて登録/消去するには

➡ [▲][▼][◀][▶] で番組やプレイリストを選び、[**一時停止 ❚❚**] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。もう一度 [**一時停止 ❚❚**] を押すと解除されます。
- ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑ が消えます。

番組の内容を確認する/並び替えなどをするには

➡ 1 **[▲][▼][▲][▼] で番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

2 **[▲][▼] で項目を選び、(決定) を押す**

内容確認: 選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどが表示されます。

並び替え: (HDD **リスト表示時のみ**)
番組の表示順を変更します。表示順はNo、録画日、曜日、CH、開始時刻、番組名が選べます。
(☑ が付いている場合はできません)
表示順は「リスト作成」に戻るか、ダビングの画面を閉じると、取消されます。

リスト表示 / サムネイル表示:
ダビングリストの表示方法を変更します。
(プレイリストはサムネイル表示のみ可能)
(☑ が付いている場合はできません)

他の画像一覧へ: 「ビデオ」または「プレイリスト」一覧画面に切り換えます。

リストの項目(登録された番組やプレイリスト)を消去/追加/移動するには

➡ 1 **[▲][▼] で編集したい項目を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

2 **[▲][▼] で編集したい内容を選び、(決定) を押す**

リスト全消去:
リストに登録されている項目をすべて消去します。

追加: 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。追加を選んだときは、さらに [▲][▼][◀][▶] で追加する番組やプレイリストを選び、[決定] を押してください。

消去: 選んだ項目を消去します。まとめて消去することもできます。(**➜ 上記**)

移動: 選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。「移動」を選んだときは、さらに [▲][▼] で移動先を選び、[決定] を押してください。

リストの項目を入れ替えるには

➡ 1 [▲][▼] で不要な項目を選び、[決定] を押す
2 [▲][▼][◀][▶] で新たに登録したい番組やプレイリストを選び、[決定] を押すと、項目が入れ替わります。

モードなどの設定・登録されているリストを一度に取消すには

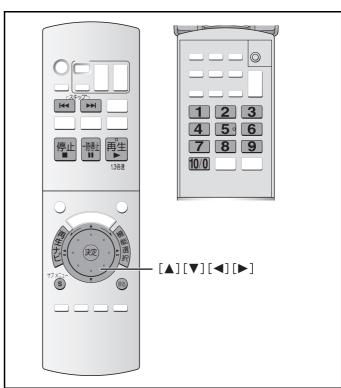
➡ [▲][▼] で「全て取消」を選び、(決定) を押すと、確認画面が表示されます。
[◀] で「**はい**」を選び、[決定] を押してください。

- 設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。
  – ダビング元で番組や写真の記録や消去をした場合
  – ディスクトレイを開ける、電源を切る、カードを取り出す、ダビング方向を変えるなどを行った場合

(お知らせ)

- 「1回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリストはダビングできません。
- 「1回だけ録画可能」の番組は、プロテクト(**➜70**)が設定されていると移動できません。
- 「移動」される番組を登録したダビングリストには、プレイリストは登録できません。
- 再生時間が8時間を越えるプレイリストはダビングできません。

DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW、+R を他の機器で再生するには、ファイナライズが必要です。(➜72)

ファイナライズされたディスク(DVD ビデオ)をダビングする

ファイナライズ(**➜92**)された DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R、+RW ※の番組を HDD にダビングすると、番組を再編集できます。
※本機では +RW のファイナライズはできません。

- ダビングしたい番組を再生する必要があります。テレビ画面に表示される内容を、設定した時間までHDDにダビングします。
- **ダビング中に行った操作や画面表示をそのまま記録します。** ただし、早送り・早戻し、コマ送り・コマ戻し、一時停止をすると、その部分の映像は記録されません。
- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**

ダビング方向:
DVD-V
(ファイナライズ後の -R(V) -R DL -RW(V) +R +RW) ➡ HDD

準備 ●ダビングしたいディスクを入れる。

1 停止中に、 を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼]で「ダビング」を選び、(決定) を押す

4 ダビング方向を設定する

設定を変更しないときは、手順**5** に進んでください。

[▲][▼]で「ダビング方向」を選び、[▶]を押す(➜ 右記へ)

1 [▲][▼]で「ダビング元」を選び、(決定) を押す
2 [▲][▼]で「DVD」を選び、(決定) を押す
●「ダビング先」は自動的に「HDD」に固定されます。
3 [◀]を押す

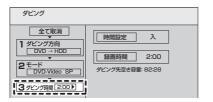
5 録画モードを設定する

設定を変更しないときは、手順**6**に進んでください。
●手順 **4**で「ダビング元」を「DVD」に選ぶと、「ダビング素材」は自動的に「DVD-Video」に固定されます。

[▲][▼]で「モード」を選び、[▶]を押す(➜ 右記へ)

1 「録画モード」を選び、(決定) を押す
2 [▲][▼]で録画モードを選び、(決定) を押す
●「高速」と「FR」は選べません。
3 [◀]を押す

6 ダビングする長さ(時間)を設定する

設定を変更しないときは、手順**7**に進んでください。

[▲][▼]で「ダビング時間」を選び、[▶]を押す(➜ 右記へ)

1 「時間設定」を選び、(決定) を押す
2 [▲][▼]で「入」を選び、(決定) を押す
3 [▲][▼]で「録画時間」を選び、(決定) を押す
4 [◀][▶] で"時間"または"分"を選び、[▲][▼] で設定する
●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。
●[1]～[10/0]も使えます。
5 (決定) を押し、[◀]を押す

7 [▲][▼] で「ダビング開始」を選び、(決定) を押す

8 [◀]で「はい」を選び、(決定) を押す

●ダビングが開始され、終了するまでが1番組として記録されます。(ただし、8時間を越える場合は、8時間ごとに分割されます。)

9 ダビングしたい番組を再生する

ディスクの設定によっては、自動的に再生が始まります。

●最初に右の画面がダビングされます。

●番組の再生が終わったあとも、設定した時間までHDDにダビングを続けます。

トップメニューが表示された場合は
➡ [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定]を押す

好みの番組を再生するには
➡ 1 [再生ナビ] を押す
2 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定]を押す

ディスクの再生が始まらない場合は
➡ 1 [再生 ▶] を押す
2 (トップメニューが表示されたら)
[▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定]を押す

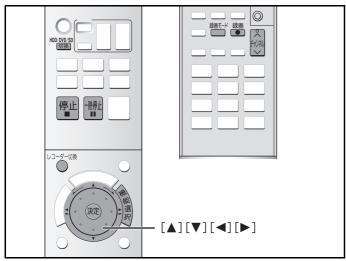
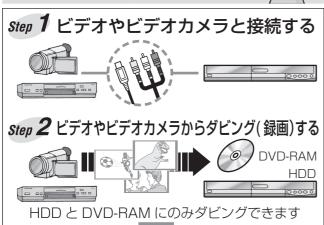
前の画面に戻るには➡ (戻る) を押す

ダビングを実行中に中止するには➡ を押す

「時間設定」を「切」にした場合は(上記手順 **6** 内の 2)
➡ HDD の容量がなくなるまでダビングを続けます。
[停止■] でダビングを止めることができます。

お知らせ

●高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
●ファイナライズしたDVD-R(VR方式)、DVD-RW(VR方式)の番組をダビングしたい場合は、ダビングリストを作成してダビングしてください。(➜62)

ビデオやビデオカメラからダビングする

本機では、外部入力端子や DV 入力端子につないだビデオやビデオカメラの映像を HDD または DVD-RAM に記録することができます。

必要に応じて

ダビングした番組を編集する

番組名を付けたり、不要なシーンを消去したり…

Step 3 HDD から DVD にダビングする

残しておきたい映像だけをダビングしてオリジナル DVD の完成！

ダビング後にファイナライズをしておけば他の DVD プレーヤーでも見れるわね。

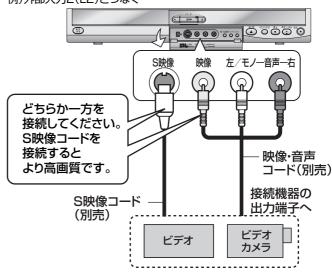
番組にかかる制限について(➔32)

市販のビデオや DVD のソフトのほとんどは、録画禁止処理がされており録画できません。

Step 1 ビデオやビデオカメラと接続する

接続時には、本機とビデオやビデオカメラなどの電源を切ってください。

外部入力に接続する場合

例)外部入力2(L2)とつなぐ

モノラル音声や二重放送の音声(接続した機器側で「主音声」「副音声」が選べない)などを入力する場合、外部入力２に映像端子(黄)と左音声端子(白)のみ接続して記録すると、再生時に音声が左右両方から出力されます。

外部入力１または３に接続する場合は、**17 ページ「テレビ、ビデオと接続」**をご覧ください。

DV 入力に接続する場合

DV 入力に接続すると「DV おまかせ取込」(**➔67**)でのダビングができます。(対応機種のみ)

- 記録する音声を**初期設定**「DV入力時の音声の設定」(**➔76**)で選べます。
- DV入力経由で本機に接続できるDV機器(ビデオカメラなど)は１台のみです。
- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- 本機のDV入力はDV機器専用です。
- DV機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。
- DV機器によっては、映像や音声が正しく入力されない場合があります。
- DV入力からの映像はレコーダー１からのみ記録できます。

Step 2 ビデオやビデオカメラからダビングする

HDD RAM

接続した機器を再生してダビングする場合

●[HDD/DVD/SD切換]を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ。
●[レコーダー切換]を押して録画するレコーダーを選ぶ。(DV入力の場合は「レコーダー１」を選ぶ。)

1 [チャンネル](ふた内部)を押して、ビデオなどを接続した端子(Ｌ１、L2、L3、DV)を選ぶ

2 [録画モード]を押して録画モード(➜31)を選ぶ

3 接続した機器で再生を始め、[録画]を押す

録画が開始されます。

一時停止するには ➡ [一時停止]を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには ➡ [停止]を押す

ディスクの残量に合わせて録画するには

➡ぴったり録画(➜34)

DV おまかせ取込機能を使ってダビングする場合

DV おまかせ取込

番組としてダビングされると同時に、映像の切れ目をチャプターの切れ目として、プレイリスト(➜54)が自動作成されるので、ダビング後の編集に便利です。

●本機とビデオカメラなどの電源を入れ、録画したい映像の先頭でビデオカメラなどを一時停止しておく。
●[HDD/DVD/SD 切換]を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ。
●[レコーダー 切換]を押して「レコーダー１」を選ぶ。(「レコーダー2」を選んでいる場合、「DVおまかせ取込」はできません。)

1 停止中に、[機能選択]を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「DV おまかせ取込」を選び、[決定]を押す

4 [録画モード]を押して録画モード(➜31)を選ぶ

5 [◀][▶] で「録画開始」を選び[決定]を押す

録画を止めるには ➡ [停止]を押す

お知らせ

●日付や時刻情報は記録されません。
●DVおまかせ取込中は、追っかけ再生や同時録画再生はできません。
●DV入力から録画中に他の番組を録画することはできません。
●DV入力から録画中に、予約録画の開始時刻になると、予約録画が実行され、DV入力からの録画は止まります。
●録画中やダビング中は、「DVおまかせ取込」はできません。
●「DVおまかせ取込」がうまく働かない場合は、接続とDV機器の設定を確かめ、電源を入れなおしてください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビングする場合」(➜上記)を行ってください。DV機器との互換性については、当社ホームページ(http://panasonic.jp/support/dvd/)をご覧ください。

必要に応じて

ダビングした番組を編集する

HDDやDVD-RAMにダビングした番組は、番組名を付けたり、番組を分割したり、不要な部分を消去したりと、整理･編集することができます。必要に応じて整理･編集を行ってください。詳しくは参照ページの操作説明をご覧ください。

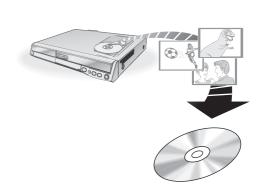
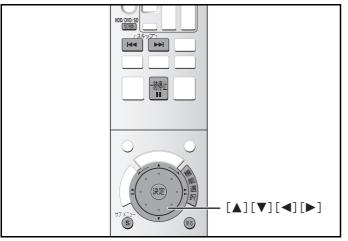
番組名を付ける ➜53「番組名入力」
番組を２つに分割する ➜53「番組分割」
番組の不要な部分を消去する ➜53「部分消去」
その他の編集については **52 ～ 56 ページ**をご覧ください。

Step 3 HDD から DVD にダビングする

HDD にダビングした番組を、DVD にダビングする場合、以下の３つの方法があります。内容に応じて使い分けてください。

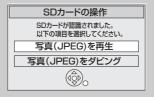
複数の番組をダビングする
DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R にダビングするときは、自動的にファイナライズを行って、他の DVD 機器でも再生できる再生専用のディスクを作成します。
➜60「**おまかせダビング**」

再生している番組やプレイリストのみをダビングする
再生中の番組やプレイリストをディスクにワンタッチ操作でダビングすることができます。
➜61「**ワンタッチダビング**」

録画モードを選択してダビングしたり、複数の番組またはプレイリストをダビングする
➜62「**ダビングリストを作成してダビング**」

写真をダビングする

HDD RAM SD

●本機では、8MB～2GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜7)
●CD-R や CD-RW に記録された写真はダビングできません。

SD

停止中に、カードをスロットに入れると、右記の画面が自動的に表示されます。
[▲][▼]で「写真(JPEG)をダビング」を選び、[決定] を押すと、右記「カードの写真を一度にHDD や DVD-RAM にダビングする」手順 *4* に進むことができます。

カードの写真を一度に HDD や DVD-RAM にダビングする 写真(JPEG)一括取込

ダビング方向：SD ➜ HDD RAM

準備 [HDD/DVD/SD 切換]を押して SD ドライブを選ぶ。

1 停止中に、 を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「写真 (JPEG) 一括取込」を選び、決定 を押す

上位フォルダの異なる対応フォルダがある場合は、[◀][▶] で切り換えができます

4 [▲][▼] で「どこへ」を選び、[◀][▶] で設定する

5 [▲][▼][◀][▶] で「実行」を選び、決定 を押す

前の画面に戻るには ➜ 戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには

➜ 戻る を3秒以上押したままにする

カードの写真をダビングする /HDD や DVD-RAM に保存した写真をカードにダビングする

準備 DVD-RAM または SD カードを入れる。(➜14)

1 停止中に、 を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「ダビング」を選び、決定 を押す

4 ダビング方向を設定する

設定を変更しないときは、手順**5**に進んでください。

[▲][▼]で「ダビング方向」を選び、[▶]を押す(➜ 右記へ)

1 [▲][▼]で「ダビング元」を選び、決定 を押す
2 [▲][▼]で「SD カード」などを選び、決定 を押す
3 [▲][▼]で「ダビング先」を選び、決定 を押す
4 [▲][▼] で「HDD」などを選び、決定 を押す
●ダビング元とダビング先に同じドライブが選べます。
5 [◀]を押す

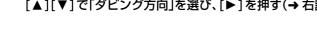
5 「モード」を設定する

設定を変更しないときは、手順*6* に進んでください。

[▲][▼]で「モード」を選び、[▶]を押す(➜ 右記へ)

1 [▲][▼]で「ダビング素材」を選び、決定 を押す
2 [▲][▼]で「写真」を選び、決定 を押す
3 [◀]を押す
●「録画モード」は自動的に「高速」になり、変更はできません。

ビデオ
写真

(次ページへつづく)

6 ダビングする写真やフォルダを登録する（「リスト作成」）

- 登録済みのリストをそのままダビングするときは、手順 **7**に進んでください。
- 写真とフォルダを同じリストに登録することはできません。

[▲][▼]で「リスト作成」を選び、[▶]を押す（➜ 右記へ）

複数の写真やフォルダをまとめて登録するには

➡ [▲][▼][◀][▶] で選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

ダビングリストの便利な機能（➜ 下記）

写真単位で登録するには

1 [▲][▼] で「新規登録」を選び、決定 を押す

2 [▲][▼][◀][▶] でダビングする写真を選び、決定 を押す

3 [◀] を押す

フォルダ単位で登録するには

1 [▲][▼] で「ダビング選択」を選び、決定 を押す

2 [▲][▼] で「フォルダ単位」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼] で「新規登録」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼] でダビングするフォルダを選び、決定 を押す

5 [◀] を押す

7 [▲][▼] で「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- （写真単位の場合のみ）別のフォルダをダビング先に指定できます。（➜下記）

8 [◀] で「はい」を選び、決定 を押す

ダビングが開始されます。

前の画面に戻るには➡ を押す

ダビングを実行中に中止するには

➡ 戻る を3秒以上押したままにする

ダビングリストの便利な機能

前後のページを表示するには

➡ [|◀◀][▶▶|] で、前ページまたは次ページに切り換える

まとめて登録/消去するには

➡ [▲][▼][◀][▶] で選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す

- ☑ が表示されます。もう一度 [一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。

リストの項目（登録された写真やフォルダ）を消去/追加するには

➡ 1 [▲][▼]で編集したい項目を選び、サブメニュー S を押す

2 [▲][▼]で編集したい内容を選び、決定 を押す

リスト全消去：
リストに登録されている項目をすべて消去します。

追加：選んだ項目の上に新しい項目を追加します。
「追加」を選んだときは、さらに[▲][▼][◀][▶]で追加する写真やフォルダを選び、[決定] を押してください。

消去：選んだ項目を消去します。
まとめて消去することもできます。（➜ 上記）

リストの項目を入れ換えるには

➡ 1 [▲][▼] で不要な項目を選び、[決定] を押す

2 [▲][▼][◀][▶] で新たに登録したい写真やフォルダを選び、[決定] を押す。

- 項目が入れ換わります。

別のフォルダの写真を選ぶ/別のフォルダをダビング先に指定する/上位フォルダを切り換えるには

➡ 1 「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

- [リスト作成時（➜上記手順6）のみ] 上位フォルダを切り換えるには
（上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ）
➡ 1 [サブメニュー] を押す
2 「フォルダ選択」を選び、[決定] を押す
3 [◀][▶] でフォルダを選び、[決定] を押す
  - 上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。

2 フォルダを選び、決定 を押す

- 別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。

モードなどの設定・登録されているリストを一度に取消すには

➡ [▲][▼] で「全て取消」を選び、決定 を押す

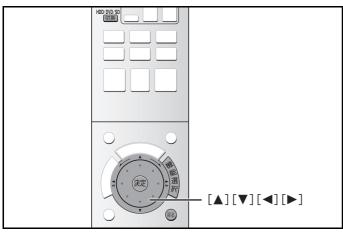
確認画面が表示されます。

[◀] で「はい」を選び、[決定] を押してください。

- 設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。
  – ダビング元で番組や写真の記録や消去をした場合
  – ディスクトレイを開ける、電源を切る、カードを取り出す、ダビング方向を変えるなどを行った場合

お知らせ

- フォルダやカードごとダビングする場合は、フォルダ内の写真以外のファイルもダビングされます（フォルダ内の下位フォルダは除く）。
- ダビング先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
- ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数（➜7）がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
- ダビング元のフォルダ名が入力されていない場合は、ダビング先ではフォルダ名の番号が変わることがあります。ダビング前にフォルダ名を入力することをおすすめします。（➜57）
- プリント枚数の設定（DPOF）はダビングされません。
- ダビングリストへの登録順は、ダビング先に反映されないことがあります。

ディスクやカードを整理する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) -RW(VR) +R SD

準備
- [HDD/DVD/SD切換]を押して、編集したいドライブを選ぶ。
- ディスクやカードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜ 右記)

ディスクに名前を付ける ディスク名入力

RAM -R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R

(ファイナライズしたディスクにはできません。)

1 停止中に、 を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼]で「DVD 管理」(例:DVD-RAM のとき)を選び、(決定) を押す

別のドライブで行う場合は、それぞれ以下のメニューを選んでください。
–「HDD」ドライブ:「HDD 管理」
–「SD」ドライブ:「カード管理」

例)DVD-RAM

例)DVD-R(DVD-Video 方式)

4 [▲][▼]で「ディスク名入力」を選び、(決定) を押す

- 文字入力については(➜73)

入力したディスク名は、[機能選択]を押すと表示されます。

-R(V) -R DL -RW(V) +R
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

前の画面に戻るには ➡ (戻る) を押す

画面を消すには ➡ (戻る) を数回押す

誤消去防止の設定/解除 ディスクプロテクト

RAM -R(VR) (ファイナライズしたディスクにはできません。)

ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。
左記の「ディスクに名前を付ける」手順**3** のあと

4 [▲][▼]で「ディスクプロテクト」を選び、(決定) を押す

5 [◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定) を押す

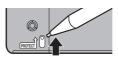
プロテクト設定すると"🔒 オン"が表示されます。

前の画面に戻るには ➡ (戻る) を押す

画面を消すには ➡ (戻る) を数回押す

カートリッジ付き DVD-RAM やカードの場合

本機で上記の設定をしなくても、ディスクやカードで誤消去防止設定ができます。

カートリッジ付きディスク

設定すると、本体に入れたとき自動的に再生します。

SD カードなど

スイッチを「LOCK」側にする。

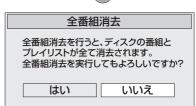
番組をすべて消去する 全番組消去

HDD RAM -R(VR)

(ファイナライズしたディスクにはできません。)

左記の「ディスクに名前を付ける」手順**3**のあと

4 [▲][▼]で「全番組消去」を選び、(決定) を押す

5 [◀] で「はい」を選び、(決定) を押す

6 [◀] で「実行」を選び、(決定) を押す

- **実行すると元に戻すことはできません。**よく確認してから実行してください。

前の画面に戻るには ➡ (戻る) を押す

画面を消すには ➡ (戻る) を数回押す

お知らせ
- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- プロテクトを設定した番組がある場合は、働きません。
- HDD RAM 写真は消去されません。
- -R(VR) 消去しても残量は増えません。

ディスクやカードを初期化する

HDDのフォーマット　ディスクのフォーマット　カードのフォーマット

HDD　RAM　-RW(V)　-RW(VR)　SD

-R(V)（未使用のディスクのみ）

フォーマットとは

新品、または他の機器で使っていたディスクやカード

そのままでは本機で記録できない場合があります。　**フォーマット**すると　本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む。）すべて消去してよいか確認してから行ってください。（番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます。）

- 本機では、8MB～2GBまでのSDメモリーカードが使用できます。**(➜7)**

70ページの「ディスクに名前を付ける」手順 ***3*** のあと

4 [▲][▼]で「ディスクのフォーマット」(例:DVD-RAMのとき)を選び、決定 を押す

例)DVD-RAM

ディスクのフォーマット
フォーマットを行うと、ディスク内容が全て消去されます。このディスクのフォーマットには、約○分かかります。フォーマットを実行してもよろしいですか?
はい　いいえ

別のドライブやディスクで行う場合は、それぞれ以下のメニューを選んでください。
–「HDD」ドライブ:「HDDのフォーマット」
–「SD」ドライブ:「カードのフォーマット」
–未使用のDVD-R:「フォーマット(VR方式)」

5 [◀]で「はい」を選び、決定 を押す

6 [◀]で「実行」を選び、決定 を押す

- フォーマットが始まり、通常は数分、DVD-RAMでは最大約70分かかります。

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

フォーマットを中止するには ➡ 戻る を押す

- RAM フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

前の画面に戻るには ➡ 戻る を押す

画面を消すには ➡ 戻る を数回押す

- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- DVD-R DL、+R、+RW、CD-R/RWはフォーマットできません。
- 本機でDVD-RWをフォーマットすると、DVD-Video方式になります。
- 未使用のDVD-Rをフォーマットすると、VR方式になります。（フォーマットすると、DVD-Video方式では記録できなくなります。）

フォーマット確認画面が表示されたら

DVD-RAMまたはDVD-RWを入れたとき

フォーマット確認
このディスクは規定のフォーマットがされていません。DVD管理でフォーマットを行いますか?
はい　いいえ
決定

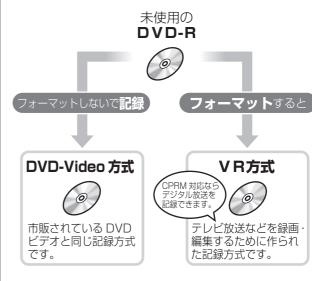
ディスクが本機で記録できる状態になっていないときに表示されます。画面に従って、フォーマットしてください。ただし、記録していた内容はすべて消去されます。

➡ [◀][▶]で「はい」を選び、決定 を押す

- 引き続き操作が必要です。

(➜ 左記手順5へ)

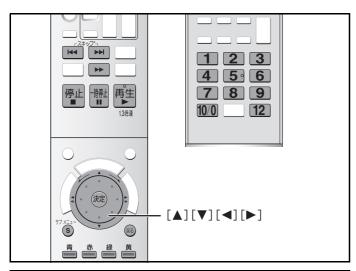
DVD-Rの記録方式とフォーマットについて

- 本機では、DVD-Rをフォーマットせずに使用した場合、DVD-Video方式で記録されます。
- ＶＲ方式で記録する場合はフォーマットを行ってください。**(➜左記)**
DVD-RはDVD-Video方式、VR方式共に、直接録画はできません。ダビングによる記録のみ可能です。

いったん記録またはフォーマットすると、後から記録方式を変更することはできません。

DVD-Video方式	特徴	ＶＲ方式
×	二重放送の主・副音声を両方記録	○
× 4：3映像で記録	16：9映像をそのまま記録	○
×	「1回だけ録画可能」なデジタル放送の番組の記録	CPRM対応ディスクのみ ○
×	プレイリストの作成・編集	○
ファイナライズ後に可能	他のＤＶＤ機器で再生	DVD-R(VR)対応機器でのみ可能※

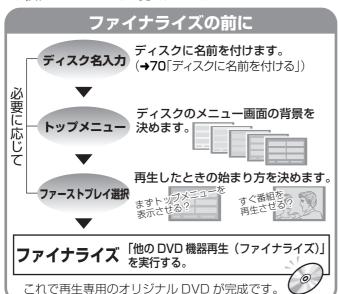
※ファイナライズが必要な場合があります。
2005年7月以降に発売される当社製DVDレコーダーで再生することができます。

ディスクやカードを整理する

便利機能

他の機器で再生できるようにする

トップメニュー ファーストプレイ選択 他の DVD 機器再生(ファイナライズ)

-R(VR) -R(V) -R DL -RW(V) +R
(ファイナライズしたディスクにはできません。)

他のDVD 機器で再生するにはファイナライズ(➜92)をする必要があります。ただし、それぞれの機器がファイナライズしたディスクの再生に対応している必要があります。他の機器との互換性は 5 ページをご覧ください。

トップメニュー

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。(-R(VR) できません)

70 ページの「ディスクに名前を付ける」手順 *3* のあと

4 [▲][▼]で「トップメニュー」を選び、(決定) を押す

5 [▲][▼][◀][▶]でお好みの背景を選び、(決定) を押す

- トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(➜53 「サムネイル変更」)

ファーストプレイ選択

ファイナライズ後のディスク再生の始め方を設定できます。(-R(VR) できません)

70 ページの「ディスクに名前を付ける」手順 *3* のあと

4 [▲][▼]で「ファーストプレイ選択」を選び、(決定) を押す

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

5 [▲][▼]で「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、(決定) を押す

トップメニュー:再生時、メニュー画面を表示する
タイトル1　　:再生時、ディスクの先頭から再生する

他の DVD 機器再生(ファイナライズ)

70 ページの「ディスクに名前を付ける」手順 *3* のあと

4 [▲][▼]で「他の DVD 機器再生 (ファイナライズ)」を選び、(決定) を押す

他のDVD機器で再生する(ファイナライズ)
他のDVD機器で再生するには、ファイナライズが必要です。開始すると約○分かかります。
ファイナライズを行いますか?
はい　いいえ

5 [◀]で「はい」を選び、(決定) を押す

6 [◀]で [実行] を選び、(決定) を押す

- ファイナライズが始まります。実行中は中止できません。
- ディスクの残量が少ない場合は数分、最大15分かかります。(DVD-R DLの場合は最大で60分かかります。)

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

前の画面に戻るには ➡ (戻る) を押す
画面を消すには ➡ (戻る) を数回押す

ファイナライズすると…

- -R(VR) -R(V) -R DL +R **再生専用となり、記録(ダビング)や編集はできなくなります。**
- -RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット(➜71)すると、繰り返してダビングや編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- -R(V) -R DL -RW(V) +R
  – 高速モードでダビングした番組では、ダビング時に複製されたチャプターがファイナライズ後も保持されます。
  – 高速モード以外でダビングした番組では、約5分ごとのチャプターが自動的に作成されます。(-R DL は除く。実際に作成されるチャプターの長さは、記録状態や録画モードによって大きく変化します)
  – 番組やチャプターのつなぎ目が数秒間静止するようになります。

お知らせ

- 本機以外の機器で録画したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズ後も、記録状態によっては他のDVDプレーヤーでは再生できない場合があります。
再生互換などのDVD関連情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)
- 高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(約4倍)

文字入力

録画した番組などに名前を付けたり、番組表(Gガイド)で検索するキーワードを入力します。

入力できる文字数

	種類	半角英数	その他
HDD RAM -R(VR)	番組名※	64	32
	プレイリスト名	64	32
	フォルダ名 [DVD-R (VR方式)を除く]	36	18
	ディスク名 (HDD を除く)	64	32
-R(V) -R DL -RW(V) +R	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
SD	フォルダ名	36	18
番組表 (G ガイド)	キーワード	30	15

※予約録画時　半角英数:44文字　その他:22文字

●予約録画時の番組名など、入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

1 入力画面を表示する

予約番組の番組名
(➜ 37「番組表(Gガイド)を使って予約録画する」の手順 *3*)
(➜ 38「G コード® を使って予約録画する」の手順 *3*)
(➜ 39「録画時間を指定して予約録画する」の手順 *3*)

録画後の番組名
(➜ 53「番組名入力」)

プレイリスト名
(➜ 56「プレイリスト名入力」)

ディスク名
(➜ 70「ディスク名入力」)

写真のフォルダ名
(➜ 57「フォルダ名入力」)

番組表(G ガイド)のキーワード
(➜ 40「ジャンル / キーワードで番組を探して予約する」の手順 *3*)

2 青(かな)、赤(カナ)、緑(英数)、黄(記号)で入力する文字の種類を選び、決定を押す

●漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

3 [▲][▼][◀][▶]で入力する文字を選び、決定を押す

ひらがなのまま入力するには ➡ [▶▶](確定)を押す

ひらがなを漢字変換するには

1 [再生▶](変換)を押す
　●変換候補選択画面が表示されます。
2 [▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す
　●[|◀◀] または [▶▶|] で、前ページまたは次ページの文字候補選択画面が表示されます。
　●[戻る]で入力画面に戻ります。

よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出すには (➜ 下記)

消去するには ➡ [一時停止 ❚❚](消去)を押す

4 入力が終わったら 停止■(終了)を押す

番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

途中で終わるには
➡ 戻る を数回押す(入力した文字は保存されません)

よく使う語句を登録する

登録できる語句数:20 個まで
登録できる文字数(1 個あたり):半角英数　先頭から 20 文字
その他　先頭から 10 文字

1 登録したい語句を入力後、(語句登録)を押す

2 [◀] で「登録」を選び、決定を押す

登録を中止するには ➡ 戻る を押す
番組表(Gガイド)上の語句を登録するには(➜40)

登録した語句を呼び出す

1 [|◀◀](語句一覧)を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で呼び出す語句を選び、決定を押す

登録した語句を消去する

1 [|◀◀](語句一覧)を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で消去する語句を選び、サブメニュー S を押す

3 「語句消去」を選び、決定を押す

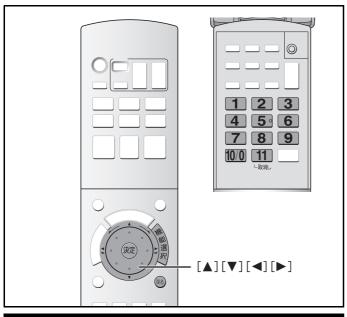
4 [◀] で「消去」を選び、決定を押す

前の画面に戻るには ➡ 戻る を押す

数字ボタン [1]～[10/0]、[12]でも文字を入力できます。
例:ひらがな「す」を選ぶ場合
1 [3]を押す
　●「さ」行に移動します。
2 [3]を2回押し、[決定]を押す
　●「す」が入力されます。

ディスクやカードを整理する(つづき)／文字入力

便利機能

本機の設定を変える(初期設定一覧)

初期設定変更の基本操作

初期設定一覧(➜74～76)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

お知らせ

操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

1 停止中に、[機能選択]を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、[▶]を押す

5 [▲][▼]で、設定項目を選び、[決定]を押す

6 [▲][▼]で設定内容を選び、[決定]を押す

前の画面に戻るには➜ [戻る]を押す

初期設定画面を消すには➜ [戻る]を数回押す

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
チャンネル	市外局番チャンネル設定	● 市外局番入力
	マニュアルチャンネル設定(➜28)	●CH ●表示 ●BS システム ●放送局名 ●ガイド ●入力 ●微調整
	BS アンテナ設定(➜30)	●BS 電源 ●ウェザーポジション ●BS チャンネル ●BS システム
	番組表設定(➜29)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	●Gガイド地域(➜29)	お住まいの地域を設定します。
	●ホスト局(➜29)	番組表(Gガイド)データの送信局を設定します。
	●データ受信時刻(➜29) 通常は変更しないでください。	→[決定]を押して、確認画面で、「設定」を選んで[決定]を押し、さらに設定します。 ●<u>自動</u> ●時/分:[取消し]を押した場合やデータ受信後は、「自動」に戻ります。
	●データ受信の時間帯設定(➜24) 番組表(G ガイド)のデータを受信する時間帯を指定します。ただしデータ受信時刻(➜ 上記)が「自動」に設定されているときのみ有効です。	●すべて受信(時間帯制限なし) ●<u>昼間のみ受信</u> ●夜間・早朝のみ受信 受信する時間は「番組表(G ガイド)データ送信時刻」(➜24)をご覧ください。
	かんたん設置設定(➜22、23)	● する ● <u>しない</u>
設置	自動電源〔切〕 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。 ●時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。	●2H ●<u>6H</u> ●切
	リモコンモード(➜26)	●<u>リモコン1</u> ●リモコン2 ●リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。(➜93「S 映像出力」)	●S1 :テレビの端子が「S」または「S1」のとき。 ●<u>S1/S2</u> :テレビの端子が「S1」または「S2」のとき。 ● 切 :テレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき。
	時刻合わせ(➜27)	●(年/月/日/時/分) ●自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「入」に設定すると、「かんたん設置設定」「消去ナビ」「おまかせダビング」実行時に音声で操作ガイダンスを行います。	●<u>入</u> ●切

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
設置（つづき）	**クイックスタート(➔22)** 「入」に設定すると、電源「切」状態から、以下の操作がすばやく行えるようになります。 ●[DVD電源]を押して約1秒で、HDD、DVD-RAMへの録画を開始することができます。 そのほかの操作は、電源を入れてから数十秒かかります。 ●[番組表]を押して約1秒後に、番組表(Gガイド)を表示します。	●入　●切 「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 –待機時消費電力が増えます。 –本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に"PLEASE WAIT"と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブやHDDから動作音がしますが、故障ではありません。）
	設定の初期化 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 (チャンネルの設定、時刻と視聴制限は除く)	●する ●しない 設定の初期化を行うと、本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の状態（リモコン1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は（本体表示窓に"U30"と表示）、リモコンモードを変更してください。（➔27「本体表示窓に"U30"が表示されたら」）
ディスク	**再生設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 –暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。 –**暗証番号は忘れないでください。**	●レベル8　:すべてのディスクが視聴可。 ●レベル7～1　:制限レベルの記録されているディスク（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可。 ●レベル0　:すべてのディスクが視聴不可。 ●ロック解除　●暗証番号変更　●レベル変更　●一時解除
	DVD-AudioのVideoモード再生 DVDオーディオに収録されたDVDビデオ映像を再生します。	●入（電源「切」または本体の[▲開/閉]で「切」に戻ります） ●切
	音声言語 DVDビデオ再生時の音声を選びます。	●日本語　●英語 ●オリジナル （ディスクの最優先言語で再生） ●その他＊＊＊＊
	字幕言語 DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	●オート:「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ●日本語　●英語 ●その他＊＊＊＊
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	●日本語　●英語 ●その他＊＊＊＊
		＊には[1]～[10/0]で言語番号(➔93)を入力 （選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面(➔45)でのみ切り換えるものもあります）
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。 (➔31「録画モード」)	●EP(6H)：4.7 GBディスクに6時間記録 ●EP(8H)：4.7 GBディスクに8時間記録
	高速ダビング用録画 HDDに録画後、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに高速ダビングできるようになります。ただし録画される番組は画面サイズなどが制限されます。(➔右記) 「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rへの高速ダビングはできなくなります。	●入:高速ダビング対応にする→[決定]を押して、さらに「はい」を選びます。 –録画される番組には以下の制限がかかります。 ・画面サイズは4:3になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➔76)で選んだ方の音声のみ記録されます。 –本機を接続した入力（ビデオ1など）でテレビを視聴中、音声を切り換えることはできなくなります。[二重放送の音声は、「二重放送音声記録」(➔76)で選ばれている方が出力されます。] ●切
	野球延長設定(➔41)	→[決定]を押してさらに設定します。
	野球延長 「入」に設定すると、番組表に延長情報を含む番組と、同じチャンネルのそれ以降に放送される番組を予約録画する際、自動的に録画時間を延長します。(➔41)	●入　●切 予約時の設定ではなく、予約録画開始時点での設定が有効となります。
	延長時間 延長録画を何分行うかを設定します。	●30分　●60分 ●120分 通常は、番組の最大延長時間に合わせて最大120分、録画を延長します。番組表に最大何分延長するかの情報が含まれていない場合（例：試合終了まで放送延長の場合など）のみ、ここで設定された時間分、延長録画を行います。
	番組追従(➔41) 「入」に設定すると、予約後に番組の放送時間が変わっても、録画開始までにその変更が反映されている番組表データを受信すれば、その変更内容に合わせて予約を変更し、録画の失敗を防ぎます。	●入　●切 –番組表から予約登録した番組にのみ働きます（毎日・毎週予約を含む）。ただし、「CH」「開始」「終了」を変更した番組、または「番組名」をすべて消去した番組には働きません。 –番組名を著しく変更した場合、変更後の番組名で番組を検索しますので、正しく働かない場合があります。 –放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 –番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては、正しく働かない場合があります。

本機の設定を変える（初期設定一覧）（つづき）

メニュー	設定項目		設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
映像	**スチルモード** 一時停止時の画像の表示方法が選べます。 （➜92「フレーム/フィールド」）		●オート ●フィールド：動きのある映像や“オート”時にぶれが生じるとき ●フレーム　：“オート”時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 プレイリストのチャプターのつなぎ目を再生する状態が選べます。		●入：なめらかに再生（早見再生中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります） ●切：精度よく再生（つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります）
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。		●入（ドルビーデジタルの音声にのみ働きます） ●切
	二重放送音声記録 記録する二重放送の音声を選びます。 ●DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R に記録（ダビング）する場合 ●「高速ダビング用録画」（➜75）を「入」にして録画する場合 ●「記録音声モードの設定[XP時]」（➜下記）を「LPCM」にして録画する場合		●主音声　●副音声 （ビデオからのダビングなど、外部入力から録画する場合は、本機では選べません。接続した機器側で選んでください。）
	デジタル出力		→[決定]を押して、さらに設定します。
		PCMダウンサンプリング変換 サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHz で収録された音声を48 kHzまたは 44.1 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。	●入：96 kHzまたは 88.2 kHz に対応していない機器と接続したとき。 ●切：96 kHzまたは 88.2 kHz に対応した機器と接続したとき。 （176.4 kHz 以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定に関わらず 48 kHz または 44.1 kHzに変換されます。）
		Dolby Digital ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM（2ch）”に処理して出力するかを設定します。	●Bitstream：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続するとき。 ●PCM　：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続するとき。 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 DOLBY DIGITAL　ドルビーデジタル DIGITAL dts SURROUND　DTS デジタルサラウンド
		DTS DTSの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM（2ch）”に処理して出力するかを設定します。	●Bitstream：DTS デジタルサラウンドロゴのある機器に接続するとき。 ●PCM　：DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続するとき。
	記録音声モードの設定［XP時］ 録画モードが XP 時に、記録する音声の種類が選べます。 （XPでの録画時やダビング時に働きます）		●Dolby Digital（➜93） ●LPCM（➜93）： – 画質は少し下がります。 – XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 – 二重放送の音声は「二重放送音声記録」（➜上記）であらかじめ選んでください。
	DV 入力時の音声の設定 DV 入力端子（➜66）から録音する音声の種類を選べます。		● ステレオ 1：DV 録画時の音声（L1, R1）を録音するとき ● ステレオ 2：編集などであとから追加した音声（L2, R2：ナレーションなど）を録音するとき ●MIX：　ステレオ 1 とステレオ 2 の音声を録音するとき [LPCM で録音する場合は、「二重放送音声記録」（➜上記）で音声をあらかじめ選んでください。]
画面設定	**オンスクリーン表示［オート］** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。		●入　●切（表示しない）
	ブルーバック 受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。		●入　●切（表示しない）
	FLディマー 本体表示窓の明るさを調節します。		●常時 明　●常時 暗 ●オート：再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。 ボタン操作時に一時的に明るくなります。電源「切」時の消費電力の節電になります。 クイックスタート「切」時：約 0.9 W クイックスタート「入」時：約 11.4 W
接続	**接続するTV** 接続したテレビに合わせて設定します。（➜26）		●4:3インターレース（525i）　●4:3プログレッシブ（525p）対応 ●16:9インターレース（525i）　●16:9プログレッシブ（525p）対応
	TVアスペクト(4:3)設定 4:3テレビでの16:9映像の映し方を選びます。	DVD-Video	●パン＆スキャン：左右の切れた映像 （パン＆スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。） ●レターボックス：上下に帯のある映像
		DVD-RAM	●スルー　：録画された映像の横縦比 ●パン＆スキャン：左右の切れた映像 ●レターボックス：上下に帯のある映像
	外部入力３の端子設定 後面の外部入力３（L3）に接続する機器に合わせて設定します。		●ライン　：BS デコーダー以外と接続 ●BS デコーダー：BS デコーダーと接続

Q & A(よくあるご質問)

	Q（質問）	A（回答）	ページ
設置／接続	転居先で使えるか？	●本機は日本国内専用です。東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使えません。	—
	テレビにS端子、D端子とコンポーネント端子があるが、どれに接続したらいいか？	●D端子やコンポーネント端子はDVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S端子より、さらに忠実に色を再現します。	18
	プログレッシブ映像を楽しむには、どんなテレビが必要か？	●当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。他社製については、メーカーの問い合わせ窓口にご確認ください。	—
	ドルビーデジタルやDTSのマルチチャンネル音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か？	●本機だけではマルチチャンネル音声は楽しめません。光デジタルケーブルでドルビーデジタルやDTSのデコーダー搭載アンプなどを接続してください。 ●本機ではDVDオーディオ再生が2チャンネルのため、DVDオーディオはマルチチャンネル音声では楽しめません。	21 —
	ヘッドホンやスピーカーを直接つなげるか？	●本機には直接接続できません。アンプなどを通して接続してください。	21
ディスク	DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+RWは使えるか？	●使用できます（高速記録にも対応）。ただし直接録画することはできません。 –DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R はダビング、再生ができます。 –DVD-RW(VR 方式)、+RW は再生のみとなります。	5
	CD-R や CD-RW は使えるか？	●CD-DA、ビデオCD、MP3や写真（JPEG/TIFF）のフォーマットで記録されたCD-RやCD-RWが再生できます。 ●本機はCD-RやCD-RWには記録できません。	6,7 —
	海外で買ったDVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか？	●映像方式がNTSCであれば再生できます。DVDオーディオは音声のみ再生できます。 ●DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	— 6
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか？	●DVDビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。リージョン番号がない場合DVDビデオは再生できません。	—
録画・ダビングや録音	ビデオやDVDから録画できるか？	●市販されているほとんどのDVDやビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	—
	本機でダビングしたDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R は他の機器で再生できるか？	●本機で記録（ダビング）したDVD-R（DVD-Video方式）、DVD-RW（DVD-Video方式）や+Rをファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます（ただし、すべての機器で再生保証するものではありません）。また、記録状態によって再生できない場合があります。 ●DVD-R（VR方式）は、2005年7月以降に発売される当社製DVDレコーダーで再生できます。（2005年9月現在） ●DVD-R DLは、2005年2月にDVDフォーラムで定められた新規格です。このディスクを再生するときは、DVD-R DLに対応した機器を使用してください。	72 — —
	本機でデジタル信号を録音できるか？	●デジタル信号では録音できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	—
	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか？	●デジタル信号（PCM）で録音できます。DVDの音声を録音する場合、**初期設定**「デジタル出力」で「PCMダウンサンプリング変換」を「入」に、「Dolby Digital」と「DTS」を「PCM」に設定してください。（ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です。） ●MP3信号は録音できません。	76 —
	ディスクに高速でダビングできるか？	●できます。高速記録対応のディスクを使用すると、1時間の番組を、DVD-R、+Rに最短約５６秒、DVD-RAMに最短約1.5分、DVD-RW（DVD-Video方式）に最短約１.９分、DVD-R DLに最短約3.75分でダビングできます。	59
	MPEG4は録画できるか？	●できません。本機はMPEG4に対応していません。	—
地上デジタル・CS・BS放送	地上デジタルやBS、CSの放送を見ることができるか？また、それらの放送を録画できるか？	●BS（アナログ）：BSチューナーを接続しなくても、見たり録画したりすることができます。（BS5チャンネルは、WOWOWと受信契約し、デコーダーとの接続が必要です。BS9チャンネルではできません。） ●地上デジタル、BSデジタル、CSの放送：本機だけでは見ることはできません。地上デジタル・BSデジタル・CSデジタルのチューナーなどを本機の外部入力（L1〜L3）に接続し、接続した外部入力チャンネル（L1〜L3）を選ぶと、放送を見たり録画することができます。 ●有料放送は、放送会社との受信契約が必要です。 ●デジタル放送には、著作権保護のため、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられます。このような映像を録画するには、HDDを使用するか“CPRM”対応のDVD-RAMが必要です。ディスクのジャケットなどで確認してください。また、これらの映像は複製できません。CPRM対応のDVD-RWに録画することはできません。 ●HDDに録画した番組をCPRM対応のDVD-RAMまたはDVD-R（VR方式）にダビング（移動）させることができます。 ●デジタルハイビジョン画質での録画はできません。 ●チューナーが予約待機できる場合、「外部入力自動録画」で録画できます。 ●チューナーのIrシステムがDVDレコーダーに対応している場合は、Irシステムを使って録画することができます。接続した機器の説明書をご覧ください。	20 20,43 — — — — 43 43
	BSアナログのハイビジョン放送は録画できるか？	●M-Nコンバーター内蔵の機器を本機の外部入力（L1〜L3）に接続し、接続した外部入力チャンネル（L1〜L3）を選ぶと録画できます。ただし、ハイビジョン画質では録画できません。	43
どっちも録り	2番組同時録画（どっちも録り）の仕組みがわからない	●レコーダー1、2が選択でき、それぞれが別のチャンネルを受信することができるため、２番組同時録画が可能になります。	32,92
	レコーダー１とレコーダー２で録画した内容は、録画先で区別されるのか？	●区別されません。レコーダー1、レコーダー2のどちらで録画したかに関係なく、録画を開始した順にHDDまたはDVD-RAMに記録されます。	—
	再生時にレコーダー1、２ を指定する必要があるのか？	●レコーダー1、2どちらが選ばれていてもかまいません。再生したい番組が記録されているドライブ（HDD、DVD）を選択してください。 ●録画中の番組を再生（追っかけ再生）する場合のみ、レコーダーを指定する必要があります。番組を録画中のレコーダーに切り換えてください。	— 35
	DVD-RAMに２番組を同時に録画できるか？	●できません。HDDに２番組を同時に録画するか、HDDに１番組、DVD-RAMに１番組を同時に録画することが可能です。	—
	BS アナログの２番組を同時に録画できるか？	●できません。BSアナログは1番組のみ録画できます。	—
	DV 入力から録画中に他の番組を録画できるか？	●できません。予約録画の開始時刻になると予約録画が実行され、DV入力からの録画は止まります。	—

こんな表示が出たら

テレビ画面	調べるところ・原因・対策	ページ
動作を継続できませんでした。決定ボタンを押してください。自動で電源を切り、再起動の後、自動診断を始めます。	●[決定]を押すと、復旧動作を行います。復旧動作中(本体表示窓に“SELF CHECK”表示中)は操作できません。	—
ディスクが入っていません	●ディスクが裏返しになっていませんか。	14
(対応)カードが入っていません	●カードが入っていません。対応したカードを入れたのに表示された場合は、本体の電源を切り、カードを入れ直してください。 ●カードのフォーマットが異なっています。	7,14 7
記録できないディスクが入っています このディスクは規定のフォーマットがされていません	●DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+R以外のディスクが入っています。 ●ファイナライズ後のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rが入っています。 ●フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RWが入っています。	5 — 71
(ディスクなどが)いっぱいで記録できません 番組数がいっぱいで記録できません ダビング先の容量が足りません	●不要な番組や写真を消去してください。 HDD RAM -RW(V) SD ●新しいディスクやカードを使ってください。	51,53 57 —
レコーダー（数字）は録画中のため実行できません （数字）は 1 ～ 2 のいずれかを表示	●録画中のレコーダーが選択されています。[レコーダー 切換]を押して、録画中でないレコーダーに切り換えてください。	33
DVD には録画は 1 つしかできません	●すでにDVD-RAMに録画中です。[HDD/DVD/SD 切換]を押して、録画先ドライブを切り換えてください。	33
録画を正常に終了できませんでした	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組数を超えていませんか。	— — 31
ディスクへの書き込みができません フォーマットできません	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	9
自動診断が正常に完了しませんでした。 1）開／閉ボタンを押してディスクを取り出し、他のディスクをご使用ください。 2）電源ボタンを押して再起動させてください。	●ディスクに異常が発生した恐れがあります。 [▲開/閉]を押して、ディスクを取り出し(電源が切れます)、ディスクに傷や汚れがないか確認してください。	9
ホスト局が設定されていません 番組データは未取得です	●チャンネルと番組表を設定してください。	22～25
この放送局の番組データは取得できません	●設定した「Gガイド地域」に対応したホスト局を選んでください。 ●放送局名が正しく設定されているか、「マニュアルチャンネル設定」で確認してください。	88 28
予約チャンネルを合わせてください	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード予約ができません。	28
⊘	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。ディスクが入っていない状態でDVD側を再生しようとしていないかなど、操作をご確認ください。	—
再生できません	●非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	6
本機では再生できません	●非対応の画像を再生しようとしました。 ●本機の電源を切り、カードを入れ直してください。	— 14
フォルダがありません	●本機で対応したフォルダがありません。	7,92

本体表示窓	調べるところ・原因・対策	ページ
NO READ	●ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ●レンズクリーナーでの作業が終了しましたので、[▲開/閉]を押して取り出してください。	9 —
SELF CHECK	●録画や再生、ダビング中に、ディスクに異常が確認された場合や、停電、または動作中に電源コードが抜けた場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示しています。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	79
UNSUPPORT	●本機で録画や再生ができないディスクが入っています。	5,6
HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
HDD SLP	●HDDの寿命を延ばすため、休止状態になりました。ボタンを押すとHDDが起動します。	8
PROG FULL	●すでに64件の予約がされています。不要な予約を消してください。	42
U30 REMOTE(数字) (数字)は 1 ～ 3 の いずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。 U30 REMOTE 2 ― リモコン操作でこの数字のボタンと [決定]を同時に2秒以上押したままにしてください	27
U50 ※	●BSアンテナ線がショートしているため、自動的にBS電源を切りました。BSアンテナを正しく接続した後、「BS電源」を再設定してください。	30
U59 ※	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、後面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	—
U99 ※	●本機が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を入/切してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
UNFORMAT	●フォーマット(初期化)されていないDVD-RAM、DVD-RWまたは他の機器で記録されたDVD-Video方式のDVD-RWが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	71
PLEASE WAIT	●終了処理中です。”BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ●**初期設定**「クイックスタート」を「入」に設定している場合、停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— 22
R35:50 数字は例です。	●HDDまたはディスクの残量です。(異常ではありません。) 「R」は「Remain(残量)」を、「35:50」は「35時間50分」を意味します。	—
EPG	●番組表(Gガイド)のデータ送信時刻になると表示されます。 ●番組表(Gガイド)を表示中です。	22 —

※ これらの表示をサービス番号と呼びます。上記に紹介している操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。 ご依頼の際には「サービス番号、U99」などとお知らせください。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

次のような場合は、故障ではありません。

- 周期的なディスクの回転音がする。（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります。）
- 電源切/入及び休止時（「HDD SLP」状態）に音がする。休止中の反応が遅い。
- 気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- 早送り／早戻しすると映像が乱れる。
- BS/CS放送の一時的な休止による受信障害

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	**電源が入らない**	●電源プラグがコンセントから外れていませんか。 ●外部入力自動録画の待機中ではありませんか。("EXT Link"点灯) **[外部入力自動録画]**を押して解除してください。("EXT Link"消灯) ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」の場合、本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に"PLEASE WAIT"と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブやHDDから動作音がしますが、故障ではありません。）	17 43 75
	自動的に電源が切れた	●節電機能（**初期設定**「自動電源〔切〕」）が設定されていませんか。 ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の**[電源⏻/I]**を押し、電源を入れてください。	74 —
表示	**表示が暗い**	●**初期設定**「FLディマー」で明るさを変えてください。	76
	"0：00"が点滅している	●時刻を合わせてください。	27
	"再生"が点滅している	●続き再生メモリー機能が働いています。解除するには**[停止■]**を数回押してください。（"再生"の点滅が消えます。）	46
	録画や再生時の時間表示が実際よりも少なく表示される	●録画や再生時の時間表示は、映像信号を基準に1秒を0.999秒(29.97フレーム)としており、実際の録画時間より若干短くなりますが、実際の録画には影響ありません。（例：1時間番組は約59分56秒と表示）	—
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする **MP3の再生時間が実際と違う**	●残量表示は実際より増減することがあります。 ●DVD-R、DVD-R DL、+Rは、番組を消去しても残量は増えません。 ●DVD-RW(DVD-Video方式)は、最後に記録(ダビング)した番組を消去したときのみ残量が増えます。 ●DVD-R、DVD-R DL、+Rに記録(ダビング)や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。 ●早送り／早戻し中は、時間表示が正しく表示されないことがあります。	— — — — —
	表示部に"SELF CHECK"が表示され、ディスクが取り出せない	●以下の操作でディスクを取り出してください。 1、本体の **[電源⏻/I]** を押して電源を切る。（切れない場合は、本体の **[電源⏻/I]** を約10秒以上押したままにしてください。） 2、電源が「切」の状態で、本体の**[停止■]**と**[∧ チャンネル]**を同時に約5秒以上押したままにする。（ディスクトレイが開きます。）	—
テレビ画面や映像	**接続後、テレビの映りが悪くなった**	●分配器を使っていませんか。市販のブースターで改善できることがあります。 ●BSアンテナからの線が劣化していませんか。販売店にご相談ください。	— —
	映像が出ない **映像が乱れる**	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビに接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしていませんか。本体の**[停止■]**と**[再生▶]**を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。	16～20 — —
	横縦比4:3 の画像が左右に伸びる **画面サイズがおかしい**	●テレビ側の画面モードで調節できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。調節できないときは、**再生設定**「映像」メニューで「プログレッシブ」を「切」にしてください。 ●**初期設定**「接続するTV」、「ワイドモード」、「DVD-Video」、「DVD-RAM」の設定を確認してください。	50 74,76
	録画した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●以下のように録画した場合、16:9 映像は 4:3 映像で記録されます。 –HDD、DVD-RAM に、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画した場合（お買い上げ時の設定は「入」） –DVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに記録(ダビング)した場合 テレビ側の画面モードで調節できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	— 75 —
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「インテグレイティッドDNR」を0にするか、「MPEG-DNR」を「切」にしてください。	50
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時に、映像の一部が瞬間的に二重にぶれて見える	●映像ソフトそのものの編集方法や、素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**再生設定**「映像」メニューで「プログレッシブ」を「切」にしてください。	50
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	画面メッセージが出ない	●**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」が「入」になっていますか。	76
	ブルーバック(青い画面)にならない	●**初期設定**「ブルーバック」が「入」になっていますか。	76
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の入/切に関わらず実行されます。予約録画の内容を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
	地上デジタルやBS、CS放送が映らない **有料番組やハイビジョン放送が見られない**	●接続を確認してください。WOWOWなどは、各放送局と契約が必要です。 ●本機のBS-IF出力と接続したテレビでBS放送を見る場合は、本機を使用しない場合でも、必ず本機を電源コンセントに接続してください。 ●本機ではハイビジョン放送は見られません。	16～20 — —
	ハウリング(ピー)音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
	番組表(Gガイド)受信中、音がする	●受信中はHDDが起動するため、音がします。受信する時間帯を変更したい場合は、**初期設定**「データ受信の時間帯設定」で変更してください。	24
	昼の 12:00 頃に音がする	●時刻の自動修正を行っているため、HDDが起動し音がしますが故障ではありません。	—

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
音声	音が出ない 聞きたい音声が出ない 音が小さい、おかしい	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、入力切換なども確かめてください。 ●音声選択が間違っていませんか。**[音声]**を押して、正しい音声を選んでください。 ●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合や二重放送の番組を再生する場合は、**再生設定**「音声」メニューで「サラウンド」を「切」にしてください。 ●ディスク側で音声の出力方法が制限されていませんか。マルチチャンネルのDVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されているため、本機では正常に再生できないものがあります。ディスクのジャケットなどを確認してください。 ●**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画すると、主/副音声のどちらか一方しか記録されません。あとでDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rにダビングするつもりで録画する場合以外は、「切」にしてください。	16~21, 76 47 50 — 75
音声	音声が切り換えられない	●以下の場合は音声の切り換えができません。 – **初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合（お買い上げ時の設定は「入」です。） –「DVD」を選択中、ディスクトレイにDVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R が入っている場合 – 録画モードがXPで、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」が「LPCM」の場合 ●光デジタルケーブルでアンプと接続していませんか。**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。 ●ディスク制作者の意図により音声が切り換えられないディスクもあります。	75 — 76 76 —
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。 ●電池が入っていますか。電池が切れていませんか。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に日光などの強い光が直接当たっていませんか。 ●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）などがありませんか。 ●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。 U30 REMOTE 2 ― リモコン操作で、本体表示窓のこの数字のボタンと**[決定]**を同時に２秒以上押したままにしてください。	26 13 13 — 27
ボタン操作	操作できない	●**「HDD」**、**「DVD」**または**「SD」**を間違って選んでいませんか。 ●レコーダー1、2を間違って選んでいませんか。 ●ディスクによっては、一部操作ができません。 ●“U59”点灯時は本体内部温度が高くなっています。“U59”が消えるまで待ってください。 ●安全装置が働いている場合があります。本体の**[電源⏻/I]**を押し、電源を入/切してください。切れない場合は約１０秒押したままにするか、電源プラグを抜き、約１分後に入れてください。	— 33 — — —
ボタン操作	ディスクが取り出せない	●録画中になっていませんか。 ●本機の故障が考えられます。電源「切」状態で本体の**[停止■]**と**[∧チャンネル]**を同時に約５秒以上押したままにするとディスクトレイが開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	— —
ボタン操作	起動が遅い	●HDDが休止状態になっていませんか（本体表示窓に”HDD SLP”と表示）。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていますか。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、以下の場合は起動に時間がかかります。 –DVD-RAM 以外のディスクが入っている場合 –時計が設定されていない場合や、停電直後や電源コードを差した直後	8 75 —
ボタン操作	DVD-RAMの読み込み時間が長い	●本機ではじめて使用するディスクや、長時間使用しなかったディスクは、読み込み時間が長くなることがあります。**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても同様です。	—
録画や予約、ダビング	録画できない ダビングできない	●ディスクが入っていますか。または録画やダビングができないディスク、フォーマットされていないDVD-RAM、DVD-RW、ファイナライズ済みのDVD-R(VR方式)が入っていませんか。 ●ディスクやカートリッジに誤消去防止（プロテクト）が設定されていませんか。 ●録画制限のある番組を録画しようとしていませんか。 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は録画できません。（不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください） ●本機では、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rに直接録画することはできません。HDDからダビングしてください。ただし、ファイナライズ後はダビングできません。 ●ディスクの出し入れや電源の入/切を約50回以上くり返したDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rは、ダビングや編集ができなくなることがあります。 ●本機で記録（ダビング）したDVD-Rは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。	5,71 70 — 51,53 — — —
録画や予約、ダビング	[停止■]を押しても、録画が停止しない	●レコーダー（1か2）、録画先ドライブ（ＨＤＤかＤＶＤ）が正しく選択されていますか。それぞれを止めたい録画が実行されている方に合わせてから**[停止■]**を押してください。 ●外部入力自動録画中は本体の**[外部入力自動録画]**を押してください。（本体表示窓の”EXT Link”消灯） ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」に設定されているとき、電源を入れてすぐに録画を開始した場合は、数秒間は録画を停止できません。	33 43 75

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画や予約、ダビング(つづき)	Gコード予約できない 予約録画ができない	●予約内容が間違っていませんか。予約録画の時間が3番組以上重なっていませんか。 ●BS放送の予約が重複していませんか。 ●高速ダビング中(ファイナライズを含まない)は1番組のみHDDへ録画します。2つ以上予約が重なっていませんか。 ●予約録画の待機状態になっていますか。**[タイマー切/入 ◴]**を押して、本体表示窓に“ ◴ ”を点灯させてください。 ●ガイドチャンネルが正しく設定されていますか。 ●同じガイドチャンネルが複数のチャンネルに設定されていませんか。不要な方を削除してください。 ●時刻が合っていますか。	42 42 42 37～39 38 28,29 27
	２番組同時録画(どっちも録り)ができない	●すでに録画中のレコーダーが選択されていませんか。**[レコーダー 切換]**を押して、録画中でないレコーダーに切り換えてください。 ●DVD-RAMに２番組同時録画しようとしていませんか。**[HDD/DVD/SD 切換]**を押して、ドライブをHDDに切り換えてください。 ●外部入力自動録画中は２番組同時録画はできません。 ●１番組を録画中にぴったり録画はできません。 ●高速ダビング中は１番組のみHDDへ録画可能です。(ファイナライズを含むダビング中はできません。) ●BSアナログの2番組を同時に録画することはできません。 ●DV入力から録画中に他の番組を録画することはできません。(ただし、予約録画の場合は、開始時刻になると予約が開始され、DV入力からの録画は停止します。)	33 33 ― ― ― ― ―
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日･毎週予約のときは予約内容が残ります。	―
	外部入力自動録画ができない	●チューナーなどが、本機の外部入力１（Ｌ１）に接続されていますか。	19､20
	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画、ダビングや編集中に停電や電源コードが抜けるなどで電源が切れませんでしたか。番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。フォーマット(HDD RAM -RW(V))するか、新しいディスクを使ってください。(当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません。) ●HDDに自動更新(オートリニューアル)を｢入｣にして録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、予約録画します。	71 36,39
	予約した番組と違う番組が録画されていた	●予約録画時に野球延長対応機能が働くと､録画した番組の最初､または最後の部分に最大120分､予約番組の前後に放送された番組の内容が含まれる場合があります。｢部分消去｣でこの部分を消去してください。	53
	野球延長対応機能が働かない	●**初期設定**｢野球延長｣が｢入｣になっていますか。 ●番組表データに延長情報が含まれていない場合には働きません。また、本機では検出できない言葉を含んでいる場合など、番組表データの内容によっては、延長情報を含んでいても正しく働かない場合があります。 ●予約登録時ではなく、録画開始時点での延長情報に基づいて延長録画を行います。(新しい番組表データの受信により、延長情報の有無や内容が変わることがあります。) ●19時より前に放送が終了する番組には働きません。 ●延長部分の録画中に３番組目の予約録画が始まる場合、延長部分の録画を終了します。そういった番組は予約一覧画面で｢本編可｣と表示されます。 ●野球延長対応機能は、最大で120分の録画時間延長が可能です。それ以上の延長放送を録画することはできません。	75 ― ― ― 42 ―
	番組追従機能が働かない	●**初期設定**｢番組追従｣が｢入｣になっていますか。 ●番組表を使って予約した番組でも､｢CH｣｢開始｣｢終了｣を変更した番組､または｢番組名｣をすべて消去した番組には働きません。 ●番組名を著しく変更した場合、変更後の番組名で番組を検索しますので、正しく働かない場合があります。 ● 放送開始時刻または終了時刻に２時間以上の変更があった番組には働きません。 ●番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては、正しく働かない場合があります。	75 ― ― ― ―
	DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+Rに高速モードでダビングできない	●HDDへの録画前に**初期設定**｢高速ダビング用録画｣を｢切｣に設定しませんでしたか。(お買い上げ時の設定は｢入｣です。)	75
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っていませんか。高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。 ●6時間以上の番組は、EP（8H）モードのない他の当社製DVDレコーダーでは、DVD-R(DVD-Video方式)に高速モードでダビングできません。	― ― ―
	DVおまかせ取込ができない	●録画できない場合や中断する場合は、接続と接続機器の設定などを確かめてください。 ●｢レコーダー2｣が選ばれていませんか。**[レコーダー切換]**で｢レコーダー1｣を選んでください。 ●録画やダビング中はできません。 ●DV機器からの映像がテレビ画面に表示されない場合は、録画できません。 ●テープ上でタイムコードが連続していない場合や、接続した機器によっては、正しく働かない場合があります。	66 ― ― ― ―
番組表(Gガイド)	番組表(G ガイド)が表示されない 8日分表示されない	●**初期設定**｢番組表設定｣や時刻が正しく設定されていますか。 ●番組表(Gガイド)データは1日に数回送信されます。お買い上げ直後は、番組表(Gガイド)データが受信されていません。 –電源｢切｣状態でしばらくお待ちください。(１日程度かかる場合があります。お買い上げ時の受信時刻設定は、｢番組表(Gガイド)データ送信時刻｣をご覧ください) – データ送信時刻に録画を行っているときや、データ受信中に本機を操作したときは、データを受信できません。 ●外部入力自動録画の待機中だった場合、番組表(Gガイド)のデータは受信できません。 ●ホスト局の電波が弱い場合や、強度のゴーストを含んでいる場合は、番組表(Gガイド)データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	27,29 24 24 ― ―
	番組表(G ガイド)に表示されない放送局がある	●**初期設定**｢マニュアルチャンネル設定｣の｢放送局名｣が正しく設定されていない。 ●**初期設定**｢Gガイド地域｣で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表(Gガイド)に放送内容は表示されません。	28 88
	番組表(G ガイド)に同じ放送局が2つ表示されている	●番組表(Gガイド)を表示する前に見ていた放送局は一番左に追加表示されるため、画面内に同じ放送局が２つ表示される場合があります。どちらを選んでも問題はありません。	―
	番組表(G ガイド)に“ 予 ”が表示されない	●番組の一部のみを予約した場合は表示されません。	―
	録画した番組と番組名が合っていない	●予約設定後に番組内容が変更されても、予約時の番組名で録画されます。 ●携帯電話のEPG録画サービスを利用して予約を変更した場合、番組名が変更される場合があります。	― ―

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生	再生ができない。すぐに停止する	●ディスクを正しく入れていますか(裏表が逆になっているなど)。またはディスクが汚れていませんか。 ●本機で使えないディスク、未記録ディスクや他機でフォーマットのみ行った+RWが入っていませんか。 ●他のDVDレコーダーやパソコンなどで録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ●DVD-RAMにEP（8H）モードで録画した場合、DVD-RAM 再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。この場合は、EP（6H）モードで録画してください。	9,14 5,6 10 75
	映像や音声が一瞬止まる	●プレイリストのチャプターのつなぎ目で起きます。 ●高速モードでダビングしたファイナライズ後のDVD-R(DVD-Video方式)、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rでは、部分消去をした部分やチャプターのつなぎ目で起きることがあります。 ●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ●2番組を同時録画中に再生すると、映像や音声が一瞬止まることがあります。 ●DVD-R DLの場合、2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	— — — — 44
	DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されていませんか。**初期設定**「視聴制限」を変更してください。	75
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ●**再生設定**の「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 45
	字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていますか。	50
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	—
	視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。DVDドライブを選び、**[▲開/閉]**を押して、トレイが開いている状態で、本体の**[録画●]**と**[再生▶]**を同時に5秒以上押してください。(表示窓に“INIT”が表示)	—
	早見再生ができない	●音声がドルビーデジタル以外の場合や、録画モードが”XP”または”FR”でDVD-RAMへの録画中は働きません。	—
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。また、早見再生中は働きません。 ●最大49回働きます。(HDD :1番組あたり49回/ RAM -R(VR) :ディスク1枚あたり49回)それを超えた場合は働きません。	— —
	続き再生メモリー機能が働かない	●本体表示窓の“再生”が点滅していないときは働きません。(再生ナビやプレイリストの画面を表示中は点滅しません。) ●記憶した位置は、以下の場合解除されます。 –数回**[停止■]**を押す。(“再生”の点滅が消えます。) –トレイを開ける。(HDDを除く) – DVD-A VCD CD 電源を切る。 –録画や予約録画を行った場合。(“再生”は点滅したままです。)	— —
編集・整理	番組を消去しても残量が増えない	●DVD-R、DVD-R DL、+Rは消去しても残量は増えません。 ●DVD-RW(DVD-Video方式)は、最後に記録(ダビング)した番組を消去したときのみ、残量が増えます。途中の番組を消去しても残量は増えません。	— —
	編集できない	●HDDに空き容量がないと、HDDでの編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して空き容量を作ってください。 ●ファイナライズ済みのDVD-R(VR方式)を使っていませんか。	51,53 —
	フォーマットできない	●ディスクが汚れていませんか。 ●本機で使えないディスクを使っていませんか。	9 5,6
	チャプターが作成できない 部分消去のイン点、アウト点が設定できない	●作成したチャプター情報は、電源を切るときまたはディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 ●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。 ●静止画部分では作成できません。	— — —
	チャプターが消去できない	●チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。	54
	プレイリストが作成できない	●番組が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。	—
写真	再生ナビ画面を表示できない	●録画やダビング中、外部入力自動録画の待機中はできません。	—
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。(カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定オフ」と表示される場合があります。)	70
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか。(カードの内容が壊れている場合もあります。) 他の機器ではFAT12またはFAT16で、または本機でフォーマットしてください。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8MB～2GBまでのSDメモリーカードが使用できます。	7 7,92 — 7
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	— 71

「故障かな !?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

修理診断カルテ

ご記入日：　　　　年　　月　　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容は全て失われます。）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号 （保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　　月　　日	保証書添付	□ 有り　□ 無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り （有償修理時のみ）	□ 不要　□ ＿＿＿＿ 万円以上必要　□ 必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください。） □ 電源コード　□ リモコン　□ ディスク　□ その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。
HDDの初期化 （録画内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容は全て失われます。） HDDの初期化に同意されますか。 □ 同意する □ 同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります。） ご署名　　　　　　　印

＜不具合症状について＞

不具合症状	（発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください。） 例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。
発生条件	＜発生条件＞ 1. □ HDD　□ DVD（下欄※に詳細をご記入ください。） 2. □ 録画時　□ 再生時　□ ダビング時（HDD⇄DVD） 　□ 本機のチューナーからの録画 　□ 外部入力からの録画（ビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など） ＜エラー表示＞ □ 有り 　□ テレビ画面 　　表示内容：＿＿＿＿＿＿＿＿ 　□ 本体表示窓 　　表示内容：＿＿＿＿＿＿＿＿ □ 無し
発生頻度	□ 常時　□ 時々　□ ＿＿＿＿ 回に ＿＿＿＿ 回位

＜※DVDディスクに関して＞

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク	□ DVD-RAM　メーカー名：　品番： □ DVD-R　メーカー名：　品番： □ DVD-R DL　メーカー名：　品番： □ DVD-RW　メーカー名：　品番： □ +R　メーカー名：　品番： □ DVDビデオ　タイトル：　ディスクNo.： □ その他
発生箇所	□ 最初から再生できない　□ ＿＿ 分 ＿＿ 秒位の部分から症状が発生　□ タイトルNo.： チャプターNo.：

＜接続テレビに関して＞

接続テレビ	テレビメーカー名：　機種名： 接続端子：□ ピン端子　□ S端子　□ D端子　□ その他

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

きりとり線

主な仕様

待機時消費電力:
クイックスタート「切」時　約 2.9 W※1（電源「切」時）
[約 3.3 W（時刻表示点灯時） 約 0.9 W（時刻表示消灯時）]
クイックスタート「入」時　約 12.2 W※1（電源「切」時）
[約 12.4 W（時刻表示点灯時） 約 11.4 W（時刻表示消灯時）]

電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	約 36 W
外形寸法（幅×奥行×高さ）	430 mm×350.5 mm×63 mm
質量	約 4.7 kg
許容周囲温度	＋5～40 ℃
許容相対湿度	10～80%RH（結露なきこと）
記録可能なディスク	●DVD-RAM: Ver.2.0 Ver.2.1/3×-SPEED DVD-RAM Revision 1.0 Ver.2.2/5×-SPEED DVD-RAM Revision 2.0 ●DVD-R: for General Ver.2.0 for General Ver.2.0/4x-SPEED DVD-R Revision 1.0 for General Ver.2.x/8x-SPEED DVD-R Revision 3.0 for DL Ver. 3.x/4x-SPEED DVD-R for DL Revision 1.0 ●DVD-RW: Ver.1.1 Ver.1.1/2x-SPEED DVD-RW Revision 1.0 Ver.1.2/4x-SPEED DVD-RW Revision 2.0 ●+R: Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.2
記録方式	●DVD-RAM: DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R: DVDビデオ規格準拠、DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R DL（片面2層）:DVDビデオ規格準拠 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠
記録時間	（4.7 GB ディスク使用時） 最大8時間 XP：約1時間、 SP：約2時間、 LP：約4時間、 EP：約6時間または約8時間 （内蔵 HDD 使用時） 最大 355 時間 XP：約 44 時間、 SP：約 89 時間、 LP：約 177 時間、 EP：約 266 時間または約 355 時間
再生可能なディスク	●DVD-RAM ●DVD-R ●DVD-RW ●DVD-R DL（片面2層） ●+R ●+RW ●DVD-Video ●DVD-Audio ●CD-Audio（CD-DA） ●VCD ●CD-R/RW（MP3、CD-DA、VCD、JPEG フォーマット記録のディスク）
内蔵 HDD 容量	200 GB
時計	クォーツ制御 24 時間表示 デジタル表示
プログラム数	1ヵ月 64 プログラム
停電保証期間	約5年
外部コントロール端子	別売ブロードバンドレシーバー用

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

この仕様は、性能向上のため変更することがあります

映像

記録圧縮方式	MPEG 2（Hybrid VBR）
映像入力	入力端子：3 系統 入力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω）
S 映像入力	入力端子：3 系統 Y 入力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω） C 入力レベル：0.286 Vp-p（75 Ω）
映像出力	出力端子：2 系統 出力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω）
S 映像出力	出力端子：2 系統 Y 出力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω） C 出力レベル：0.286 Vp-p（75 Ω）
D 端子映像出力	出力端子：1 系統 ●D1/D2 端子: （525i：Y、CB、CR/525p：Y、PB、PR） Y 出力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω） CB/PB 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω） CR/PR 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω）

音声

記録・再生圧縮方式	Dolby Digital：2 ch 記録 リニア PCM（XP モードのみ切り換え可）：2 ch 記録
アナログ入力	入力端子：3 系統、LINE（ピンジャック） 基準入力：309 mVrms 入力レベル FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB、47 kΩ）
アナログ出力	出力端子： ●2 ch 出力（ミックス音声）： 2 系統、LINE（ピンジャック） 基準出力：309 mVrms 出力レベル FS:2 Vrms（1 kHz、0 dB、10 kΩ 負荷）
チャンネル数	記録：2チャンネル、再生：2チャンネル
デジタル出力	出力端子：1 系統、光コネクター （PCM、ドルビーデジタル、DTS 対応）

テレビジョン方式

映像方式	NTSC 方式 525 本 60 フィールド
アンテナ受信入力	VHF：1～12 CH 75Ω UHF：13～62 CH 75Ω CATV：C13～C63 CH 75Ω BS：1･3･5･7･9･11･13･15 CH※2 75Ω
アンテナ用電源出力	DC15V、最大4 W
検波入力/出力	0.67 Vp-p（75 Ω）
ビットストリーム入力/出力	0.50 Vp-p（75 Ω）

DV 入力

入力端子	4 ピン :1 系統

カード機能

静止画（JPEG、TIFF）

スロット	SD メモリーカード
対応カード	SD メモリーカード※3 マルチメディアカード
対応フォーマット	FAT12、FAT16
画像ファイル形式	●JPEG ベースライン方式 [DCF(Design rule for Camera File system) 準拠] ●TIFF（非圧縮 RGB 点順次）対応 ●DPOF 対応
画素数	34×34～6144×4096 サブサンプリング 4:2:2、4:2:0
解凍時間※4	約7秒（200 万画素、JPEG）

MPEG2

スロット	SD メモリーカード
対応カード	SD メモリーカード※3
ファイル形式	SD VIDEO 規格準拠 SD（SD VIDEO 規格）から HDD/RAM/DVD-R（ビデオレコーディング規格）への変換転送後に再生可能

※1 VTR の省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。
※2 本機では BS9（ハイビジョン放送）は見られません。
※3 miniSD™ カードを含む（miniSD™ アダプター装着時）
※4 解凍時間は使用環境（ファイル数･圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

市外局番チャンネル設定一覧(VHF/UHF)

かんたん設置設定(➜22)を行うと、この表のように自動的に放送局が登録されます。
新たに開局した放送局やCATV放送のガイドチャンネルについては、販売店やCATV会社にご確認ください。

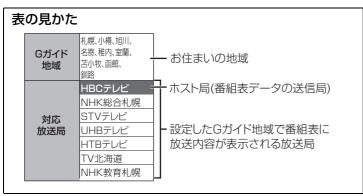
地上デジタル放送の導入にともない、一部の地域では、地上アナログ放送局のチャンネルが変更になることがあります。この場合、市外局番チャンネル設定を行った後、マニュアルチャンネル設定で修正が必要になります。

都道府県	都市名	市外局番	PO(チャンネルポジション)/CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル)																			
			PO 1				PO 2				PO 3				PO 4				PO 5			
			放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
北海道	札幌	011	HBCテレビ	1	1	1					NHK総合札幌	3	3	80	TV北海道	17	17	17	STVテレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育札幌	2	2	90					TV北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育札幌	2	2	90												
	帯広	0155	HTBテレビ	34	34	35									NHK総合札幌	4	4	80				
	釧路	0154					NHK教育札幌	2	2	90					TV北海道	29	29	17				
	室蘭	0143					NHK教育札幌	2	2	90					TV北海道	29	29	17				
	函館	0138	TV北海道	21	21	17	UHBテレビ	27	27	27	HTBテレビ	35	35	35	NHK総合札幌	4	4	80				
青森	青森	017	青森放送	1	1	1					NHK総合青森	3	3	80					NHK教育青森	5	5	90
	八戸	0178													青森朝日放送	31	31	34				
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこいテレビ	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合盛岡	4	4	80	IATテレビ	31	31	20
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合仙台	3	3	80					NHK教育仙台	5	5	90
秋田	秋田	018					NHK教育秋田	2	2	90									秋田朝日放送	31	31	31
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合秋田	4	4	80	秋田朝日放送	59	59	31
山形	山形	023													NHK教育山形	4	4	90	さくらんぼ	30	30	30
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合山形	3	3	80					さくらんぼ	24	24	30
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育福島	2	2	90					テレビユー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合福島	1	1	80					NHK教育福島	3	3	90	テレビユー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビユー福島	32	32	31					NHK総合福島	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合東京	44	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	16
栃木	宇都宮	028	NHK総合東京	51	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	49	3	90	日本テレビ	53	4	4	とちぎテレビ	31	31	23
群馬	前橋	027	NHK総合東京	52	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	48
埼玉	さいたま	048	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
東京	東京	03	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合東京	1	1	80	MXテレビ	14	14	14	NHK教育東京	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	MROテレビ	6	6	6	NHK総合富山	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合金沢	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育福井	3	3	90								
山梨	甲府	055	NHK総合甲府	1	1	80					NHK教育甲府	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合長野	2	2	80					長野朝日放送	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日放送	44	44	20					NHK教育長野	3	3	90	NHK総合長野	4	4	80				
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合名古屋	39	3	80					CBCテレビ	5	5	5
静岡	静岡	054					NHK教育静岡	2	2	90					静岡第一テレビ	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一テレビ	30	30	31					NHK総合静岡	4	4	80	CBCテレビ	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合名古屋	3	3	80					CBCテレビ	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合名古屋	31	3	80	毎日放送	4	4	4	CBCテレビ	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合大阪	28	28	80					毎日放送	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合大阪	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合大阪	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合大阪	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日放送	31	4	4	テレビ大阪	19	19	19
奈良	奈良	0742					NHK総合大阪	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4	NHK総合大阪	51	51	ー
和歌山	和歌山	073					NHK総合大阪	32	2	80					毎日放送	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	30
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合鳥取	3	3	80	NHK教育鳥取	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合松江	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10
岡山	岡山	086	OHKテレビ	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育岡山	3	3	90					NHK総合岡山	5	5	80
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合広島	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	084	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育広島	3	3	90					NHK総合広島	5	5	80
山口	山口	083	NHK教育山口	1	1	90	KBCテレビ	2	2	1	TVQ九州放送	23	23	19	山口朝日放送	28	28	28	大分放送	5	5	5
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合徳島	3	3	80	毎日放送	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育高松	39	39	90	毎日放送	4	4	4	NHK総合高松	37	37	80
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育松山	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合松山	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育松山	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31
高知	高知	0888													NHK総合高知	4	4	80				
福岡	福岡	092	KBCテレビ	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合福岡	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	TVQ九州放送	19	19	19
	北九州	093					KBCテレビ	2	2	1	FBSテレビ	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	TVQ九州放送	23	23	19
佐賀	佐賀	0952	KBCテレビ	57	57	1	NHK教育佐賀	40	40	90	FBSテレビ	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	TVQ九州放送	14	14	19
長崎	長崎	095	NHK教育長崎	1	1	90	KBCテレビ	57	57	1	NHK総合長崎	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	KBCテレビ	1	1	1	NHK教育熊本	2	2	90	熊本朝日放送	16	16	16	KKTテレビ	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	KBCテレビ	1	1	1					NHK総合大分	3	3	80	RKB毎日放送	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育宮崎	2	2	90					NHK総合宮崎	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合鹿児島	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育鹿児島	5	5	90
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日放送	28	28	28	NHK総合沖縄	2	2	80												

●お住まいの市外局番が表にない場合は、近隣の地域を参照してください。
●一覧表の ① ～ ⑫ の放送局は、リモコンの [1] ～ [12] を押すだけで選ぶことができます。
●市外局番「000000」を入力すると、チャンネル設定はお買い上げ時の状態になります。
停止中に本体の [∧ チャンネル] と [∨ チャンネル] を同時に 5 秒以上押しても、チャンネル設定はお買い上げ時の状態になります。
● **白抜き文字** の放送局はホスト局[番組表(Gガイド)データの送信局]です。これらの放送局がいずれも受信できない地域では、番組表(Gガイド)は使用できません。

PO(チャンネルポジション)/CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル)

PO ⑥				PO ⑦				PO ⑧				PO ⑨				PO ⑩				PO ⑪				PO ⑫			
放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
								UHBテレビ	27	27	27					HTBテレビ	35	35	35					NHK教育札幌	12	12	90
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	37	37	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	39	39	35	**HBCテレビ**	11	11	1				
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	59	59	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	61	61	35	**HBCテレビ**	53	53	1				
HBCテレビ	6	6	1					UHBテレビ	32	32	27					STVテレビ	10	10	5					NHK教育札幌	12	12	90
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	41	41	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	39	39	35	**HBCテレビ**	11	11	1				
				STVテレビ	7	7	5	UHBテレビ	37	37	27	NHK総合札幌	9	9	80	HTBテレビ	39	39	35	**HBCテレビ**	11	11	1				
HBCテレビ	6	6	1													NHK教育札幌	10	10	90					STVテレビ	12	12	5
								UHBテレビ	27	27	27					青森朝日放送	34	34	34	HTBテレビ	35	35	35	**青森テレビ**	38	38	38
				NHK教育青森	7	7	90					NHK総合青森	9	9	80					青森放送	11	11	1	**青森テレビ**	33	33	38
IBCテレビ	6	6	6	ミヤギテレビ	34	34	34	NHK教育盛岡	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12
				東日本放送	32	32	32					ミヤギテレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12
												NHK総合秋田	9	9	80					秋田放送	11	11	11	**秋田テレビ**	37	37	37
秋田放送	6	6	11					NHK教育秋田	8	8	90													**秋田テレビ**	57	57	37
テレビユー山形	36	36	36					NHK総合山形	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38
NHK教育山形	6	6	90					**テレビユー山形**	22	22	36													山形テレビ	39	39	38
福島中央テレビ	33	33	33	東日本放送	32	32	32	ミヤギテレビ	34	34	34	NHK総合福島	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12
福島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央テレビ	37	37	33	ミヤギテレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12
福島中央テレビ	34	34	33					福島テレビ	8	8	11					NHK教育福島	10	10	90					福島放送	36	36	35
TBSテレビ	40	6	6					フジテレビ	38	8	8	千葉テレビ	39	46	46	テレビ朝日	36	10	10					テレビ東京	32	12	12
TBSテレビ	55	6	6					フジテレビ	57	8	8					テレビ朝日	41	10	10					テレビ東京	44	12	12
TBSテレビ	56	6	6	放送大学	40	16	16	フジテレビ	58	8	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	60	10	10					テレビ東京	62	12	12
TBSテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	tvk	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	tvk	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	tvk	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
								NHK総合新潟	8	8	80					新潟総合テレビ	35	35	35					NHK教育新潟	12	12	90
チューリップ	32	32	32													NHK教育富山	10	10	90					富山テレビ	34	34	34
MROテレビ	6	6	6	北陸朝日放送	25	25	25	NHK教育金沢	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37
MROテレビ	6	6	6									NHK総合福井	9	9	80					福井放送	11	11	11	**福井テレビ**	39	39	39
テレビ山梨	37	37	37	**TBSテレビ**	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
テレビ信州	30	30	30									NHK教育長野	9	9	90	長野放送	38	38	38	**信越放送**	11	11	11				
信越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38								
テレビ愛知	25	25	25	岐阜テレビ	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育名古屋	9	9	90					メ～テレ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
静岡朝日テレビ	33	33	33									NHK総合静岡	9	9	80					**SBSテレビ**	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35
SBSテレビ	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育静岡	8	8	90					静岡朝日テレビ	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35
岐阜テレビ	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育名古屋	9	9	90					メ～テレ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25
ABCテレビ	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育名古屋	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	メ～テレ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
ABCテレビ	38	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	40	8	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	42	10	10					NHK教育大阪	46	46	90
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育大阪	12	12	90
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育大阪	12	12	90
ABCテレビ	41	6	6					関西テレビ	43	8	8					読売テレビ	47	10	10					NHK教育大阪	45	12	90
ABCテレビ	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育大阪	12	12	90
ABCテレビ	44	6	6					関西テレビ	46	8	8					読売テレビ	48	10	10					NHK教育大阪	25	12	90
																山陰放送	22	22	10					山陰中央テレビ	24	24	34
NHK総合松江	6	6	80					山陰中央テレビ	34	34	34					**山陰放送**	10	10	10					NHK教育松江	12	12	90
								山陰中央テレビ	58	58	34	NHK教育松江	9	9	90												
				瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					**山陽放送**	11	11	11				
				NHK教育広島	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12
				中国放送	7	7	4					広島ホーム	57	57	35					広島テレビ	11	11	12				
				テレビ山口	38	38	38	**RKB毎日放送**	8	8	4	NHK総合山口	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	FBSテレビ	35	35	37
ABCテレビ	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					NHK教育徳島	38	12	90
ABCテレビ	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	**山陽放送**	29	29	11	OHKテレビ	31	31	35
NHK総合松山	6	6	80	愛媛朝日テレビ	25	25	25	**あいテレビ**	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	**山陽放送**	11	11	11	テレビ愛媛	37	37	37
南海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	**あいテレビ**	27	27	29	西日本放送	9	9	9	愛媛朝日テレビ	14	14	25	**山陽放送**	11	11	11	テレビ愛媛	36	36	37
NHK教育高知	6	6	90					高知放送	8	8	8					**テレビ高知**	38	38	38	高知さんさん	40	40	40				
NHK教育福岡	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9					**RKKテレビ**	11	11	11	FBSテレビ	37	37	37
NHK総合福岡	6	6	80					**RKB毎日放送**	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	**RKKテレビ**	11	11	11	NHK教育福岡	12	12	90
テレビ熊本	34	34	34	**長崎放送**	5	5	5	**RKB毎日放送**	48	48	4	NHK総合佐賀	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	**RKKテレビ**	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37
テレビ熊本	34	34	34	長崎国際テレビ	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化放送	27	27	27	**RKKテレビ**	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	KKTテレビ	22	22	22
テレビ熊本	34	34	34	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	NHK総合熊本	9	9	80	TVQ九州放送	19	19	19	**RKKテレビ**	11	11	11	**RKB毎日放送**	4	4	4
南海放送	10	10	10	テレビ大分	36	36	36	FBSテレビ	37	37	37	大分朝日放送	24	24	24	TVQ九州放送	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	NHK教育大分	12	12	90
				鹿児島放送	32	32	32	NHK総合宮崎	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	**宮崎放送**	10	10	10					NHK教育宮崎	12	12	90
宮崎放送	6	6	10					テレビ宮崎	39	39	35																
宮崎放送	10	10	10	鹿児島放送	32	32	32	KKTテレビ	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日放送	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30				
鹿児島テレビ	35	35	38	KKTテレビ	22	22	22	NHK総合鹿児島	8	8	80	熊本朝日放送	16	16	16	**南日本放送**	10	10	1	**RKKテレビ**	11	11	11	NHK教育鹿児島	12	12	90
								沖縄テレビ	8	8	8					**琉球放送**	10	10	10					NHK教育沖縄	12	12	90

Gガイド地域・ホスト局一覧

- ●ホスト局がいずれも受信できない地域では、番組表(Gガイド)は使用できません。
- ●ホスト局を変更したり、別の放送局がホスト局となっている地域にGガイド地域を変更すると、それまでの番組表(Gガイド)データは消え、次のデータを受信するまで表示されません。

(2005年 9月現在)

Gガイド地域	札幌、小樽、旭川、名寄、稚内、室蘭、苫小牧、函館、釧路	帯広、網走、北見	青森、八戸、むつ	盛岡、釜石、二戸	仙台、石巻、気仙沼	秋田、大館、大曲	山形、鶴岡、米沢	福島、いわき、会津若松	水戸、日立
対応放送局	**HBCテレビ**	UHBテレビ	青森放送	NHK総合盛岡	**東北放送**	NHK教育秋田	NHK教育山形	NHK教育福島	NHK総合東京
	NHK総合札幌	NHK総合札幌	NHK総合青森	**IBCテレビ**	NHK総合仙台	秋田朝日放送	**テレビユー山形**	**テレビユー福島**	NHK教育東京
	STVテレビ	**HBCテレビ**	青森朝日放送	NHK教育盛岡	NHK教育仙台	NHK総合秋田	NHK総合山形	福島中央テレビ	日本テレビ
	UHBテレビ	HTBテレビ	NHK教育青森	テレビ岩手	東日本放送	秋田放送	山形放送	NHK総合福島	**TBSテレビ**
	HTBテレビ	STVテレビ	**青森テレビ**	IATテレビ	ミヤギテレビ	**秋田テレビ**	さくらんぼ	福島放送	フジテレビ
	TV北海道	NHK教育札幌		めんこいテレビ	仙台放送		山形テレビ	福島テレビ	テレビ朝日
	NHK教育札幌								テレビ東京
									MXテレビ
									千葉テレビ

Gガイド地域	宇都宮、矢板	前橋、桐生	さいたま	熊谷、秩父	千葉	銚子	東京23区、八王子、多摩	横浜1、横浜2、平塚、秦野、小田原	甲府
対応放送局	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合東京	NHK総合甲府
	NHK教育東京	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	MXテレビ	NHK教育東京	NHK教育甲府
	日本テレビ	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	NHK教育東京	日本テレビ	山梨放送
	TBSテレビ	**TBSテレビ**	日本テレビ	**TBSテレビ**	日本テレビ	**TBSテレビ**	日本テレビ	**TBSテレビ**	**テレビ山梨**
	フジテレビ	フジテレビ	**TBSテレビ**	フジテレビ	**TBSテレビ**	フジテレビ	**TBSテレビ**	フジテレビ	
	テレビ朝日	テレビ朝日	フジテレビ	テレビ朝日	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ埼玉	テレビ朝日	
	テレビ東京	群馬テレビ	テレビ朝日	テレビ埼玉	テレビ朝日	千葉テレビ	フジテレビ	tvk	
	とちぎテレビ	テレビ東京	テレビ埼玉	テレビ東京	千葉テレビ	テレビ東京	tvk	テレビ東京	
	MXテレビ	MXテレビ	テレビ東京		テレビ東京	tvk	テレビ朝日	MXテレビ	
		テレビ埼玉			tvk		千葉テレビ		
							テレビ東京		

Gガイド地域	長野1、長野2、松本、飯田、岡谷・諏訪	新潟、上越	富山、高岡	金沢、七尾	福井、敦賀	岐阜、高山、中津川、名古屋、豊橋、豊田	静岡、浜松、富士、三島・沼津、島田、藤枝	津、伊勢、名張	大津、彦根
対応放送局	NHK総合長野	新潟テレビ21	北日本放送	石川テレビ	NHK教育福井	東海テレビ	NHK教育静岡	東海テレビ	NHK総合大阪
	長野朝日放送	テレビ新潟	NHK総合富山	NHK総合金沢	NHK総合福井	NHK総合名古屋	静岡第一テレビ	NHK総合名古屋	**毎日放送**
	テレビ信州	**新潟放送**	富山テレビ	**MROテレビ**	福井放送	**CBCテレビ**	静岡朝日テレビ	**CBCテレビ**	ABCテレビ
	長野放送	NHK総合新潟	NHK教育富山	NHK教育金沢	**福井テレビ**	中京テレビ	テレビ静岡	中京テレビ	京都テレビ
	NHK教育長野	新潟総合テレビ	**チューリップ**	テレビ金沢		NHK教育名古屋	NHK総合静岡	NHK教育名古屋	関西テレビ
	信越放送	NHK教育新潟		北陸朝日放送		岐阜テレビ	**SBSテレビ**	三重テレビ	読売テレビ
						メ～テレ		メ～テレ	びわ湖放送
						テレビ愛知		テレビ愛知	NHK教育大阪
						三重テレビ			

Gガイド地域	京都、舞鶴、福知山、大阪	神戸、神戸灘、川西、三木、姫路、明石	奈良、五條	和歌山、海南・田辺	鳥取	松江、浜田	岡山、津山、笠岡	広島、福山、尾道、呉	山口、下関、宇部、岩国
対応放送局	NHK総合大阪	NHK総合大阪	NHK総合大阪	NHK総合大阪	日本海テレビ	日本海テレビ	テレビせとうち	テレビ新広島	NHK教育山口
	京都テレビ	サンテレビ	奈良テレビ	テレビ和歌山	NHK総合鳥取	NHK総合松江	NHK教育岡山	NHK総合広島	山口朝日放送
	毎日放送	**毎日放送**	**毎日放送**	**毎日放送**	NHK教育鳥取	NHK教育松江	NHK総合岡山	**中国放送**	**テレビ山口**
	テレビ大阪	ABCテレビ	テレビ大阪	ABCテレビ	山陰中央テレビ	山陰中央テレビ	瀬戸内海放送	NHK教育広島	NHK総合山口
	ABCテレビ	関西テレビ	ABCテレビ	関西テレビ	**山陰放送**	**山陰放送**	OHKテレビ	広島ホーム	山口放送
	関西テレビ	読売テレビ	関西テレビ	読売テレビ			西日本放送	広島テレビ	
	読売テレビ	テレビ大阪	サンテレビ	NHK教育大阪			**山陽放送**		
	NHK教育大阪	NHK教育大阪	読売テレビ						
	サンテレビ		NHK教育大阪						
			京都テレビ						

Gガイド地域	徳島	高松、丸亀	松山、新居浜、今治、宇和島	高知	福岡、久留米、大牟田、北九州、行橋	佐賀（1）（ホスト局が「RKB毎日放送」の場合）	佐賀（2）（ホスト局が「RKKテレビ」の場合）	長崎、佐世保、諫早	熊本
対応放送局	四国放送	テレビせとうち	NHK教育松山	NHK総合高知	KBCテレビ	NHK教育佐賀	NHK教育佐賀	NHK教育長崎	NHK教育熊本
	NHK総合徳島	NHK教育高松	**あいテレビ**	NHK教育高知	NHK総合福岡	KBCテレビ	KBCテレビ	NHK総合長崎	熊本朝日放送
	毎日放送	NHK総合高松	NHK総合松山	高知放送	**RKB毎日放送**	**RKB毎日放送**	TVQ九州放送	**長崎放送**	KKTテレビ
	ABCテレビ	瀬戸内海放送	テレビ愛媛	**テレビ高知**	NHK教育福岡	TVQ九州放送	サガテレビ	長崎国際テレビ	テレビ熊本
	関西テレビ	OHKテレビ	愛媛朝日テレビ	高知さんさん	テレビ西日本	サガテレビ	NHK総合佐賀	長崎文化放送	NHK総合熊本
	NHK教育徳島	西日本放送	南海放送		TVQ九州放送	NHK総合佐賀	FBSテレビ	テレビ長崎	**RKKテレビ**
		山陽放送			FBSテレビ	FBSテレビ	**RKKテレビ**		

Gガイド地域	大分、中津	宮崎、延岡	鹿児島、阿久根、鹿屋	沖縄
対応放送局	NHK総合大分	テレビ宮崎	**南日本放送**	NHK総合沖縄
	大分放送	NHK総合宮崎	NHK総合鹿児島	琉球朝日放送
	テレビ大分	**宮崎放送**	NHK教育鹿児島	沖縄テレビ
	大分朝日放送	NHK教育宮崎	鹿児島放送	**琉球放送**
	NHK教育大分		鹿児島テレビ	NHK教育沖縄
			鹿児島読売	

放送局コード一覧

地区	放送局名	放送局コード
北海道	NHK総合札幌	0336
	NHK教育札幌	0346
	HBCテレビ	0257
	STVテレビ	0261
	UHBテレビ	0283
	HTBテレビ	0291
	TV北海道	0273
青森	NHK総合青森	0592
	NHK教育青森	0602
	青森放送	0513
	青森テレビ	0294
	青森朝日放送	0290
秋田	NHK総合秋田	1360
	NHK教育秋田	1370
	秋田放送	0267
	秋田テレビ	0293
	秋田朝日放送	0287
岩手	NHK総合盛岡	0848
	NHK教育盛岡	0858
	IATテレビ	0276
	テレビ岩手	0547
	IBCテレビ	0262
	めんこいテレビ	0289
山形	NHK総合山形	1616
	NHK教育山形	1626
	山形放送	0266
	さくらんぼ	0286
	テレビユー山形	0292
	山形テレビ	0550
宮城	NHK総合仙台	1104
	NHK教育仙台	1114
	東北放送	0769
	仙台放送	0268
	ミヤギテレビ	0546
	東日本放送	0288
福島	NHK総合福島	1872
	NHK教育福島	1882
	福島放送	0803
	福島中央テレビ	0545
	テレビユー福島	0543

地区	放送局名	放送局コード
福島	福島テレビ	0523
関東	NHK総合東京	2128
	NHK教育東京	2138
	日本テレビ	0260
	TBSテレビ	0518
	フジテレビ	0264
	テレビ朝日	0522
	テレビ東京	0524
	MXテレビ	0270
	テレビ埼玉	0806
	千葉テレビ	0302
	tvk	0298
	群馬テレビ	0304
	とちぎテレビ	0535
新潟	NHK総合新潟	2384
	NHK教育新潟	2394
	新潟放送	0517
	新潟総合テレビ	1059
	テレビ新潟	0285
	新潟テレビ21	0277
長野	NHK総合長野	2640
	NHK教育長野	2650
	長野放送	1062
	長野朝日放送	0532
	テレビ信州	0542
	信越放送	0779
山梨	NHK総合甲府	2896
	NHK教育甲府	2906
	山梨放送	0773
	テレビ山梨	0549
静岡	NHK総合静岡	3920
	NHK教育静岡	3930
	SBSテレビ	1291
	テレビ静岡	1315
	静岡朝日テレビ	1057
	静岡第一テレビ	0799
中部	NHK総合名古屋	4176
	NHK教育名古屋	4186
	東海テレビ	1281
	CBCテレビ	1029

地区	放送局名	放送局コード
中部	メ～テレ	1547
	中京テレビ	1571
	テレビ愛知	0537
	岐阜テレビ	1061
	三重テレビ	1313
富山	NHK総合富山	3152
	NHK教育富山	3162
	チューリップ	0544
	北日本放送	1025
	富山テレビ	0802
石川	NHK総合金沢	3408
	NHK教育金沢	3418
	石川テレビ	0805
	テレビ金沢	0801
	北陸朝日放送	0281
	MROテレビ	0774
福井	NHK総合福井	3664
	NHK教育福井	3674
	福井放送	1035
	福井テレビ	0295
関西	NHK総合大阪	4432
	NHK教育大阪	4442
	毎日放送	0516
	ABCテレビ	1030
	関西テレビ	0520
	読売テレビ	0778
	テレビ大阪	0275
	京都テレビ	1058
	サンテレビ	0548
	奈良テレビ	0311
	テレビ和歌山	1054
	びわ湖放送	0798
岡山	NHK総合岡山	5200
	NHK教育岡山	5210
	山陽放送	1803
	OHKテレビ	1827
	テレビせとうち	0279
広島	NHK総合広島	5456
	NHK教育広島	5466
	中国放送	0772

地区	放送局名	放送局コード
広島	広島テレビ	0780
	テレビ新広島	1055
	広島ホーム	2083
鳥取	NHK総合鳥取	4688
	NHK教育鳥取	4698
	日本海テレビ	1537
	山陰放送	1034
島根	NHK総合松江	4944
	NHK教育松江	4954
	山陰中央テレビ	1314
山口	NHK総合山口	5712
	NHK教育山口	5722
	山口放送	2059
	テレビ山口	1318
	山口朝日放送	0284
香川	NHK総合高松	6224
	NHK教育高松	6234
	西日本放送	0265
	瀬戸内海放送	1569
徳島	NHK総合徳島	5968
	NHK教育徳島	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK総合松山	6480
	NHK教育松山	6490
	南海放送	1290
	テレビ愛媛	1317
	あいテレビ	0541
	愛媛朝日テレビ	0793
高知	NHK総合高知	6736
	NHK教育高知	6746
	高知さんさん	0296
	テレビ高知	1574
	高知放送	0776
福岡	NHK総合福岡	6992
	NHK教育福岡	7002
	KBCテレビ	2049
	RKB毎日放送	1028
	テレビ西日本	0521
	FBSテレビ	1573
	TVQ九州放送	0531

地区	放送局名	放送局コード
佐賀	NHK総合佐賀	7760
	NHK教育佐賀	7770
	サガテレビ	0804
鹿児島	NHK総合鹿児島	8528
	NHK教育鹿児島	8538
	南日本放送	2305
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	0800
	鹿児島読売	1310
宮崎	NHK総合宮崎	8272
	NHK教育宮崎	8282
	宮崎放送	1546
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK総合大分	8016
	NHK教育大分	8026
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	0280
	大分放送	1541
熊本	NHK総合熊本	7504
	NHK教育熊本	7514
	RKKテレビ	2315
	熊本朝日放送	0528
	KKTテレビ	0278
	テレビ熊本	1570
長崎	NHK総合長崎	7248
	NHK教育長崎	7258
	長崎国際テレビ	1049
	長崎文化放送	0539
	テレビ長崎	1829
	長崎放送	1285
沖縄	NHK総合沖縄	8784
	NHK教育沖縄	8794
	琉球放送	1802
	琉球朝日放送	0540
	沖縄テレビ	1032
全国	衛星第１	0074
	衛星第２	0076
	WOWOW	0073
	放送大学	0272
	ハイビジョン	0075

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

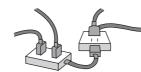
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

- 誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **外装チューブのはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために外装チューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

用語解説

サ サムネイル
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。(本機では、番組一覧などに番組内の1場面が表示されます)

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。
DVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、本機では正常に再生できません。

デコーダー
DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドライブ
本機では、ハードディスク(HDD)、ディスク(DVD)、SDメモリーカード(SD)のことをいいます。データの読み書きを行います。

ハ パン＆スキャン/レターボックス
DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。
4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。
- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。

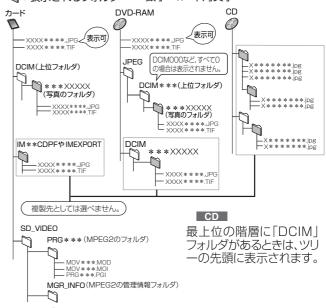
ファイナライズ
録音･録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。
本機ではDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+Rのファイナライズが可能です。
DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video方式)、+Rをファイナライズすると再生専用ディスクとなり、記録や編集ができなくなります。DVD-RW は、フォーマットすると繰り返し記録できます。

フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で画像が記録されています。)
- **ビデオ素材**
  映像情報が60フィールド/秒で記録されているもの。

フォーマット
録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。
本機ではHDD、DVD-RAM、DVD-RW、SDメモリーカード、未使用のDVD-Rのフォーマットができます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。
未使用のDVD-Rをフォーマットすると、DVD-R(VR方式)になります。

フォルダ
ハードディスクやメモリーカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真(JPEG、TIFF)やMPEG2などの保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例
：表示されるフォルダ　＊：数字　x：半角文字

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　フィールド　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プログレッシブ/インターレース
従来の映像信号(NTSC)は525i(i:インターレース＝飛び越し走査)といわれるのに対し、その525i 信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p:プログレッシブ＝順次走査)といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

プロテクト
記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

ラ レコーダー1、レコーダー2
一般にDVDレコーダーは次のような仕組みで録画します。
チューナーでテレビ放送を受信し、エンコーダーと呼ばれる回路を使って映像と音声をDVD規格のデータ形式に変換し、ディスクに書き込みます。
本機はチューナーとエンコーダーの組み合わせを2組搭載しており、2つの放送を同時にDVD規格のデータ形式に変換することができます。本機1台にDVDレコーダーが2台内蔵されているかのように働きます。
本機では、この「チューナーとエンコーダーの組み合わせ」を「レコーダー1」、「レコーダー2」と呼んでいます。

B Bitstream(ビットストリーム)
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1 チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

C CPRM(シーピーアールエム)
(Content(コンテント) Protection(プロテクション) for(フォー) Recordable(レコーダブル) Media(メディア))
デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクにのみ録画できます。

D　D1/D2映像出力
S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力(525p)にも対応しているため、525i 信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2チャンネル)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。本機で録画すると、通常はドルビーデジタル(2チャンネル)で記録されます。

DPOF（Digital Print Order Format）
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンタでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

DTS （Digital Theater Systems）
映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

E　EPG（Electronic Program Guide）
テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表(G ガイド)を使って予約録画などができます。

H　HDD（ハードディスクドライブ）
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置のひとつです。表面に磁気体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

I　ID3 タグ
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

Ir システム
チューナーなどから予約録画などの信号を録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製チューナーまたはチューナー内蔵テレビのIrシステムがDVD レコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。チューナーなどの説明書をご覧ください。

J　JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L　LPCM（リニア PCM ）
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。本機では、XPモードで録画するときに選べます。

M　MP3（MPEG Audio Layer 3）
元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどで CD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

MPEG2（Moving Picture Experts Group）
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格のひとつです。
MPEG2 は DVD やデジタル放送などに使われる圧縮方式で、本機では番組を MPEG2 で録画します。また、SD マルチカメラなどで撮影した MPEG2 動画を SD カードから HDD や DVD-RAM、DVD-R(VR 方式)にダビングすることができます。

P　PBC（Playback control）
ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。(本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています。)

P.PCM（パックト PCM ）
ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。

S　S映像出力
映像信号をC(色信号)とY(輝度信号)に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

●**S1映像信号**
映像の横縦比が4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

画面の映像

●**S2映像信号**
S1の機能に加え、レターボックス(上下に黒帯が入っている映像)のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

T　TIFF（Tag Image File Format）
カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。デジタルカメラなどでは、高画質の画像を記録するために多く用いられています。

V　VBR（Variable Bit Rate）
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オーリヤ	7982	シンド	8368	トルクメン	8475	ヘブライ	7387
アイマラ	6589	オランダ	7876	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベトナム	8673
アイルランド	7165	カザフ	7575	ジャワ	7487	トンガ	8479	ベロルシア(白ロシア)	6669
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スウェーデン	8386	ドイツ	6869	ベンガル(バングラ)	6678
アッサム	6583	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アファル	6565	ガリチア	7176	スロベニア	8376	日本語	7465	ポーランド	8076
アフリカーンス	6570	韓国(朝鮮)語	7579	スワヒリ	8387	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アプハジア	6566	カンナダ	7578	スンダ	8385	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アムハラ	6577	カンボジア	7577	スペイン	6983	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アラビア	6582	キルギス	7589	ズールー	9085	ハンガリー	7285	マライ(マレー)	7783
アルバニア	8381	ギリシャ	6976	セルビア	8382	バシキール	6665	マラッタ	7782
アルメニア	7289	クルド	7585	セルボクロアチア	8372	バスク	6985	マラヤーラム	7776
イタリア	7384	クロアチア	7282	ソマリ	8379	パシュト	8083	マルタ	7784
イディッシュ	7473	グアラニー	7178	タイ	8472	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
インターリングア	7365	グジャラト	7185	タタール	8484	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
インドネシア	7378	グリーンランド	7576	タミル	8465	ビハール	6672	モンゴル	7778
ウェールズ	6789	グルジア	7565	タガログ	8476	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
ウォロフ	8779	ケチュア	8185	タジク	8471	フィジー	7074	ラオ	7679
ヴォラピュック	8679	ゲール		チェコ	6783	フィンランド	7073	ラテン	7665
ウクライナ	8575	（スコットランド）	7168	中国語	9072	フェロー	7079	ラトビア(レット)	7686
ウズベク	8590	コーサ	8872	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウルドゥー	8582	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	フリジア	7089	リンガラ	7678
英語	6978	サモア	8377	テルグ	8469	ブータン	6890	ルーマニア	8279
エストニア	6984	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
エスペラント	6979	ショナ	8378	トウイ	8487	ブルターニュ	6682	ロシア	8285

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

補修用性能部品の保有期間
当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき
「故障かな!?」（➜79～82）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	DVDレコーダー	お買い上げ日	年　月　日
品　　番	DMR-EH66	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話･PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-3644

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

さくいん

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検　長年ご使用のDVDレコーダーの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年　月　日	販売店名	☎ (　　)　－
品　番	DMR-EH66		

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒 571 － 8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

Ⓒ 2005 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

RQT8220-S
F0905TJ2095